

足立区待機児童解消アクション・プラン

【平成 28 年度改定版】

“待機児ゼロ”の足立区^{ま ち}へ！

～地域の実情に合わせた施設整備と利用者支援～

(平成 28 年度～平成 30 年度)

平成 28 年 8 月

足立区



目次

1. はじめに	3
1.1 解決すべき課題.....	3
1.2 平成 28～29 年度に重点をおいた新規整備計画の策定.....	4
1.3 施設整備以外の取り組み.....	5
2. 足立区における保育の現状	6
2.1 待機児童の状況.....	6
2.1.1 年齢別待機児童の内訳.....	6
2.1.2 地域別待機児童の状況.....	7
2.1.3 申請事由別待機児童の内訳.....	8
2.1.4 待機児童実態調査の結果.....	11
2.2 保育需要と施設整備の状況.....	13
2.2.1 保育需要の動向.....	13
2.2.2 施設整備の状況.....	16
3. 待機児童ゼロに向けて	17
3.1 待機児童ゼロにむけた課題の整理と方針.....	17
3.1.1 就学前人口の推移、保育需要率.....	17
3.2 待機児童ゼロにむけた具体的な取り組み 1 (施設整備).....	19
3.2.1 施設整備方針.....	19
3.2.1.1 施設整備等の基本的な考え方.....	20
3.2.1.2 用地確保の考え方.....	20
3.2.1.3 施設種別ごとの年度別整備方針.....	21
3.2.2 ブロック別の施設整備計画.....	24
3.2.3 大規模集合住宅建設時の保育施設の設置協議.....	28
3.2.4 必要財源の確保.....	28
3.3 待機児童ゼロにむけた具体的な取り組み 2 (多様な保育施設の利用促進).....	29
3.3.1 保育コンシェルジュによる利用者支援.....	29
3.3.2 地域型保育の3歳以降の受け入れ施設の設定.....	29
3.3.2.1 3歳以降の保育等利用に関するアンケート調査.....	30
3.3.2.2 アンケート調査からわかったこと.....	30
3.4 待機児童ゼロにむけた具体的な取り組み 3 (保育士確保・定着対策).....	31
3.4.1 保育士確保・定着対策について.....	31
3.5 待機児童ゼロにむけた具体的な取り組み 4 (認証保育所の認可化移行支援).....	32
3.5.1 認証保育所の認可化移行支援について.....	32
資料編	33
資料 1 ブロック別の分析.....	34
資料 2 保育需要の動向に関する分析.....	60
資料 3 待機児童実態調査結果.....	69
資料 4 3歳以降の保育等利用意向調査結果.....	79

表目次

表 1	待機児童数の推移	6
表 2	前年度待機児童数との対比	6
表 3	地域別待機児童数の推移	7
表 4	平成 23 年から平成 28 年の申請事由別内訳	8
表 5	地域別・年齢別待機児童数（全世帯とフルタイム就労世帯の比較）	9
表 6	ブロック別待機児童内訳（申請事由別）	10
表 7	保育需要数の内訳及び推移【0 歳から 5 歳児】	13
表 8	保育需要数の内訳及び推移【0 歳から 2 歳児】	13
表 9	0 歳から 5 歳児の保育需要率	15
表 10	0 歳から 2 歳児の保育需要率	15
表 11	3 歳から 5 歳児の保育需要率	16
表 12	保育定員の推移	16
表 13	保育需要と施設整備	20
表 14	保育施設の整備定員数	22

図目次

図 1	待機児童数の推移グラフ	6
図 2	待機児童の申請事由別内訳グラフ	8
図 3	平成 28 年 5 月 1 日現在の保護者の状況	11
図 4	認可保育所以外の認可施設の申込の有無	11
図 5	時短勤務を取得した短時間向けの施設の利用意向	12
図 6	理想の預け時期	12
図 7	保育需要数の推移グラフ	14
図 8	保育需要率の推移グラフ	15
図 9	保育定員数の推移グラフ	16
図 10	就学前人口の見込みグラフ	17
図 11	保育需要率の今後の見込みグラフ	18
図 12	人口と保育需要の見込みグラフ	19
図 13	施設整備計画の改定内容	21

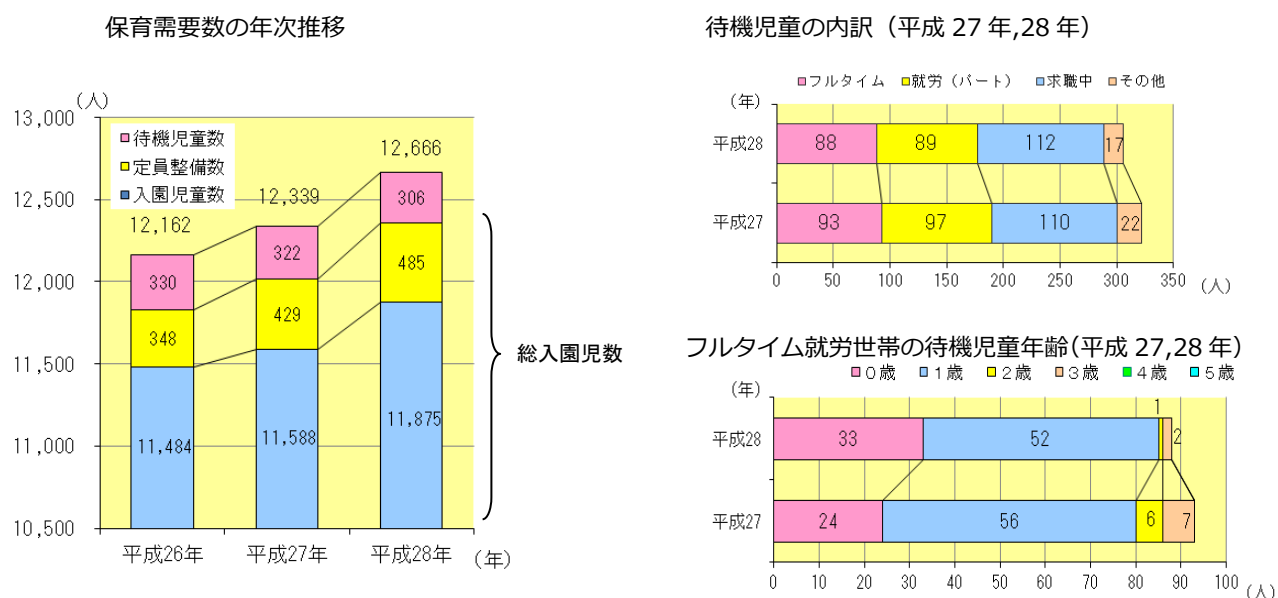
1. はじめに

足立区では、待機児童の解消と多様化する保育ニーズに的確に対応するため、平成 24 年度から足立区を 13 ブロック地域から 49 地域に細分化して保育施設の必要量を算定し、保育施設整備計画「待機児童解消アクション・プラン」を作成してきました。平成 27 年度からは、このアクション・プランを、平成 27 年 3 月に策定した「足立区子ども・子育て支援事業計画」の実行計画として位置づけています。

平成 27 年度中の施設整備では、認可保育所 5 所を新設するとともに家庭的保育者(保育ママ)の増員等を実施し、485 名分の保育定員を拡大しました。しかしながら、大規模住宅開発があった地域を中心として低年齢児の保育需要が大幅に伸びたため、平成 28 年 4 月 1 日現在の待機児童数は 306 名と、前年比 16 名減にとどまりました。

このような状況を踏まえ今年度の改定では、既存施設の定員増も含めて平成 28～30 年度の 3 年間で 1,607 人分の定員を拡大します。特に、平成 28～29 年度は平成 30 年 4 月の待機児童解消にむけた重点整備期間として、前年度計画の整備定員に 449 人上乘せしました。また、既存の保育サービスを有効に利用していただくため、利用者のマッチングの強化、小規模保育・家庭的保育の卒園児の3歳児以降の受け入れ施設の設定等、利用促進の取り組みも実施します。更に、施設整備に不可欠な保育人材確保のため区独自の支援メニューを実施します。加えて、3歳児の定員が不足する見込みの地域において認証保育所の認可化移行を支援します。

こうした取り組みを通して、平成 30 年 4 月までに待機児童を解消するとともに、平成 30 年度以降も待機児童ゼロを維持することを目指します。



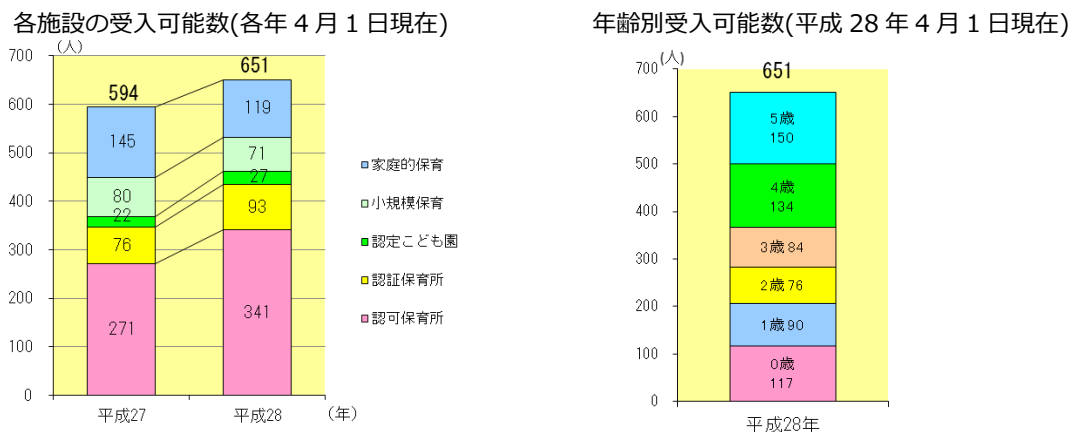
1.1 解決すべき課題

分析の結果、次の課題が明らかとなりました。

- (1) 大規模開発や沿線開発などで住環境整備が進む地域を中心に、0～1歳児の需要がそれぞれ前年度比 100 名以上増加し、待機児童を解消するうえで最大の課題になっている。
- (2) これまでの整備方針では、慢性的に待機児童が存在する地域を認可保育所の整備対象としてい

いなど、地域の実情に応じた整備が困難になっているため、対象地域を追加する必要があります。

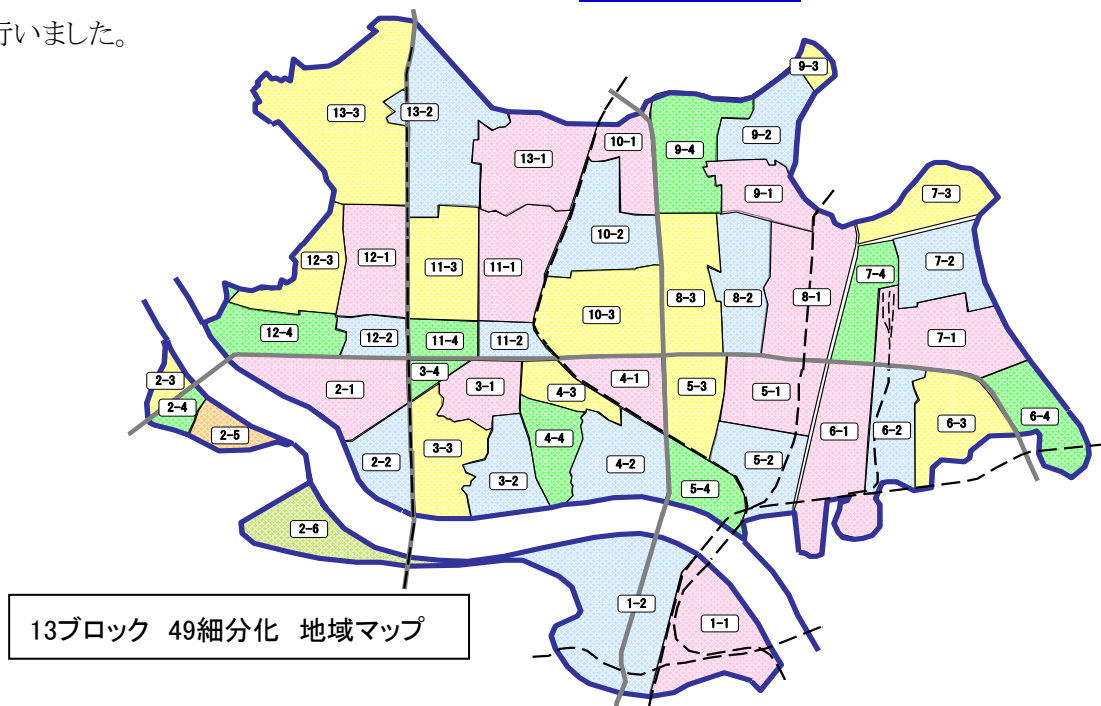
- (3) 2歳児の定員より3歳児の定員が少なく、かつ、今後3歳児の保育需要が増加する見込みの地域（千住地域、綾瀬地域など）において、待機児童数が増加する可能性がある。
- (4) 近隣自治体でも施設整備が加速しており、保育人材の確保が一層困難になる見込みである。



これらの課題を踏まえて、待機児童ゼロにむけた 4つの具体的な取り組み「施設整備」、「多様な保育施設の利用促進」、「保育士確保・定着対策」、「認証保育所の認可化移行支援」を実施します。(1.2、1.3を参照)。

1.2 平成 28～29 年度に重点をおいた新規整備計画の策定

前年度までに引き続き、13 ブロック・49 地域の待機児童や保育需要等の分析(P. 34 資料1 参照)を行うとともに、各地域の保育需要の動向を詳しく分析(P. 60 資料2 参照)して、アクション・プランの見直しを行いました。



前年度に引き続き、施設整備計画を 3か年計画で策定し先回りの保育施設整備を行います。本アクション・プランでは、平成 30 年 4 月の待機児童ゼロを実現するため、平成 28 年度から 29 年度の 2 年

間で既存施設の定員増を含めて1,427人分の保育定員増を行うこととしました。また、平成30年度においても、待機児童ゼロを維持するための整備を行うこととし、平成28年度からの3年間で合計1,607名分の保育定員を増やす新規整備計画（P. 19 参照）を策定しました。地域のニーズ状況を分析し、認可保育所や認証保育所、小規模保育施設を区全体でバランスよく設置していきます。

【年度別・施設別の新規整備計画】

保育施設等	平成28年度 整備内容	整備定員数(人)	平成29年度 整備内容	整備定員数(人)	28～29 合計 (人)	平成30年度 整備内容	整備定員数(人)	合計 (人)
認可保育所	4所 ・1ブロック-千住地域 (日ノ出町) ・1ブロック-千住地域 (千住宮元町) ・5ブロック-中央本町地域 ・8ブロック-保塚・六町地域	90 60 65 100	10所 ・1ブロック-千住地域 ・2ブロック-江北地域 ・3ブロック-興野・本木地域 ・4ブロック-梅田地域 ・5ブロック-中央本町地域 ・6ブロック-綾瀬地域(北綾瀬) ・6ブロック-綾瀬地域(東和中川) ・8ブロック-保塚・六町地域 ・11ブロック-伊興・西新井地域 ・13ブロック-舎人・東伊興地域	65 60 60 65 60 65 60 65 65 65	945	3所 ・7ブロック-佐野地域 ・上記のほか2か所	60 計120	1125
認証保育所	2所 ・1ブロック-千住地域 ・4ブロック-梅田地域	30 40	3所 ・1ブロック-千住地域 ・5ブロック-中央本町地域 ・上記のほか1か所	30 30 30	160			160
家庭的保育※					0			0
小規模保育	3施設 ・5ブロック-中央本町地域 ・6ブロック-綾瀬地域 ・10ブロック-竹の塚地域	15 15 15	3施設 ・2ブロック-新田地域 ・6ブロック-綾瀬地域 ・上記のほか1か所	15 15 15	90			90
(私立)認定こども園					0			0
公設民営認可外保育施設					0			0
既存保育施設の増改築、認可化	・認可等 ・認証の認可化(3所)	120	・認可等 ・認証の認可化(2所)	112	232			232
	平成28年度 合計(人)	550	平成29年度 合計(人)	877	1427	平成30年度 合計(人)	180	1607

※区認定家庭的保育を含む。平成29年度以降は給食提供の実施状況を踏まえ判断する。

1.3 施設整備以外の取り組み

(1) 多様な保育施設の利用促進

様々な保育サービスの周知と利用促進を行います。具体的には、保育コンシェルジュの相談によるマッチングの充実(P. 29 参照)や、3歳以降の受け入れ施設の設定(P. 29 参照)に取り組み、平成28年4月の空き定員が比較的多かった小規模保育や家庭的保育事業の利用促進を図ります。

(2) 保育士確保・定着対策

保育施設を開園するためには、施設の整備はもちろん重要ですが、保育施設で働く保育人材の確保・定着も重要な課題のひとつです。足立区では、区内の保育士養成機関やハローワークと連携し就職相談会などを実施するとともに、区内保育施設の就職を促すため、国や都の補助制度を活用した住居借上げ支援事業や、区独自の奨学金返済支援事業などによる経済的支援及び、潜在保育士等の就職支援を実施します(P. 31 参照)。

(3) 認証保育所の認可化移行支援

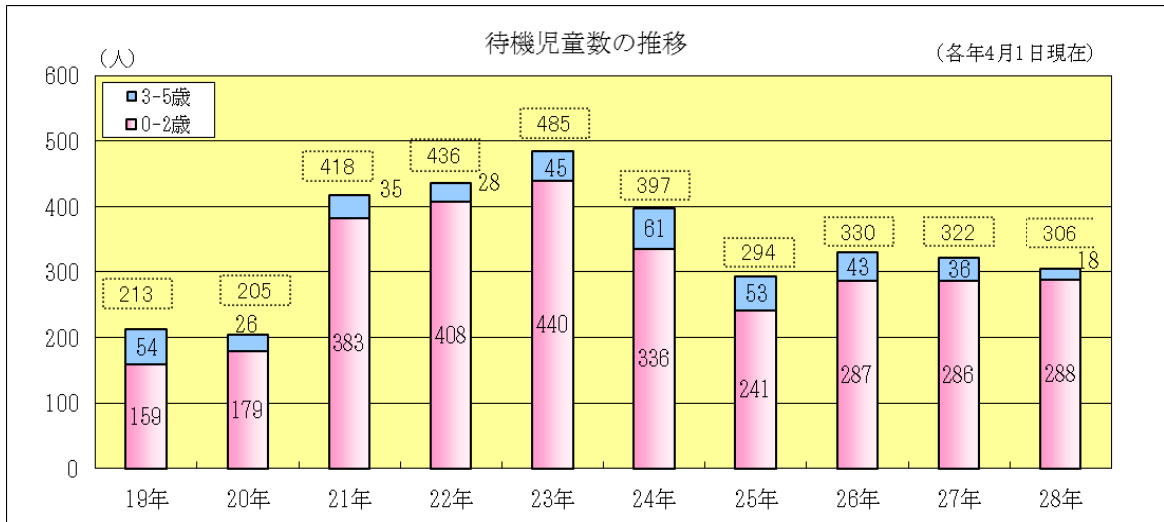
3歳児からの受け入れ定員が不足する見込みの地域において、就学前までの持ち上がりが可能な定員を確保できるなど、一定の条件を満たす認証保育所の認可化を支援し、3歳児以降の定員を確保します(P. 32 参照)。

2. 足立区における保育の現状

2.1 待機児童の状況

足立区の待機児童は、平成 23 年の 485 名をピークに減少傾向にありますが、ここ数年は横ばいの状態が続いています(図 1)。

図 1 待機児童数の推移グラフ



2.1.1 年齢別待機児童の内訳

0歳から2歳児が9割以上を占めている(表1)。

平成 28 年 4 月 1 日現在の保育所等入所待機児童数は、対前年比で 16 名減少し 306 名となりました。年齢別では、0歳から2歳児が9割近くと高い割合を占めており、特に1歳児が159名と52%を占めています。前年度と比較すると0歳児が25名と大幅に増加していますが、その他の年齢ではすべて減少しています(表2)。

表 1 待機児童数の推移

		(各年4月1日現在)										
		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	27年	
待機児童数(人)		213	205	418	436	485	397	294	330	322	306	
うち3-5歳待機児童数	3-5歳	54	26	35	28	45	61	53	43	36	18	
うち0-2歳待機児童数	0-2歳	159	179	383	408	440	336	241	287	286	288	
0-2歳の割合		74.6%	87.3%	91.6%	93.6%	90.7%	84.6%	82.0%	87.0%	88.8%	94.2%	

表 2 前年度待機児童数との対比

(各年4月1日現在)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
28年度待機児童数	84	159	45	17	1	0	306
27年度待機児童数	59	165	62	30	3	3	322
27年度と28年度との差	25増	6減	17減	13減	2減	3減	16減

(1) 待機児童数の減少について（対前年比で16名減少）

待機児童が減少した主な要因は、各地域における保育需要の分析により、認可保育所などの整備による定員の増員を行うとともに、小規模保育施設や家庭的保育施設、認証保育所など、認可保育所以外の施設の利用促進を行ってきたことによるものと考えられます。

なお、足立区の待機児童数は、23区中5番目に多い状況です。

(2) 待機児童の0歳児から1歳児への集中について

待機児童は、平成21年度以降、大規模開発や沿線開発が進む地域を中心に急激に増加してきました。平成28年度は、区内の多くの地域で0歳児の保育需要が増えたほか、千住地域で1歳児の保育需要が大きく伸びたことにより、待機児童が0歳児から1歳児に集中する傾向が顕著になりました。全年齢に占める0歳児から1歳児の割合は79.4%となり、前年度(69.5%)から9.9ポイント増加しました。

2.1.2 地域別待機児童の状況

特定の地域において待機児童の高止まりや増加の状況が見られる（表3）。

地域(ブロック)別待機児童数の推移をみると、千住地域では前年度比で一定の減少はあったものの、3年連続で区内で最も待機児童数が多い状態です。また、慢性的に待機児童数が多い梅田地域、綾瀬地域で待機児童が増加したほか、佐野地域、鹿浜地域など、これまで待機児童数が比較的少なかった地域も増加の傾向にあります。

表3 地域別待機児童数の推移

(各年4月1日現在)

ブロック		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年 ()は0~2歳児数	0-2歳の 割合
1	千住地域	18	19	30	38	64	48	23	42	81	58 (56)	96.6%
2	江北・新田地域	10	9	34	38	46	46	25	26	27	22 (21)	95.5%
3	興野・本木地域	17	4	17	19	28	27	13	20	27	19 (17)	89.5%
4	梅田地域	12	11	38	40	46	49	28	34	23	27 (24)	88.9%
5	中央本町地域	26	40	47	57	55	56	42	41	39	28 (25)	89.3%
6	綾瀬地域	17	29	67	52	49	36	36	35	32	39 (39)	100.0%
7	佐野地域	15	16	35	21	40	13	10	20	11	17 (17)	100.0%
8	保塚・六町地域	11	13	29	34	29	25	17	19	25	23 (23)	100.0%
9	花畑・保木間地域	15	16	22	29	16	16	26	22	15	13 (11)	84.6%
10	竹の塚地域	29	19	22	31	23	22	17	21	12	15 (14)	93.3%
11	伊興・西新井地域	14	10	6	23	17	16	17	10	11	13 (11)	84.6%
12	鹿浜地域	0	5	27	14	23	25	19	13	6	16 (16)	100.0%
13	舎人・東伊興地域	13	8	31	36	37	16	16	26	12	14 (12)	85.7%
区内小計		197	199	405	432	473	395	289	329	321	304 (286)	94.1%
管外委託分		16	6	13	4	12	2	5	1	1	2 (2)	100.0%
合計		213	205	418	436	485	397	294	330	322	306 (288)	94.2%

※地域別待機児童数は、待機児童となっている児童が第一希望で入所希望した保育施設所在地ごとにカウントしています。

※平成27年度からは、家庭的保育や小規模保育など、区で利用調整を行うすべての施設の待機児童をカウントしています。

千住大橋駅周辺地域における大規模開発、つくばエクスプレスや日暮里・舎人ライナー沿線の住環境整備などが進んでいる地域では、就学前人口の増減に関わらず、共働き世帯の流入により保育需要が増加し、待機児童につながったものと考えられます。

なお、平成30年4月に待機児童ゼロを達成し、その後も維持していくための取り組みを行うにあたり、地域ごとの保育需要の状況を的確に把握していく必要があります。このようなことから、足立区では、前述の「13ブロック」をさらに49地域に細分化し、待機児童の状況や人口の推移、保育需要等の詳細な分析を行い、地域ごとの保育需要の実態把握に努めています。

2.1.3 申請事由別待機児童の内訳

フルタイム就労世帯の待機児童が高止まりしています（図2）。

待機児童の申請事由別内訳では、平成26年度まで求職中の世帯が多い状況でしたが、平成27年度にフルタイム就労世帯が倍増しました。平成28年度はフルタイム就労世帯が若干減少したものの同様の傾向です。パート就労世帯、求職中世帯も引き続き多い状況です（表4）。

図2 待機児童の申請事由別内訳グラフ

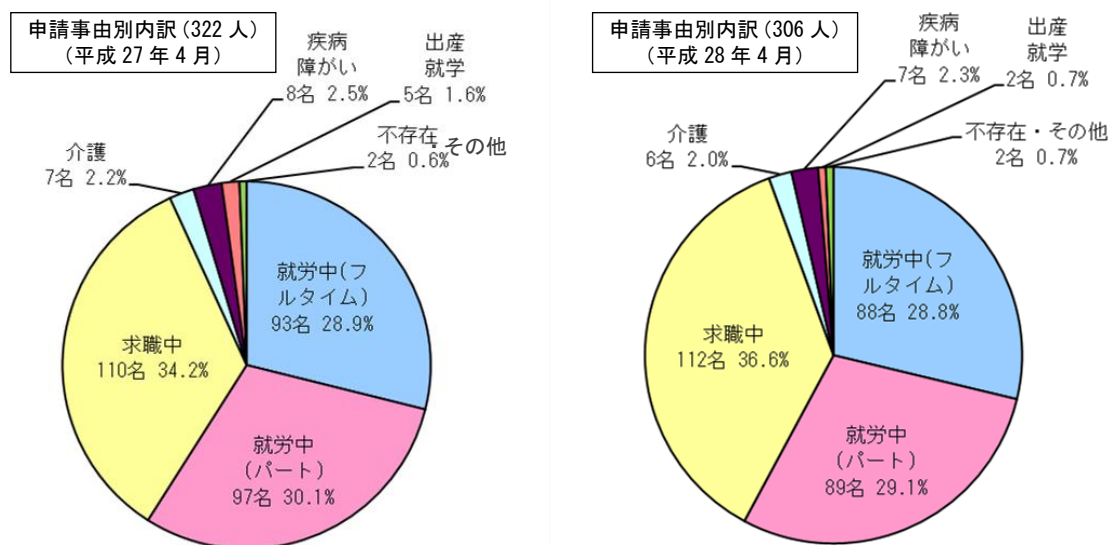


表4 平成23年から平成28年の申請事由別内訳

申請事由	平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
就労中(フルタイム)	63	13.0%	68	17.1%	57	19.4%	47	14.2%	93	28.9%	88	28.8%
就労中(パート)	154	31.8%	100	25.2%	88	29.9%	96	29.1%	97	30.1%	89	29.1%
求職中	230	47.4%	207	52.1%	128	43.5%	156	47.3%	110	34.2%	112	36.6%
介護	12	2.5%	7	1.8%	4	1.4%	6	1.8%	7	2.2%	6	2.0%
疾病障がい	15	3.1%	11	2.8%	10	3.4%	19	5.8%	8	2.5%	7	2.3%
出産・就学	11	2.3%	4	1.0%	7	2.4%	5	1.5%	5	1.6%	2	0.7%
不存在・その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	2	0.6%	2	0.7%
合計	485	100.0%	397	100.0%	294	100.0%	330	100.0%	322	100.0%	306	100.0%

フルタイム就労世帯の待機児童が高止まりしている主な原因は、平成 26 年度中に千住大橋地域に完成した大規模マンション計 600 戸以上の入居に対応した保育施設の整備が後追いになったためです。この結果、同地域で多くのフルタイム就労世帯の方が待機児童となってしまいました。平成 27 年度中に認可保育所3所を整備しましたが、計画していた認証保育所1所の整備が遅れたことに加え、マンションからの保育需要が更に伸びたこともあり、平成 28 年度においても大幅な改善には至りませんでした。

フルタイム就労世帯の待機児童については、下記の「地域別・年齢別待機児童数(右側表)」のとおりです。千住地域や綾瀬地域などの大規模開発が進んでいる地域で多い状況があります。また、年齢別では、88 名中 86 名が 0 歳から 2 歳児であり、特に 1 歳児が約 6 割を占めています(表 5)。

表 5 地域別・年齢別待機児童数(全世界帯とフルタイム就労世帯の比較)

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

◆地域別・年齢別 待機児童数 全体(306名)

ブロック	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	構成比
1 千住地域	11	40	5	2			58	19.0%
2 新田地域	江北・扇地区	7	7	2	1		17	5.6%
	宮城・小台地域	1	2				3	1.0%
	興野・本木地域	1	12	4	2		19	6.2%
4 梅田地域	11	12	1	3		27	8.8%	
5 中央本町地域	10	13	2	3		28	9.2%	
6 綾瀬地域	13	16	10			39	12.7%	
7 佐野地域	3	9	5			17	5.6%	
8 保塚・六町地域	8	11	4			23	7.5%	
9 花畑・保木間地域	5	5	1	1	1	13	4.2%	
10 竹の塚地域	3	7	4	1		15	4.9%	
11 伊興・西新井地域	3	8		2		13	4.2%	
12 鹿浜地域	3	10	3			16	5.2%	
13 東伊興・舎人地域	2	6	4	2		14	4.6%	
管外	1	1				2	0.7%	
合計	84	159	45	17	1	0	306	100.0%

構成比 27.5% 52.0% 14.7% 5.6% 0.3% 0.0% 100.0%

◆地域別・年齢別 待機児童数 フルタイム就労世帯(88名)

ブロック	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	構成比
1 千住地域	8	25		1			34	38.6%
2 新田地域	江北・扇地区	4	1				5	5.7%
	宮城・小台地域		1				1	1.1%
	興野・本木地域	1	2	1			4	4.5%
4 梅田地域	5	3				8	9.1%	
5 中央本町地域	3	5				8	9.1%	
6 綾瀬地域	5	6				11	12.5%	
7 佐野地域		2				2	2.3%	
8 保塚・六町地域	3	2				5	5.7%	
9 花畑・保木間地域	1					1	1.1%	
10 竹の塚地域	1	1		1		3	3.4%	
11 伊興・西新井地域	1	3				4	4.5%	
12 鹿浜地域						0	0.0%	
13 東伊興・舎人地域	1	1				2	2.3%	
管外						0	0.0%	
合計	33	52	1	2	0	0	88	100.0%

構成比 37.5% 59.1% 1.1% 2.3% 0.0% 0.0% 100.0%

※地域別待機児童数は、待機児童となっている児童が第一希望で入所希望した保育施設所在地ごとにカウントしています。
 ※平成 27 年度からは、家庭的保育や小規模保育など、区で利用調整を行うすべての施設の待機児童をカウントしています。
 ※フルタイム就労世帯：月 20 日以上、1 日 8 時間以上(休憩時間含む)の就労を常態(外勤・自宅内)

表6 ブロック別待機児童内訳（申請事由別）

平成28年4月1日現在

地域	申請事由	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
1ブロック (千住地域)	就労中(フルタイム)	8	25		1			34
	就労中(パート)	1	6	3				10
	求職中	2	7	1	1			11
	介護							
	疾病、障がい			1				1
	出産、就学		1					1
	不存在・その他		1					1
定員 受入可能数 (97)	合計	11	40	5	2			58
2ブロック (江北・新田 地域)	就労中(フルタイム)	4	2					6
	就労中(パート)	3	4	1	1			9
	求職中	2	3	1				6
	介護							
	疾病、障がい	1						1
	出産、就学							
	不存在・その他							
定員 受入可能数 (85)	合計	10	9	2	1			22
3ブロック (興野・本木 地域)	就労中(フルタイム)	1	2	1				4
	就労中(パート)		7	1	1			9
	求職中		3	2	1			6
	介護							
	疾病、障がい							
	出産、就学							
	不存在・その他							
定員 受入可能数 (23)	合計	1	12	4	2			19
4ブロック (梅田地域)	就労中(フルタイム)	5	3					8
	就労中(パート)	3	4	1				8
	求職中	2	2		2			6
	介護	1	2		1			4
	疾病、障がい		1					1
	出産、就学							
	不存在・その他							
定員 受入可能数 (55)	合計	11	12	1	3			27
5ブロック (中央本町 地域)	就労中(フルタイム)	3	5					8
	就労中(パート)	4	3		2			9
	求職中	3	4	2	1			10
	介護		1					1
	疾病、障がい							
	出産、就学							
	不存在・その他							
定員 受入可能数 (27)	合計	10	13	2	3			28
6ブロック (綾瀬地域)	就労中(フルタイム)	5	6					11
	就労中(パート)	2	3	4				9
	求職中	6	4	5				15
	介護							
	疾病、障がい		2	1				3
	出産、就学		1					1
	不存在・その他							
定員 受入可能数 (100)	合計	13	16	10				39
7ブロック (佐野地域)	就労中(フルタイム)		2					2
	就労中(パート)	1	1	1				3
	求職中	2	6	4				12
	介護							
	疾病、障がい							
	出産、就学							
	不存在・その他							
定員 受入可能数 (46)	合計	3	9	5				17
8ブロック (保塚・六町 地域)	就労中(フルタイム)	3	2					5
	就労中(パート)	2	3					5
	求職中	3	5	4				12
	介護							
	疾病、障がい		1					1
	出産、就学							
	不存在・その他							
定員 受入可能数 (18)	合計	8	11	4				23
9ブロック (花畑・保木間 地域)	就労中(フルタイム)	1						1
	就労中(パート)	2	1	1	1			5
	求職中	2	4			1		7
	介護							
	疾病、障がい							
	出産、就学							
	不存在・その他							
定員 受入可能数 (40)	合計	5	5	1	1	1		13
10ブロック (竹の塚地域)	就労中(フルタイム)	1	1		1			3
	就労中(パート)		3	3				6
	求職中	2	3	1				6
	介護							
	疾病、障がい							
	出産、就学							
	不存在・その他							
定員 受入可能数 (62)	合計	3	7	4	1			15
11ブロック (伊興・西新井 地域)	就労中(フルタイム)	1	3					4
	就労中(パート)	1	2		1			4
	求職中	1	2		1			4
	介護							
	疾病、障がい							
	出産、就学							
	不存在・その他		1					1
定員 受入可能数 (29)	合計	3	8		2			13
12ブロック (鹿浜地域)	就労中(フルタイム)							
	就労中(パート)	2	4	2				8
	求職中	1	6	1				8
	介護							
	疾病、障がい							
	出産、就学							
	不存在・その他							
定員 受入可能数 (37)	合計	3	10	3				16
13ブロック (東伊興・舎人 地域)	就労中(フルタイム)	1	1					2
	就労中(パート)		1		2			3
	求職中	1	4	3				8
	介護			1				1
	疾病、障がい							
	出産、就学							
	不存在・その他							
定員 受入可能数 (32)	合計	2	6	4	2			14
管外	就労中(フルタイム)							
	就労中(パート)		1					1
	求職中	1						1
	介護							
	疾病、障がい							
	出産、就学							
	不存在・その他							
定員 受入可能数 (46)	合計	1	1					2

【参考】

◆申請事由別の合計

申請事由	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
就労中(フルタイム)	33	52	1	2			88
就労中(パート)	21	43	17	8			89
求職中	28	53	24	6	1		112
介護	1	3	1	1			6
疾病、障がい	1	4	2				7
出産、就学		2					2
不存在・その他		2					2
合計	84	159	45	17	1	0	306

27.5% 52.0% 14.7% 5.6% 0.3% 0.0%

構成比

◆定員受入可能数の内訳(足立区全体)

保育施設	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可保育所	1	9	16	53	103	136	318
認定こども園	2	1	7	7	7	3	27
小規模保育	36	5	30	—	—	—	71
家庭的保育	41	62	3	—	—	—	106
足立区認定家庭的保育	4	9	0	—	—	—	13
公設認可外	0	0	1	14	8	0	23
認証保育所	33	4	19	10	16	11	93
合計	117	90	76	84	134	150	651

※「定員受入可能数」は、各保育施設の「空き定員数」を示す。

※認証保育所以外は、平成28年5月入園分の募集人数

2.1.4 待機児童実態調査の結果

2.1.4.1 アンケート調査の概要

待機児童の保護者に対して、認可保育施設に入れなかった後の動向を把握するため、次のとおりアンケート調査を実施しました。

- ・調査実施日 平成 28 年 6 月 16 日～6 月 30 日
- ・調査方法 待機児童の保護者への郵送によるアンケート
- ・調査対象 待機児童のいる 288 世帯(待機児童は 306 名であるが、複数の待機児童がいる世帯は 1 世帯として扱い、288 世帯に郵送した。)
- ・回収率 42.7% (123 世帯)

2.1.4.2 アンケート調査から判明したこと

(1) 認可保育所に入れなかった後の保護者について、次の状況が見られました。

- ① 「育児休業を延長している(32 名)」「何らかの保育サービスを利用している(29 名)」「仕事をやめた(21 名)」の順に多い(図 3)。
- ② 認可保育所以外の保育施設を申し込まなかった保護者は、前年度比 7.8 ポイント減少したものの、47.5%と未だに高い率を占めている(図 4・左)。
- ③ 認可保育所以外の保育施設を申し込まなかった理由では昨年に引き続き「保育料が高いイメージがある(41 名)」が一番多く、小規模保育や家庭的保育の保育料が認可保育所と同等であることがいまだに理解されていないことが分かった。次いで多かったのが「認可保育所の方がしっかり保育してくれるイメージがある(34 名)」である(図 4・右)。

図 3 平成 28 年 5 月 1 日現在の保護者の状況

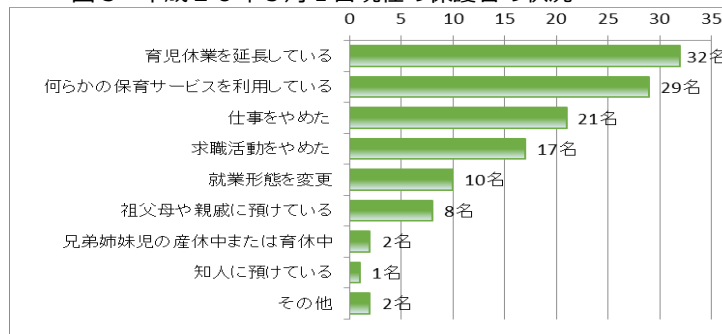
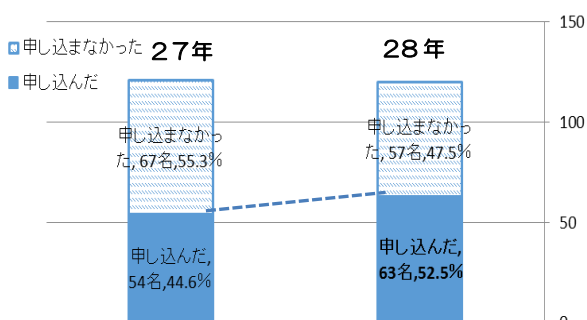


図 4 認可保育所以外の認可施設の申込の有無



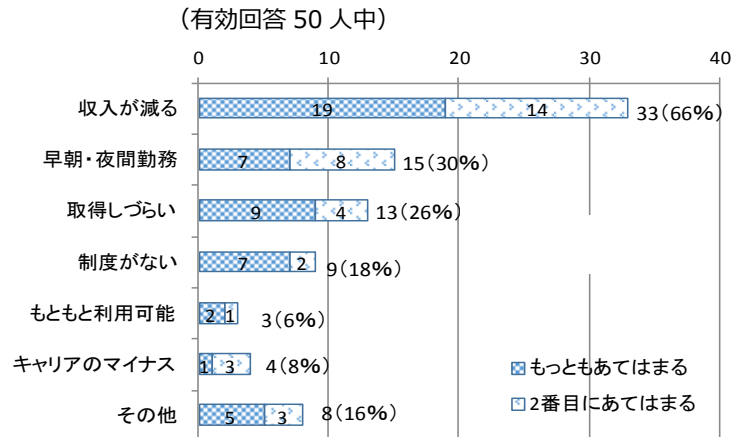
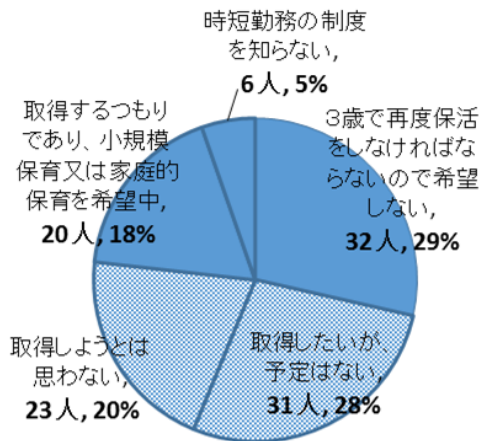
申し込みなかった理由	人数
認可保育所以外は保育料が高いイメージがある	41名
認可保育所の方がしっかり保育してくれるイメージがある	34名
受入可能年齢に制限があり、3歳以降の預け先の確保に不安がある	23名
認可保育所と比べて施設規模が小さい	19名
給食を実施していない・お弁当を用意できない	14名
家族や知人から認可保育所を薦められた	10名
預けられる時間が短い	8名
自宅又は勤務先のそばに認可保育所しかない	6名
認可保育所と比べて定員が少ない	5名
土曜保育を実施していない	3名
認可保育所以外の制度を知らなかった	2名
認可保育所以外の施設がどこにあるのかわからない	2名
認可保育所以外の施設の申込方法がわからない	1名
その他	9名

(2) 時短勤務を取得して短時間向けの施設(小規模保育、家庭的保育)を利用する働き方について、保護者は次のような考えをお持ちであることが分かりました。

- ① 3割以上近くの保護者が3歳で再度保活をしなければならないことを理由に、小規模保育、家庭的保育の利用を検討していない(図5・左)。
- ② 「取得したいが予定はない」又は「取得しようとは思わない」と回答した保護者の3分の2が、「収入が減る」ことをその理由に挙げている。また、3割の保護者が「早朝・夜間勤務が避けられず時間が合わない」ことを理由に挙げている(ともに2番目にあてはまる理由まで回答した数)(図5・右)。

図5 時短勤務を取得した短時間向け施設の利用意向

⇒ 《時短取得しようと思わない・予定がない理由》



(3) 理想の預け時期と、実際の申し込み時期に、次のようなずれがあることが分かりました。

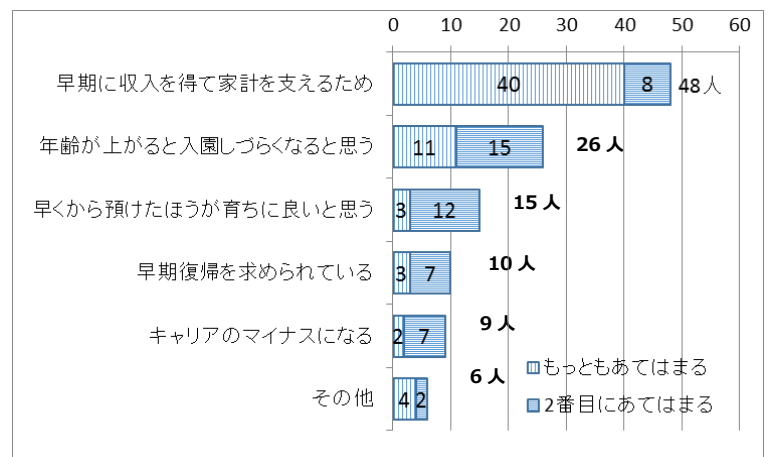
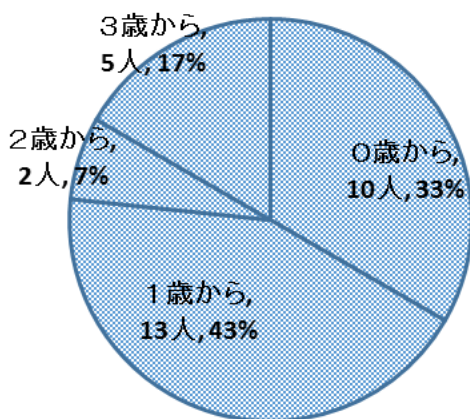
- ① 妊娠中又は0歳児で利用申込みをした保護者のうち3分の2が、1歳～3歳を理想の預け時期と考えている(図6・左)。
- ② 理想の預け時期と実際の申し込み時期が異なる理由として、8割近くの保護者が「早期に収入を得て家計を支えるため」と回答した。また、4割以上の保護者が「年齢が上がると入園しづらくなると思う」と回答した(図6・右)。

図6 理想の預け時期

⇒ 《理想の預け時期と実際の時期が異なる理由》

(妊娠中又は0歳児の申込者：30人中)

(全年齢：63人中)



※ 今年度の待機児童実態調査結果については、本アクション・プランのP.69 資料3をご覧ください。

2.2 保育需要と施設整備の状況

2.2.1 保育需要の動向

(1) 保育需要数の推移

0歳から2歳児、3歳から5歳児ともに保育需要数は、継続して増加している。
 全年齢（0歳から5歳児）においても、平成21年度以降、上昇を続けている（図7）。

保育需要数と保育定員数を比較すると、0歳から5歳児では、平成25年度に保育需要数が保育定員数を上回りましたが、平成26年度以降は保育定員数が上回っています。また、0歳から2歳児では、平成26年度に保育需要数が保育定員数を上回りましたが、平成27年度、平成28年度は保育定員数が保育需要数を上回っています。ただし、保育需要に対する保育定員数の過不足については、各地域における保育需要と保育定員数とのバランスなどを踏まえ、判断していく必要があると考えます（表7、表8）。

表7 保育需要数の内訳及び推移【0歳から5歳児】

(人)(各年4月1日現在)

区分		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
認可保育園	ア	8,511	8,530	8,638	8,799	8,874	8,811	9,037	9,113	9,446	9,775
認定こども園(公立)	イ	—	—	—	—	—	271	264	265	254	261
認定こども園(私立)	ウ	—	—	—	48	136	280	411	460	326	288
小規模保育等	エ	56	63	77	47	55	167	233	260	289	301
家庭的保育(区認定事業含む)	オ	141	145	210	265	322	333	361	411	343	407
認可外公設民営	カ	—	—	—	—	—	46	84	105	124	128
東京都認証保育所	キ	505	602	716	803	945	1059	1123	1,193	1,176	1,167
子育て応援隊	ク	—	—	—	—	—	26	27	25	59	33
計(ア～ク)	ク	9,213	9,340	9,641	9,962	10,332	10,993	11,540	11,832	12,017	12,360
待機児童数	Y	213	205	418	436	485	397	294	330	322	306
保育需要数(X+Y)		9,426	9,545	10,059	10,398	10,817	11,390	11,834	12,162	12,339	12,666

【参考】

保育定員数	9,819	9,916	9,974	10,388	10,718	11,416	11,832	12,180	12,609	13,094
-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

表8 保育需要数の内訳及び推移【0歳から2歳児】

(人)(各年4月1日現在)

区分		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
認可保育園	ア	3,060	3,107	3,196	3,341	3,364	3,318	3,396	3,438	3,603	3,792
認定こども園(公立)	イ	—	—	—	—	—	84	79	84	81	84
認定こども園(私立)	ウ	—	—	—	34	34	61	94	92	91	80
小規模保育等	エ	55	60	74	47	55	167	233	260	289	300
家庭的保育(区認定事業含む)	オ	141	145	210	265	322	333	361	411	343	407
公設民営認可外	カ	—	—	—	—	—	20	49	47	49	49
東京都認証保育所	キ	404	474	571	664	790	876	934	969	939	929
子育て応援隊	ク	—	—	—	—	—	26	27	25	59	33
計(ア～ク)	ク	3,660	3,786	4,051	4,351	4,565	4,885	5,173	5,326	5,454	5,674
待機児童数	Y	159	179	383	408	440	336	241	287	286	288
保育需要数(X+Y)		3,819	3,965	4,434	4,759	5,005	5,221	5,414	5,613	5,740	5,962

【参考】

保育定員数	4,125	4,137	4,155	4,414	4,690	5,179	5,437	5,568	5,815	6,022
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

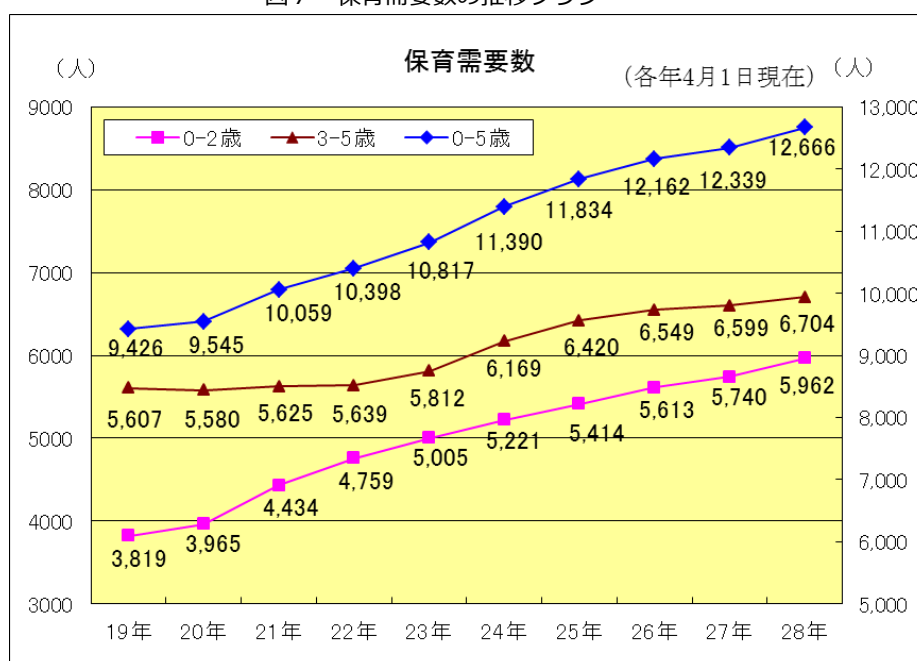
① 0歳から2歳児の推移

平成21年度以降、急増してきた0歳から2歳児の需要数は、やや緩やかになりながらも継続して増加しています。年度ごとの0歳から2歳児の増加数の伸びでは、平成21年度の急激な増加をピークに緩やかに減少し、平成25年度からは、200名を切る増加数で推移していましたが、平成28年度は4年ぶりに200名を超える増加数になりました。(22年度:325名増、23年度:246名増、24年度:216名増、25年度:193名増、26年度:199名増、平成27年度:127名増、平成28年度:222名)(図7)。

② 3歳から5歳児の推移

平成24年度以降、年齢移行により増加し始めた3歳から5歳児の需要数は、一定の上昇を続けていますが、平成26年度から、増加数は減少傾向にありましたが、平成28年度は増加しました(24年度:357名増、25年度:251名増、26年度:129名増、平成27年度:50名増、平成28年度105名増)(図7)。

図7 保育需要数の推移グラフ



※ 足立区における「保育需要数」は、認可保育所、認定こども園(保育認定)、小規模保育、家庭的保育(保育ママ)、認証保育所、子育て応援隊(月ぎめ保育)に預けている児童数(管外利用者を含む)に待機児童数を加えて算出しています。

※ 「待機児童数」とは、調査日時点において、保育の必要性の認定がされ、認可保育所、認定こども園(保育認定)、小規模保育、家庭的保育(保育ママ)の利用申込がされているが、利用していないものから、東京都認証保育所や幼稚園の預かり保育等を利用している児童と、私的な理由で待機している児童を除外したもの(国定義の待機児童)をいいます。

(2) 保育需要率の推移

保育需要率は、平成28年4月1日現在、0歳から5歳児全体で38.2%となり、昨年見込んでいた推計値38.3%より0.1ポイント下回っているものの、依然として上昇を続けている(図8)。

※ 「保育需要率」は、「対象年齢人口に対する保育需要数の割合」です。

0歳から2歳児では、平成28年度の人口は90人減少しましたが、保育需要数は222名増加しました。保育需要率は、平成20年度以降、上昇を続けており、平成28年度は1.5ポイント上昇しました。また、3歳から5歳児では、平成26年度から、人口は減少に転じていますが、保育需要数は増加を続けています。保育需要率は、平成23年度以降、上昇を続けており、平成28年度は0.9ポイント上昇しました(表10、表11)。

保育需要数は、これまでの推移からも就学前人口の増減にかかわらず増加していく傾向にあるといえます。さらに、大規模開発や沿線開発が進んでいる地域では、開発後も一定期間、保育需要の高い状況が続いていくことが予測されます。このような状況から、今後、保育需要率についても上昇していく傾向にあると考えます。

図8 保育需要率の推移グラフ

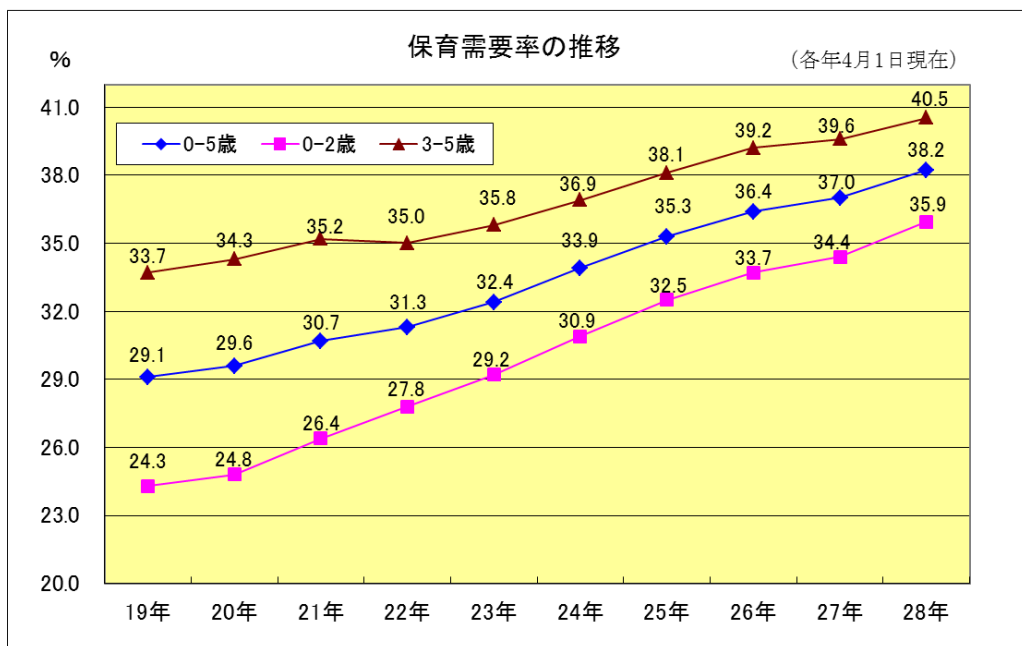


表9 0歳から5歳児の保育需要率

(各年4月1日現在)

区分		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
保育需要数(人)	M	9,426	9,545	10,059	10,398	10,817	11,390	11,834	12,162	12,339	12,666
就学前人口(人)	N	32,363	32,264	32,756	33,242	33,415	33,647	33,542	33,406	33,329	33,128
保育需要率(%)	M/N	29.1%	29.6%	30.7%	31.3%	32.4%	33.9%	35.3%	36.4%	37.0%	38.2%

表10 0歳から2歳児の保育需要率

(各年4月1日現在)

区分		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
保育需要数(人)	M	3,819	3,965	4,434	4,759	5,005	5,221	5,414	5,613	5,740	5,962
0-2歳人口(人)	N	15,740	16,000	16,765	17,140	17,157	16,918	16,676	16,680	16,680	16,590
保育需要率(%)	M/N	24.3%	24.8%	26.4%	27.8%	29.2%	30.9%	32.5%	33.7%	34.4%	35.9%

表 11 3歳から5歳児の保育需要率

(各年4月1日現在)

区分		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
保育需要数(人)	M	5,607	5,580	5,625	5,639	5,812	6,169	6,420	6,549	6,599	6,704
3-5歳人口(人)	N	16,623	16,264	15,991	16,102	16,258	16,729	16,866	16,726	16,649	16,538
保育需要率(%)	M/N	33.7%	34.3%	35.2%	35.0%	35.7%	36.9%	38.1%	39.2%	39.6%	40.5%

2.2.2 施設整備の状況

(1) これまでの保育定員の状況

過去9年で保育定員を3,275名増員(0歳から2歳児で1,897名、3歳から5歳児で1,378名)(表12)

平成27年度は、認可保育所5所の新設や家庭的保育(保育ママ)の増員等により、保育定員を485名(0歳から2歳児で207名、3歳から5歳児で278名)増員しました(表12)。

図9 保育定員数の推移グラフ

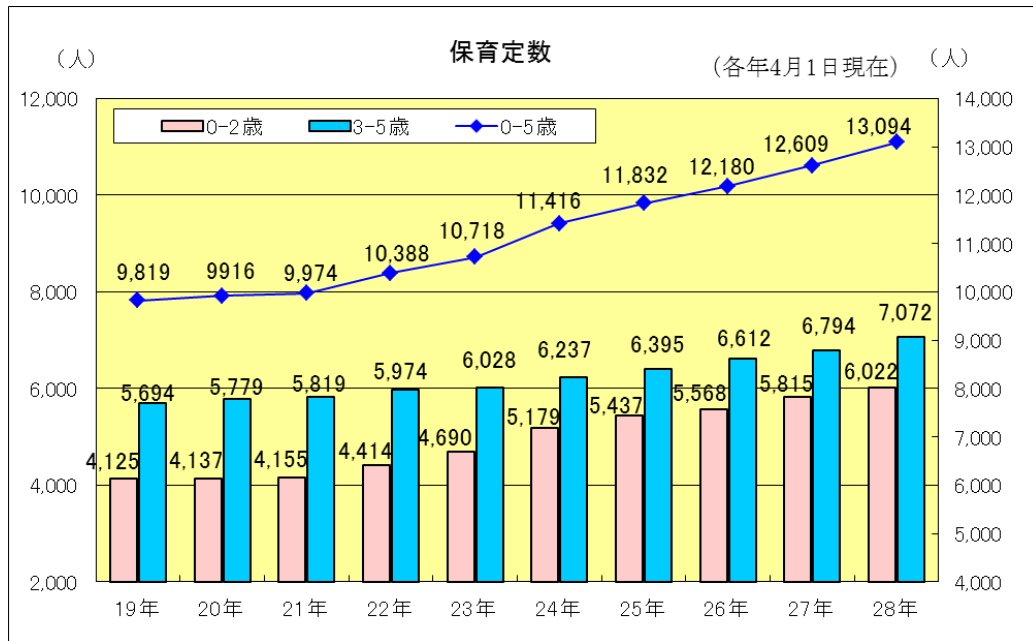


表 12 保育定員の推移

区分	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	28年-19年
保育定員数(人)	9,819	9,916	9,974	10,388	10,718	11,416	11,832	12,180	12,609	13,094	3,275
うち3-5歳保育定員	5,694	5,779	5,819	5,974	6,028	6,237	6,395	6,612	6,794	7,072	1,378
うち0-2歳保育定員	4,125	4,137	4,155	4,414	4,690	5,179	5,437	5,568	5,815	6,022	1,897
前年からの増員数(人)	-	97	58	414	330	698	416	348	429	485	

3. 待機児童ゼロにむけて

3.1 待機児童ゼロにむけた課題の整理と方針

今後の待機児童対策を進めるにあたり、保育需要の傾向や各課題に対する平成 27 年度の取り組み結果等を踏まえ、各課題を整理しました。

3.1.1 就学前人口の推移、保育需要率

(1) 就学前人口の推移

就学前人口は、平成 28 年 4 月 1 日現在、33,128 名で、対前年比 201 名の減で、未就学人口が減少に転じた平成 25 年度以降、最大の減少幅となりました。年齢構成別の前年比較では、0 歳から 2 歳児は 90 名の減、3 歳から 5 歳児で 111 名の減となっています。

0 歳から 2 歳児の人口は、平成 21 年度から平成 23 年度にかけて大規模開発等の影響から急増していましたが、平成 24 年度以降は減少又は横ばいで推移しています。3 歳から 5 歳児の人口は平成 26 年度以降減少を続けており、平成 27 年度以降、0 歳から 2 歳児の人口が 3 歳から 5 歳児の人口を再び上回っています(図 10)。

各年齢別の前年比較では、0 歳児は 33 名の減、1 歳児は 77 名の増、2 歳児は 134 名の減となります。「1 ブロック(千住地域)」、「6 ブロック(綾瀬地域)」のように、大規模開発やまちの整備が進んでいる地域では、0 歳から 2 歳児の人口が 3 歳から 5 歳児の人口を大きく上回っています(P34～P59 資料1 参照)。

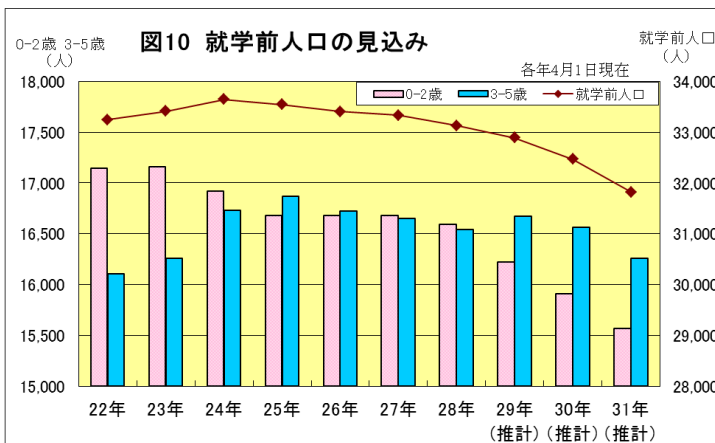
(2) 平成 31 年度までの就学前人口の見込み

区全体の平成 28 年 4 月現在の未就学人口について「足立区人口推計」(平成 27 年 9 月)と比較すると、0 歳から 2 歳児について高位推計値(16,511 人)を 79 人上回りましたが、大規模な開発が計画されている 6 ブロック(綾瀬地域)以外では、今後は概ね高位推計値の範囲内に収まるものと考えられます。3 歳から 5 歳児については、平成 28 年度も中位推計値の範囲内で推移しています。

こうした状況を踏まえ、今後の保育需要を予測するにあたっては、0 歳から 2 歳児は高位推計値を、3 歳から 5 歳は中位推計値を取ることとします。

以上より、今後 3 年間の未就学人口は 0 歳から 5 歳児全体で、平成 29 年度には 32,886 人程度、平成 30 年度には 32,465 人程度、平成 31 年度には 31,822 人程度になると予測しています。

また、0 歳から 2 歳児では、平成 29 年度には 16,217 人程度、平成 30 年度には 15,904 人程度、平成 31 年度には 15,563 人程度になると予測しています(図 10)。

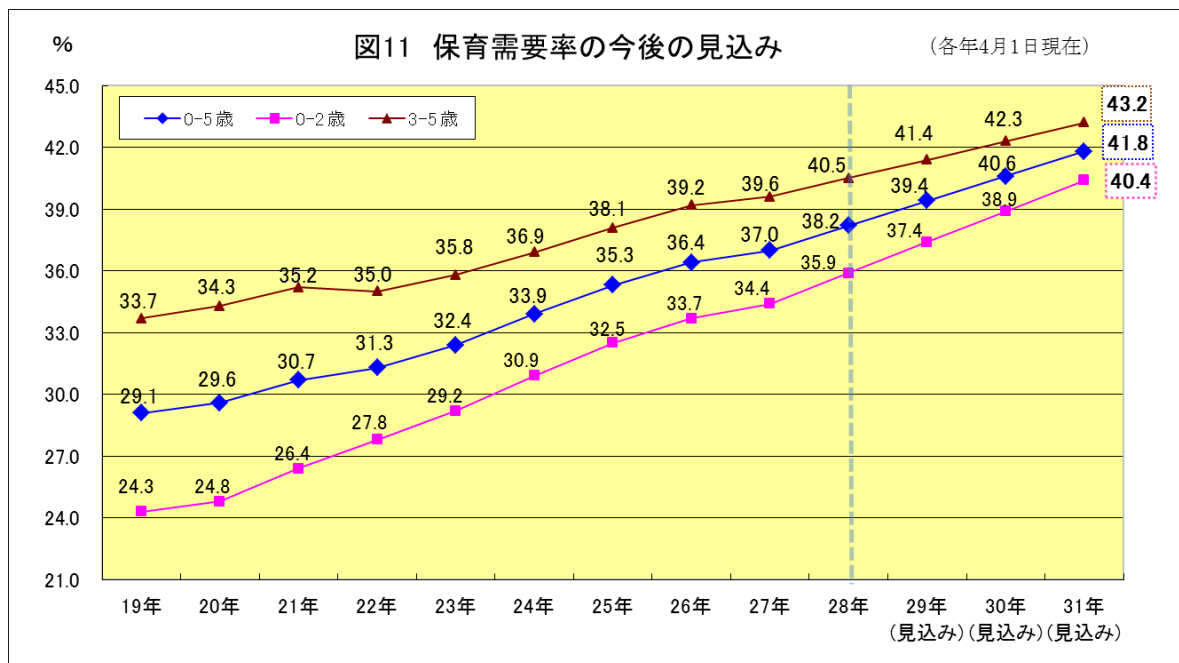


	H24	H25	H26	H27	H28.4	前年比較
全体					33,128	
0歳	5,540	5,496	5,454	5,551	5,518	-33
1歳	5,629	5,661	5,610	5,550	5,627	77
2歳	5,749	5,519	5,616	5,579	5,445	-134
3歳	5,731	5,691	5,474	5,575	5,542	-33
4歳	5,504	5,674	5,642	5,455	5,547	92
5歳	5,494	5,501	5,610	5,619	5,449	-170
合計	33,647	33,542	33,406	33,329	33,128	-201
0～2歳	16,918	16,676	16,680	16,680	16,590	-90
3～5歳	16,729	16,866	16,726	16,649	16,538	-111

(3) 平成 31 年度までの保育需要率の見込み

平成 28 年度の保育需要率は、0 歳から 5 歳児において前年度までの見込みをやや下回ったものの、0 歳から 2 歳児においては前年度までの見込みを上回る高い伸び率(1.5 ポイント増)となりました。施設整備に伴い新たな利用者が増加することが予測されることから、今後 3 年間では今年度と同等の需要率の増加が見込まれます。

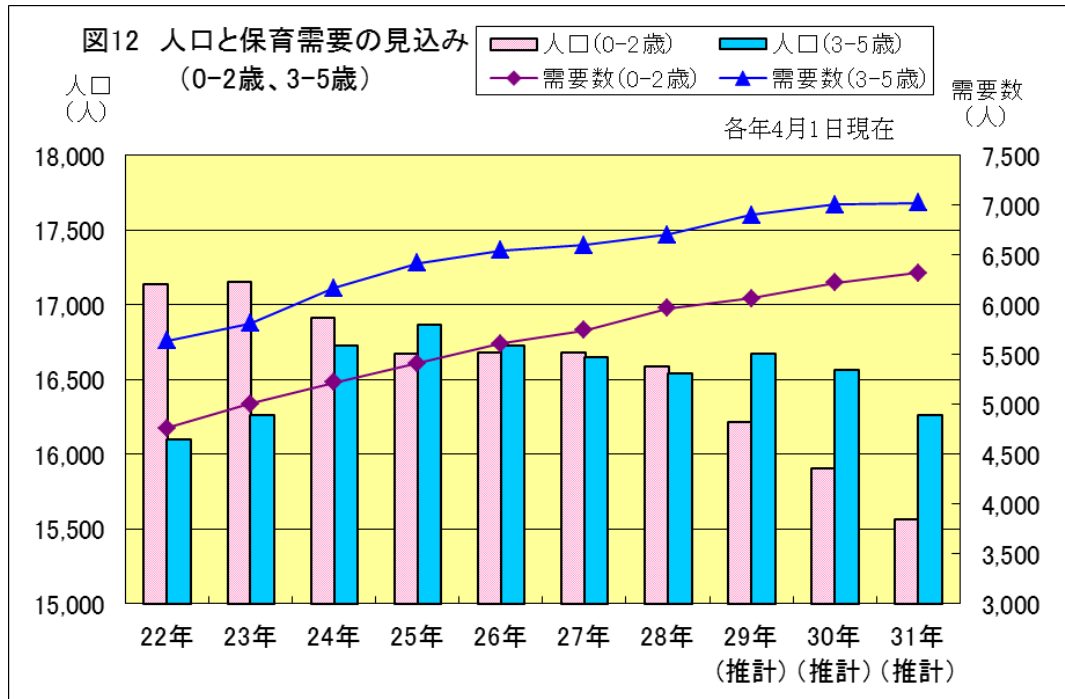
以上より、0 歳から 5 歳児全体で、平成 29 年度には 39.4%程度、平成 30 年度には 40.6%程度、平成 31 年度には 41.8%程度まで上昇していくものと予測しています。また、0 歳から 2 歳児では、平成 29 年度には 37.4%程度、平成 30 年度には 38.9%程度、平成 31 年度には 40.4%程度まで上昇していくものと予測しています(図 11)。



(4) 平成 31 年度までの保育需要数の見込み

(2)、(3)で検討した各年度の未就学人口の見込みと保育需要率の見込みを乗じて、今後 3 年間の保育需要数を予測します。ただし、6 ブロック(綾瀬地域)については、平成 30 年 4 月までに大規模なマンション開発が計画されており、0 歳から 2 歳児において特に大幅な伸びを示すと思われることから、この方法によらず、これまでの大規模マンションにおける需要の発生状況などをもとに行った独自推計値を適用しています。

これにより、0 歳から 5 歳児全体で、平成 29 年度には 12,966 人程度、平成 30 年度には 13,227 人程度、平成 31 年度には 13,346 人程度になると予測されます。また、0 歳児から 2 歳児では、平成 29 年度には 6,065 人程度、平成 30 年度には 6,222 人程度、平成 31 年度には 6,322 人程度になると予測しています(図 12)。



3.2 待機児童ゼロにむけた具体的な取り組み 1 (施設整備)

3.2.1 施設整備方針

前述のとおり、就学前人口が減少していくにもかかわらず、保育需要は今後も増加していくことが見込まれます。このような傾向を踏まえ、次の方針に基づき施設整備を進めます。

- ◆ フルタイム就労世帯及び、パートタイム就労世帯の待機児童を解消する。
- ◆ 大規模開発や沿線開発が進んでいる地域では、保育需要が集中することから、居住地域内では需要を吸収しきれず、隣接地域に需要が分散する傾向がある。こうした需要の分散化を改善するため、保育需要が集中する地域に保育施設を整備する。
- ◆ 保護者の多様な保育ニーズに応えるため、各地域における待機児童世帯の就労状況等の傾向や既存保育施設の配置状況等を踏まえ、需要の実態に合わせた保育施設等をバランスよく設置する。
- ◆ 平成28年度から平成30年度までの3年間で1607人分の定員整備を確実にを行い、平成30年4月の待機児童ゼロを達成するとともに、平成30年度以降も待機児童ゼロを継続するための定員整備を行う。

3.2.1.1 施設整備等の基本的な考え方

各地域における待機児童の状況や保育需要の分析などから、新たに施設等を整備する必要があるときは、3.2.1 施設整備方針で示した方針を踏まえ、概ね以下の考え方に基づき、施設整備等を行います。

なお、28年度から、地域の実情を踏まえた整備を実施するため、認可保育所及び認証保育所の整備対象地域を追加しています(下表の下線太字部分を追加)。

表 13 保育需要と施設整備

地域における保育需要の状況	保育施設 (種類)
大規模開発、沿線開発等により全年齢にわたり相当多数の保育需要が集中している地域 又は、慢性的に全年齢の保育定員数が不足し、他地域への保育需要の流出が顕著な地域	認可保育所
待機児童の状況などから、相当数の低年齢児の保育需要が見込まれる地域 又は、駅周辺など利便性の高い立地へ整備することで、既存施設を補完して効果的に保育需要に対応することができる地域	東京都認証保育所
待機児童の状況などから、低年齢児のまとまった保育需要が見込まれる地域	小規模保育
区内全域で低年齢児の待機児童が発生していることから、区内全域を対象とする。	家庭的保育

3.2.1.2 用地確保の考え方

保育施設の整備用地については、一定の広さや、二方向避難ができることなどの条件があり、適地を確保することが非常に難しい状況です。確実な施設整備を進めるため、民有地・公有地の区別なく適地の確保に努めていきます。

民有地は比較的スピーディーな整備が可能であり、保育需要の状況に応じた柔軟な活用が可能です。これまでも、金融機関や不動産団体のご協力をいただきながら、土地情報の収集、保育施設として活用を検討している土地所有者や保育事業者への働きかけを行っています。今後も活用可能な土地の開拓に努めていきます。

また、大規模集合住宅開発の際には、足立区環境整備基準に基づき、事業主に対して保育施設の併設を求めています ([P. 28 参照](#))。

公有地のうち区有地の活用にあたっては、保育施設用地としての要件を満たし、活用可能となる時期において地域内に待機児童が見込まれる場合は活用を図るよう、全庁的に取り組んでいきます。また、国有地、都有地等についても積極的に情報を収集し、適地があれば国、都等に協力を求めています。

現在、区有地を活用して、私立認可保育所2所、東京都認証保育所2所が運営されています。

3.2.1.3 施設種別ごとの年度別整備方針

平成 28 年度以降の施設整備等については、各地域における保育需要等の分析結果をもとに、以下のとおり整備することとします。

(1) 全体整備方針

保育需要率は、これまでの人口や保育需要数の推移から、平成 31 年 4 月 1 日現在において 0 歳から 5 歳児全体で 41.8%程度まで上昇するものと予測しました。

この予測を用いて平成 30 年 4 月時点の保育需要数を算定した結果を踏まえ 27 年度アクション・プランに 449 人分上乗せし、平成 28 年度と平成 29 年度の 2 年間で 1,427 人分の保育定員を増やし、平成 30 年 4 月の待機児童解消を図ることとしました。また、平成 30 年度においても、待機児童ゼロを維持するための整備を行うこととし、平成 28 年度から 30 年度の 3 年間で合計 1,607 人分の保育定員を増やす新規整備計画を策定しました。新規整備予定の施設数は、平成 28 年度からの 3 年間で、認可保育所 17 所、認証保育所 5 所、小規模保育 6 施設となります（図 13 参照）。各保育施設の整備定員数の詳細は、(2) 対応策に記載しています。

図 13 施設整備計画の改定内容

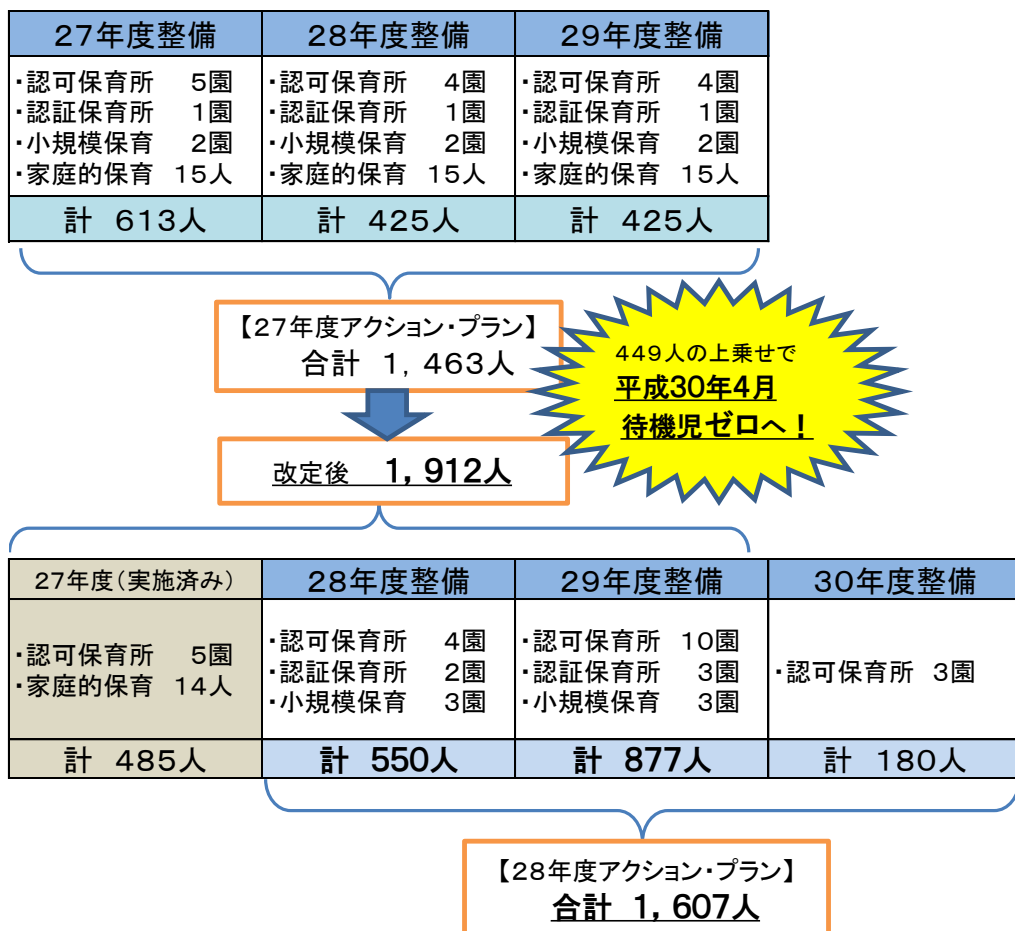


表 14 保育施設の整備定員数

年齢区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度当初	
	4/1現在定員数合計(人)	定員整備等による増数(人)	4/1現在定員数合計(人)	定員整備等による増数(人)	4/1現在定員数合計(人)	定員整備予定数(人)	定員整備予定数(人)	定員整備予定数(人)	4/1現在定員数合計(人)	H28度～H30度定員整備予定数合計(人)
0～5歳	12,180	429	12,609	485 (613)	13,094	550 (425)	877 (425)	180	14,701	1,607 (850)
0～2歳	5,568	247	5,815	207 (307)	6,022	272 (215)	423 (215)	81	6,798	776 (430)
3～5歳	6,612	182	6,794	278 (306)	7,072	278 (210)	454 (210)	99	7,903	831 (420)

※()は、昨年度のアクションプラン整備予定定員数を表示。

保育施設等の新規整備や既存施設の定員増員を図り、平成28年度、平成29年度、平成30年度の3年間で、**合計1,607人分**の定員の整備を目指します。

- ・保育施設の新規整備による定員増員(1,375人分)
- ・既存施設の増改築等による定員増員(232人分見込み)

(2) 対応策

① 認可保育所

大規模開発や沿線開発が進む地域及び、慢性的に全年齢の保育定員数が不足し、他地域への保育需要の流出が見られる地域に民設・民営による認可保育所を誘致します。

平成28年4月1日現在				平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度当初		
年齢区分	施設数	定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	施設数	定員数合計(人)	H28.4.1現在の比較
0～5歳	100所	10,065	・公立:46園 (公設民営13園) ・私立:54園	435	新規4所 ・千住地域 ・宮城・小台地域 ・中央本町地域 ・保塚・六町地域 改修等による増(120)	742	新規10所 ・千住地域 ・江北地域 ・興野・本木地域 ・梅田地域 ・中央本町地域 ・綾瀬地域:2所 ・保塚・六町地域 ・伊興・西新井地域 ・舎人・東伊興地域 改修等による増(112)	180	新規3所 ・佐野地域 ほか2所	117所	11,422	1,357
0～2歳		3,759		167		288		81		4,295	536	
3～5歳		6,306		268		454		99		7,127	821	

② 認定こども園

認定こども園は、就学前の子どもに幼児教育・保育を一体的に行う施設です。平成28年度以降の整備計画はありませんが、私立幼稚園の認定こども園への移行を働きかけていきます。

平成28年4月1日現在				平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度当初		
年齢区分	施設数	定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	施設数	定員数合計(人)	H28.4.1現在の比較
0～5歳	5園	365	・幼稚園型:4園 ・地方裁量型:1園 ※定員数は長時間	0		0		0		5園	365	0
0～2歳		94		0		0		0			94	0
3～5歳		271		0		0		0			271	0

③ 区立認定こども園

平成24年4月に幼児教育の拠点として、1歳児から就学前の児童を対象とした区立認定こども園を開設しました。平成28年度以降の施設整備計画はありません。

平成28年4月1日現在				平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度当初		
年齢区分	施設数	定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	施設数	定員数合計(人)	H28.4.1現在の比較
0～5歳	3園	270	・幼保連携型:2園 ・保育所型:1園 ※定員数は長時間	0	——	0	——	0	——	3園	270	0
0～2歳		84		0	——	0	——	0	——		84	0
3～5歳		186		0	——	0	——	0	——		186	0

④ 小規模保育事業

主に保育短時間認定の児童を預かる施設です。平成27年4月に子ども・子育て支援新制度が施行されたことに伴い、足立区小規模保育室から移行しました。各地域の保育需要の状況を踏まえ、必要と認められる地域に開設を進めていきます。平成28年度から、従来の賃貸物件による整備に加えて、国制度を活用した創設による整備を可能とし、優良な保育事業者の参入を促進します。

平成28年4月1日現在				平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度当初		
年齢区分	施設数	定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	施設数	定員数合計(人)	H28.4.1現在の比較
0～5歳	21施設	373	・21施設	45	新規3施設 ・中央本町地域 ・綾瀬地域 ・竹の塚地域	45	新規3施設 ・新田地域 ・綾瀬地域 ほか1施設	0	——	27施設	463	90
0～2歳		373		45		45		0		463	90	
3～5歳		0		0		0		0		0	0	

⑤ 家庭的保育事業(保育ママ) ※区認定家庭的保育15事業者を含む

家庭的環境で少人数の児童を預かる事業です。平成27年4月に子ども・子育て支援新制度が施行されたことに伴い、足立区家庭福祉員から移行しました。

現在、給食提供の体制を整備するため新規募集を停止していますが、廃業による定員減を補完するため、補助者の配置による既存事業者の定員増を働きかけていきます。

平成28年4月1日現在				平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度当初		
年齢区分	施設数	定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	施設数	定員数合計(人)	H28.4.1現在の比較
0～5歳	172事業所	537	・172事業所 (内区認定15)	0	——	0	——	0	——	172事業者	537	0
0～2歳		537		0	——	0	——	0	——		537	0
3～5歳		0		0	——	0	——	0	——		0	0

⑥ 足立区独自の公設民営認可外保育施設

大規模開発等により相当多数の保育需要が集中しており、民設・民営による保育施設の整備が困難な地域においては、低未利用の土地や児童遊園など、区の資源を最大限に有効活用して、公設保育園を開設しました。平成28年度以降の施設整備計画はありません。

平成28年4月1日現在				平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度当初		
年齢区分	施設数	定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	施設数	定員数合計(人)	H28.4.1現在との比較
0～5歳	3園	149	3園	0	――	0	――	0	――	3園	149	0
0～2歳		48		0	――	0	――	0	――		48	0
3～5歳		101		0	――	0	――	0	――		101	0

⑦ 東京都認証保育所

東京都が認証した都市型の保育施設である認証保育所を、相当数の低年齢児の保育需要が見込まれる地域に開設していきます。認可化するが、同時に整備も行う。

平成28年4月1日現在				平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度当初				
年齢区分	施設数	定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	施設数	定員数合計(人)	H28.4.1現在との比較		
0～5歳	42所	1,235	・A型(駅前基本型):28所 ・B型(小規模型):14所	70	新規2所 ・千住地域 ・梅田地域	90	新規3所 ・千住地域 ・中央本町地域 ほか1所	0	――	47所	1,395	160		
0～2歳		1,027		61		90		0	――				1,178	151
3～5歳		208		9		0		0	――				217	9

⑧ あだち子育て応援隊

求職中や短時間勤務の保護者を主として、月ぎめで低年齢児を預かる事業です。時間単位で利用できる一時保育も引き続き行います。

平成28年4月1日現在				平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度当初		
年齢区分	施設数	定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	整備定員数(人)	内容	施設数	定員数合計(人)	H28.4.1現在との比較
0～5歳		100	NPO法人	0	――	0	――	0	――		100	0
0～2歳		100		0	――	0	――	0	――		100	0
3～5歳		0		0	――	0	――	0	――		0	0

※あだち子育て応援隊事業は、(旧)「子育てホームサポート事業」と(旧)「ファミリー・サポート・センター事業」を統合して平成22年に始めた事業です。

⑨ 私立幼稚園の預かり保育、4年保育の充実

現在、区内のすべての私立幼稚園で預かり保育を実施しています。預かり保育の時間延長や月極めの保育料を設定するなど、両親が就労している家庭でも幼稚園に通わせることができるように、私立幼稚園との連携・協力を進めています。

3.2.2 ブロック別の施設整備計画

3.1.1 で予測した保育需要の見込みに基づき、ブロックごとの平成30年4月時点の保育定員の不足数を算定しました。ここで見込んだ不足数に、各ブロックにおける大規模集合住宅開発等の動向も踏まえ、平成30年4月の待機児童解消に向けてブロックごとの整備計画を策定しました。

■平成30年4月時点での定数不足（見込み）

平成28年4月現在から、何ら定員整備を行わなかった場合、各ブロックにおいて平成30年4月時点の需要に対する定員の過不足の状況は下表のようになる見込みです。

※「H30.4.1 保育需要数(見込み)」は、各ブロックにおける平成28年4月の保育需要数に、足立区全体の平成28年度から平成30年4月にかけての保育需要数の伸び率の見込み(0～2歳児:103.7%、3～5歳児104.3%)を乗じて求めた数値。

ブロック		年齢	① H28.4.1時点 保育定員	② H30.4.1 保育需要数 (見込み) ※	①-② H30.4.1 定数不足 (見込み)
X	足立区	全年齢	12,994	13,227	-233
		0～2歳児	5,922	6,222	-300
		3～5歳児	7,072	7,005	67
1ブロック	千住地域	全年齢	1,649	1,711	-62
		0～2歳児	780	842	-62
		3～5歳児	869	869	0
2ブロック	江北・新田地域	全年齢	1,200	1,202	-2
		0～2歳児	500	535	-35
		3～5歳児	700	667	33
3ブロック	興野・本木地域	全年齢	875	868	7
		0～2歳児	375	393	-18
		3～5歳児	500	475	25
4ブロック	梅田地域	全年齢	1,144	1,162	-18
		0～2歳児	554	559	-5
		3～5歳児	590	603	-13
5ブロック	中央本町地域	全年齢	1,025	1,087	-62
		0～2歳児	496	530	-34
		3～5歳児	529	557	-28
6ブロック	綾瀬地域	全年齢	1,711	1,773	-62
		0～2歳児	809	901	-92
		3～5歳児	902	872	30
7ブロック	佐野地域	全年齢	731	725	6
		0～2歳児	306	320	-14
		3～5歳児	425	405	20
8ブロック	保塚・六町地域	全年齢	783	827	-44
		0～2歳児	374	405	-31
		3～5歳児	409	421	-12
9ブロック	花畑・保木間地域	全年齢	677	629	48
		0～2歳児	238	241	-3
		3～5歳児	439	388	51
10ブロック	竹の塚地域	全年齢	1,064	1,054	10
		0～2歳児	491	484	7
		3～5歳児	573	570	3
11ブロック	伊興・西新井地域	全年齢	722	741	-19
		0～2歳児	380	373	7
		3～5歳児	342	368	-26
12ブロック	鹿浜地域	全年齢	671	678	-7
		0～2歳児	271	279	-8
		3～5歳児	400	400	0
13ブロック	舎人・東伊興地域	全年齢	742	772	-30
		0～2歳児	348	361	-13
		3～5歳児	394	411	-17

3.2.2.1 1ブロック — 千住地域

千住大橋駅周辺の大規模開発に伴い、全年齢にわたり相当数の保育需要が増加しているため、平成28年9月開所の認証保育所1所、平成29年4月開所の認可保育所2所の整備を進めています。千住地域全体でも保育需要が増加傾向にあることから、平成30年4月開所の認可保育所と認証保育所をそれぞれ1所ずつ追加整備します。

3.2.2.2 2ブロック — 江北・新田地域

江北地域では、沿線開発により0～2歳児の需要が上昇し、隣接する3ブロック(興野・本木地域)、12ブロック(鹿浜地域)へ保育需要の流出が見られる状況です。今後、保育需要がさらに高まると予測されることから、平成30年4月開所の認可保育所1所を整備する予定です。

新田地域では、319戸の大規模な集合住宅の建設が進められています。全年齢にわたり保育需要が増加する見込みであることから、平成28年4月開所の認可保育所を先回りで整備しています。また、集合住宅内には平成30年4月開所の小規模保育1施設を整備する予定です。

宮城・小台地域では、平成27年12月に入居開始した169戸の集合住宅の建設にあわせ、認可保育所1所の整備を予定していましたが、物件が乏しいことから隣接する扇地域で認可保育所1所の整備に切り替えて保育需要に対応してまいります。

3.2.2.3 3ブロック — 興野・本木地域

日暮里・舎人ライナーの沿線開発により、0～2歳児の保育需要が多い状況です。小規模保育1施設の整備を予定していましたが、物件が乏しいことから、宮城・小台地域の需要を合わせて、平成30年4月開所の認可保育所1所に切り替えて整備を行います。

3.2.2.4 4ブロック — 梅田地域

平成21年以降、慢性的に待機児童が多い地域です。平成28年4月に東武伊勢崎線高架下に認可保育所1所を開所しましたが、低年齢児の保育需要が集中したため、待機児童数は増加してしまいました。0～2歳児の保育需要が多く、一定数のフルタイム就労世帯の待機児童が見られる状況であることから、平成28年度に認証保育所1所の整備を予定しています。また、隣接する3ブロック(興野・本木地域)、5ブロック(中央本町地域)への保育需要の流出が見られるため、平成30年4月に開所の認可保育所1所を追加整備します。

3.2.2.5 5ブロック — 中央本町地域

中央本町地域では、0～2歳児の待機児童が多く、また、隣接地域の保育施設を利用する児童がいるなど、保育需要の動きが複雑化していることから、小規模保育1施設の整備を予定していましたが、物件が乏しいことから、平成29年4月開所の認可保育所1所に切り替え整備を進めています。今後、つくばエクスプレス沿線開発により相当多数の保育需要が発生する見込みであり、また認証保育所が地域外に移転する可能性があるため、平成30年4月開所の認可保育所と認証保育所をそれぞれ1所ずつ追加整備します。

3.2.2.6 6ブロック — 綾瀬地域

大規模集合住宅の開発により0～2歳児の保育需要が急増したことから、平成28年度は千住地域に次

いで待機児童数が多い地域となりました。北綾瀬駅周辺では平成 30 年 4 月までに計 500 戸以上のマンション開発計画が、東和・中川地域では 191 戸の大規模マンション開発計画があります。待機児童の多い 0～2 歳に対応するため、平成 29 年 4 月開所の小規模保育1施設の整備を予定しています。また、マンション開発に合わせて平成 30 年 4 月開所の認可保育所 1 所と小規模保育 1 施設を北綾瀬駅周辺に、認可保育所 1 所を東和・中川地域に追加整備します。

3.2.2.7 7ブロック — 佐野地域

加平二丁目に 113 戸の集合住宅建設が進められています。この地域は保育施設が少ない地域であり、特に加平二丁目の地域には保育施設がありません。隣接する 6 ブロック(綾瀬地域)、8 ブロック(保塚・六町地域)の認可保育所の整備により、当面は保育需要の増加に対応できる見込みですが、保育需要が本格化する平成 31 年 4 月にあわせて認可保育所 1 所を追加整備する予定です。今後、保育需要の動向に注視してまいります。

3.2.2.8 8ブロック — 保塚・六町地域

つくばエクスプレス沿線の開発により、保育需要が増加傾向にあります。今後も住宅開発が進み、人口・保育需要ともに大きく増加する見込みであることから、平成 29 年 4 月開所予定の認可保育所 1 所の整備をすすめています。また、その後も需要増加が予想されることから、平成 30 年 4 月の開所を目指して更に認可保育所 1 所の整備を予定しています。

3.2.2.9 9ブロック — 花畑・保木間地域

平成 28 年 4 月に、花畑保育園の移転を伴う民営化に合わせて定員を増員しました。8 ブロック(保塚・六町地域)からの需要の流入が大きいため、同地域への認可保育所の整備で待機児童は解消すると思われませんが、保木間地域では集合住宅の建設計画があるため、今後の動向に注視してまいります。

3.2.2.10 10ブロック — 竹の塚地域

竹の塚地域では、戸建て住宅の開発等の影響で 0～2 歳児の需要が増加しているため、平成 29 年 4 月開所の小規模保育1施設を整備予定です。また、平成 28 年 6 月に西保木間二丁目で 138 戸のマンションが完成したことから、今後の需要動向を注視してまいります。

3.2.2.11 11ブロック — 伊興・西新井地域

UR団地の建替えに伴い発生した余剰地において、大規模集合住宅が完成しています。平成 29 年度以降、保育需要の伸びが本格化することが想定され、相当多数の保育需要が見込まれることから、平成 30 年 4 月開所の認可保育所 1 所の整備を予定しています。

3.2.2.12 12ブロック — 鹿浜地域

鹿浜地域では、平成 28 年度に待機児童が 10 名増加しましたが、隣接する 2 ブロック(江北・新田地域)、11 ブロック(伊興・西新井地域)、13 ブロック(舎人・東伊興地域)からの需要の流入が大きいため、これらの地域に認可保育所を整備することにより待機児童の解消が見込まれます。よって、鹿浜地域への保育施設の整備計画はありません。

3.2.2.13 13ブロック — 舎人・東伊興地域

日暮里・舎人ライナー沿線開発により、今後、保育需要が増えるの見込んでいます。特に、舎人駅周辺で進められている中規模集合住宅の建設や、今後計画が予定されている集合住宅の建設により発生する保育需要に対応するため、平成 30 年 4 月開所の認可保育所 1 所の整備を予定しています。

3.2.3 大規模集合住宅建設時の保育施設の設置協議

平成 27 年 7 月 1 日改正の「足立区環境整備基準」において、事業者は住戸数(単身者向けの住戸を除く)が 50 戸以上の集合住宅を建設する場合は、子育て支援施設等(各種保育施設又はキッズルーム等)の自主的設置について事前に区と協議することになりました。これに基づき、区では地域の保育需要の状況に応じて、大規模マンションの建設事業者と事前協議を行い、必要な地域では保育施設等の設置を要請しています。

環境整備基準に基づく事業者の協議内容は下表のとおりです。

住戸数 (単身向け住戸除く)	協議事項 (環境整備基準第 4 2 条)
50 戸以上	子育て支援に供する施設の設置について、事前に区と協議するものとする
100 戸以上 200 戸未満	保育施設の設置に努めなければならない
200 戸以上	保育施設を設置しなければならない

なお、本要綱の協議に基づき、新田一丁目に建設中の 319 戸のマンション内に小規模保育1施設(平成 30 年 4 月開所)の整備を予定しています。

3.2.4 必要財源の確保

今回のアクション・プランで見直した保育施設整備計画に基づく整備を進めるために、施設整備費と運営費が必要になります。

施設整備費については、国庫補助金及び、都支出金とあわせて、子ども・子育て施設整備基金を活用してまいります。

また、開設後に継続的に必要となる運営費については、区立園の民営化を進めることにより経費の節減に努め財源を確保してまいります。

3.3 待機児童ゼロにむけた具体的な取り組み 2 (多様な保育施設の利用促進)

(1) これまでの取り組み

平成27年度からスタートした子ども・子育て支援新制度では、私立認定こども園や小規模保育、家庭的保育(保育ママ)の利用申込先が、従前の各施設への直接申し込みから区への申し込みに変更となり、認可保育所と同様に利用調整によって入所者を決定する仕組みとなりました。その結果、認可保育所のみを希望する方が多く、特に家庭的保育(保育ママ)に多くの空き定員が生じてしまいました。

こうしたことから、待機児童を解消するため、家庭的保育(保育ママ)をはじめとする地域型保育事業や、認証保育所などの認可外保育施設など、多様な保育施設の利用を促進していくことが重要な課題となり、平成27年度では家庭的保育のPRチラシによる制度周知や、保育コンシェルジュを設置して相談機能の強化を図りました。こうした取り組みにより、平成28年度では空き定員の状況は一定の改善が見られました。

(2) 今後の方針

今後、一層の利用促進を図るため、以下の取り組みを行います。

3.3.1 保育コンシェルジュによる利用者支援

子ども・子育て支援新制度における利用者支援事業のひとつである保育コンシェルジュ事業を平成27年10月から実施しています。

保育を必要とする世帯の家庭状況などを伺いながら、個々のニーズや生活状況に適した保育サービスや保育施設の案内・情報提供など、きめ細やかな相談を行います。保護者が安心して相談できる環境を整えるとともに、保育サービスを適切、円滑に利用できるようにします。

平成27年度から実施している区役所での個別相談及び、子育てサロン等で出張相談やミニ説明会を、今年度から通年で実施し、相談の機会を増やします。

【保育コンシェルジュの利用者数(平成27年10月～平成28年3月)】

個別相談者数及びミニ説明会参加者数 延べ 1,632 人

3.3.2 地域型保育の3歳以降の受け入れ施設の設定

現在、区内には小規模保育 21 施設、家庭的保育(保育ママ)172 事業者が存在していますが、すべて0歳児から2歳児までの施設であり、3歳児からの預け先の確保が課題となっています。

区では、安心して就学前まで預けられる仕組みの構築に向け検討を進め、子ども・子育て支援新制度で施設に義務付けられている平成31年度末までのなるべく早い時期に、地域型保育の3歳以降の受け入れ施設を設定することを目指しています。

平成27年度には3歳以降の保育等の利用希望の実態を把握するため、2歳までの施設やサービスを利用されている方を対象にアンケート調査を実施しました。この結果、4割程度の方が幼稚園を3歳以降の預け先として希望されていることがわかりました。この結果を踏まえ、今後、幼稚園を含めた3歳児からの受け入れ施設の設定などを検討し、3歳児からの待機児童解消につなげていきます。

3.3.2.1 3歳以降の保育等利用に関するアンケート調査

小規模保育、家庭的保育、認証保育所等の保育施設を利用している2歳児の保護者に対して、3歳児以降の保育施設等の利用意向を把握するため、次のとおりアンケート調査を実施しました。

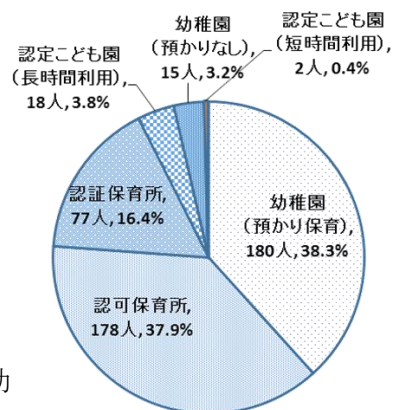
- ・調査実施日 平成 27 年 10 月 16 日～10 月 30 日
- ・調査方法 利用施設を通じて保護者へアンケート用紙を配布・回収。回答方法は、回答用紙と足立区ホームページの入力フォームを併用した。
- ・調査対象 調査開始日現在、小規模保育、家庭的保育事業者(保育ママ)、東京都認証保育所及び、受け入れ定員が2歳児までの公設民営認可外保育所(青井おひさま保育園)に在籍する2歳児クラスの児童 594 人の保護者
- ・回収率 86.4% (513 人)

3.3.2.2 アンケート調査からわかったこと

(1) 3歳児以降の預け先の希望について、次の状況が見られました。

- ① 9割が引き続き何らかの施設に預けたいと考えている。
- ② 全体では「幼稚園(預かり保育)」の希望が最も多く、「幼稚園(預かりなし)」と合計で4割が幼稚園希望であった。
- ③ 認可保育所は幼稚園よりやや少ないが同程度の希望がある。
- ④ 利用施設別に見ると、家庭的保育の利用者で「幼稚園(預かり保育)」を希望する方が最多であった。
- ⑤ 地域別に見ると、新田地域、保塚・六町地域、舎人・東伊興地域で「幼稚園(預かり保育)」を希望する方が、認可保育所を希望する方を大きく上回った。

【3歳以降の預け先の希望】



※ 3歳以降の保育等利用に関するアンケート調査結果については、本アクション・プランの [P.79 資料 4](#) をご覧ください。

3.4 待機児童ゼロにむけた具体的な取り組み 3 (保育士確保・定着対策)

3.4.1 保育士確保・定着対策について

(1) 現状・課題

新規の保育施設を整備するためには、実際にそこで働く保育士の確保が不可欠です。このアクション・プランで定めた整備計画を全て実現するためには、平成 30 年 4 月までに区全体で、新たに 300 人以上の保育士を確保する必要があります。

しかしながら、保育は責任が重く、事故への不安が高い仕事であるにも関わらず、それに見合った賃金が伴わないことから、保育士資格を持っていながら半数が保育士としての就業を希望しないという実態があります(厚生労働省職業安定局調査、平成25年)。

(2) 取り組み

待機児童ゼロに向けた施設整備を確実に進めるため、区内の保育士養成機関やハローワークと連携し、区内の保育施設に就職を促す取り組みや、保育士を目指す方を経済的に支援する制度などを実施していきます。また、今後も新たな保育士確保策の検討を行います。

取り組み① 保育士就職相談会や潜在保育士向けの再就職セミナーの継続実施

区内の保育士を養成している大学や専門学校、ハローワーク、都福祉人材センター及び区内保育事業者と連携し、保育士就職相談会や潜在保育士向けの再就職セミナーなどを開催し、区内の保育施設への就職を促す取り組みを進めます。

取り組み② 保育士への経済的支援策の拡充

区内保育施設へ就職した勤務年数の少ない保育士に対して、経済的支援として平成 28 年 1 月から保育事業者への「住居借上げ支援事業」を開始しました。また、平成 28 年 4 月から全国初の「奨学金返済支援事業」を開始しました。また、潜在保育士向けの再就職セミナー参加者が区内保育施設へ就職した場合には「再就職応援補助金」として、就職決定前に要した自己啓発等の費用の一部や保育実習費の補助をしていきます。

今後、これらの保育士支援制度の一層の利用促進を図り、保育士の確保・定着につなげるため、積極的なPRを行います。

- ◎再就職セミナーチラシの学校配布
- ◎経済的支援のPRチラシ、リーフレット配布
- ◎保育士養成機関やハローワークと連携したPR など

こうした取り組みにより、平成 30 年 4 月の待機児童ゼロに向けた施設整備が確実に進むことを人材面から担保してまいります。また、保育の質の維持・向上につなげます。

3.5 待機児童ゼロにむけた具体的な取り組み 4 (認証保育所の認可化移行支援)

3.5.1 認証保育所の認可化移行支援について

(1) 現状・課題

東京都認証保育所は東京都独自の保育制度であり、施設に直接利用申込みができる保育所です。保育の必要性を問わず、また保育料が応益負担であることから、認可保育所ではなく認証保育所を選ばれる保護者の方も多くいらっしゃいます。しかし、認証保育所の制度上、低年齢児に重点を置いた定員設定を義務付けられているため、2歳児から3歳児への進級の際に多くの児童が別の保育施設等に転所しなければなりません。保護者の方からは「就学前まで預けられる認可保育所に移行してほしい」などのご要望をいただいている認証保育所もあります。

(2) 取り組み

認証保育所の独自の役割を鑑み、要望いただいている全ての認証保育所を認可保育所に移行させることはできません。しかしながら、今後、小規模保育・家庭的保育の卒園児の受皿となる定員を確保していく必要があることから、3歳児からの受け入れ定員が不足する見込みの地域(千住、梅田、中央本町、綾瀬、保塚・六町)において、一定の条件※を満たす認証保育所A型の認可化移行を支援していきます。

※ 3歳児以降の定員の不足が見込まれる地域にあり、0～2歳児の定員を最低限維持したうえで5歳児まで持ち上がり可能な一定規模の定員が確保できること等

(3) 認可化移行の見込み

平成29年4月 3所 (綾瀬地域2所、保塚・六町地域1所を想定)

平成30年4月 2所 (千住地域等を想定)

(4) 認証保育所制度の考え方

東京都認証保育所は、低年齢保育や長時間保育などの多様化する保育ニーズに応えることができる利便性の高い施設であり、区の待機児童対策に大きな役割を果たしています。このため、区では今後も必要な施設と考え、新規整備を進めてまいります。

なお、今後、認証保育所の制度に大きな変更等がある場合には、その時点で足立区の状況を踏まえ方針を検討していきます。

資料編

資料1 ブロック別の分析

足立区では、地域ごとの保育需要を的確に把握するため、区内 13 ブロック地域をさらに 49 地域に細分化し、待機児童の状況や人口の推移など、より詳細な分析を行っています。こうした地域分析の状況を踏まえ、地域の実態に合わせた施設整備等の対策を実施していくことが重要であると考えています。

【用語の定義】

「保育需要数」・・・各保育施設の在園児数に待機児童数を加えたもの（詳しくは P.14 参照）

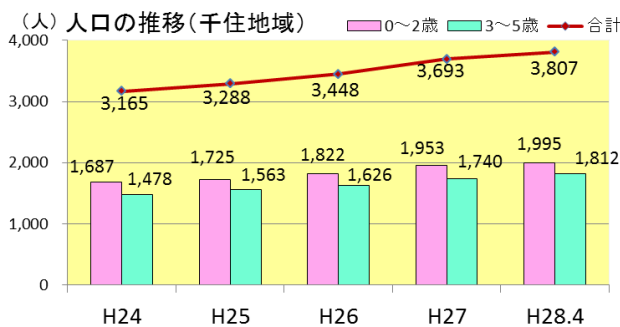
「保育需要率」・・・保育需要数÷就学前人口×100（単位：％）

※保育需要率を 49 地域別で見た場合、就学前人口より保育施設の在園児数の方が多い地域があるため、100%を超えることがあります。

1 ブロック — 千住地域

◆地域別待機児童数（年齢別）			平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数
ブロック	地域	施設数	待機児童数（年齢別）					合計	待機児童数（年齢別）					合計	前年比較		
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳		5歳	施設数	0歳	1歳	2歳			3歳	4歳
1 ブロック	千住地域	1 千住東側（常磐線より東側）	13	3	20	7	7	1	38	14	3	14	1			18	-20
		2 千住西側（常磐線より西側）	18	14	17	7	4	1	43	22	8	26	4	2		40	-3
	小計	31	17	37	14	11	2	0	81	36	11	40	5	2	0	0	58

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計
※施設数は東京都認証保育所を除く



【申請事由別待機児童数】

申請事由	H27		H28	
就労中（フルタイム）	43人	53%	34人	59%
就労中（パート）	22人	27%	10人	17%
求職中	15人	19%	11人	19%
その他	1人	1%	3人	5%
合計	81人	100%	58人	100%

【保育需要】

1ブロック	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
千住地域	0～5歳児	3,693	1,484	40.18%	3,807	1,645	43.21%	114	161	3.03
	0～2歳児	1,953	736	37.69%	1,995	812	40.70%	42	76	3.02
	3～5歳児	1,740	748	42.99%	1,812	833	45.97%	72	85	2.98

【各地区】

1- (1)	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
千住東側 （常磐線より東側）	0～5歳児	1,318	822	62.37%	1,288	793	61.57%	-30	-29	-0.80
	0～2歳児	651	400	61.44%	637	373	58.56%	-14	-27	-2.89
	3～5歳児	667	422	63.27%	651	420	64.52%	-16	-2	1.25
1- (2)	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
		千住西側 （常磐線より西側）	0～5歳児	2,375	662	27.87%	2,519	852	33.82%	144
	0～2歳児	1,302	336	25.81%	1,358	439	32.33%	56	103	6.52
	3～5歳児	1,073	326	30.38%	1,161	413	35.57%	88	87	5.19

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】			平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数 前年比較		
		地 域	待機児童数（年齢別）						合計	待機児童数（年齢別）						合計			
			施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳		5歳	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳			4歳	5歳
1 ブロック	千住地域	1 千住東側（常磐線より東側）	13	1	12	1	3			17	14	2	9					11	-6
		2 千住西側（常磐線より西側）	18	10	12	2	2			26	22	6	16		1			23	-3
	小 計			31	11	24	3	5	0	0	43	36	8	25	0	1	0	0	34

(1) 待機児童

平成28年4月1日現在の待機児童は、58名（56名が0～2歳児）でした。前年度に比べて23名減少しています。常磐線の東側で20名の減、西側で3名の減となっています。西側の施設整備により保育需要の流れに変化があったことが原因と思われます。申請事由別では、フルタイム就労世帯が34名（33名が0～2歳児）で前年度比9名の減少となりました。また、パート就労世帯も、22名から10名へと減少しています。

(2) 就学前人口

平成28年4月1日現在の就学前人口は、3,807名で前年度に比べて114名の増となり、0～2歳の人口が3～5歳の人口を上回っています。東側が1,288名で前年度に比べて30名の減、西側は2,519名で、144名の増でした。前年度に引き続き千住橋戸町、千住緑町一丁目の人口が急増しました。子育て世帯が多く転入していることから、今後も就学前人口の増加が予想されます。

(3) 保育需要

平成28年4月1日現在の保育需要数は、1,645名で対前年度比161名の増と、前年に引き続き大きな上昇が見られます。常磐線の東側で前年比29名の減、西側地域で190名の増となりました。これは、西側地域で施設整備が進んだ影響から、前年度に顕著であった西側から東側への需要の移動が緩和されたことを示しています。また、保育需要率は43.21%で対前年度比3.03ポイント増となり、前年度（0.8ポイント増）と比べて大きな伸び率になりました。これは、保育需要の伸びに対して、地域全体の人口増加幅が縮小したためです。このことから、保育需要の伸びは人口の伸びに遅れて本格化する傾向があることが確認できました。平成26年度末に千住大橋駅前に建設された大規模マンション2棟では今後も数年間、保育需要の増加が続くことが見込まれ、また、小・中規模の集合住宅の建設も進んでいることから保育需要はさらに増加すると思われます。

(4) ブロック内の保育施設数

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	3	133	203	336
認可保育所（公設民営）	2	74	126	200
認可保育所（私立）	7	281	434	715
認定こども園（公立）	1	33	65	98
認定こども園（私立）	-	0	0	0
小規模保育	2	33	0	33

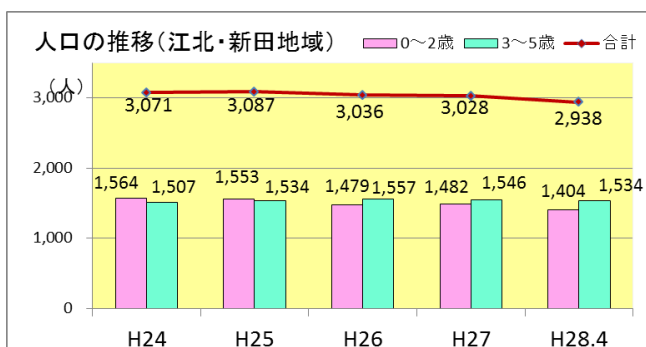
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
家庭的保育	19	63	0	63
区認定ママ	2	4	0	4
公設民営認可外	-	0	0	0
認証保育所（A型）	5	150	41	191
認証保育所（B型）	1	9	0	9
合 計	42	780	869	1,649

2ブロック — 江北・新田地域

◆地域別待機児童数（年齢別）

		地域	平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数 前年比較		
			待機児童数（年齢別）							待機児童数（年齢別）									
			施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳		5歳	合計
2 ブロック	江北地域	1 江北2.3.4、椿1、堀之内1.2、鹿浜1（江北バス通り北側）	3	2	5	1				8	4	2	3	2				7	-1
		2 江北1.2、扇2（江北バス通り南側）	2	2	4	2	2			10	2	5	4		1			10	0
	新田地域	3 新田1	1		3					3	1							0	-3
		4 新田2	3		3					3	4	1						1	-2
		5 新田3	8		3					3	8	1						1	-2
	宮城地域	6 宮城1.2、小台1.2	5							0	5	1	2					3	3
小計			22	4	18	3	2	0	0	27	24	10	9	2	1	0	0	22	-5

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計
※施設数は東京都認証保育所を除く



【申請事由別待機児童数】

申請事由	H27		H28	
就労中（フルタイム）	6人	22%	6人	27%
就労中（パート）	10人	37%	9人	41%
求職中	9人	33%	6人	27%
その他	2人	7%	1人	5%
合計	27人	100%	22人	100%

【保育需要】

2ブロック	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
江北・新田地域	0～5歳児	3,028	1,161	38.34%	2,938	1,155	39.31%	-90	-6	0.97
	0～2歳児	1,482	508	34.28%	1,404	516	36.75%	-78	8	2.47
	3～5歳児	1,546	653	42.24%	1,534	639	41.66%	-12	-14	-0.58

【各地区】

2- (1)	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比			
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	
江北2.3.4、椿1、堀之内1.2、鹿浜1（江北バス通り北側）	0～5歳児	518	247	47.68%	492	242	49.19%	-26	-5	1.50	
	0～2歳児	263	114	43.35%	240	110	45.83%	-23	-4	2.49	
	3～5歳児	255	133	52.16%	252	132	52.38%	-3	-1	0.22	
2- (2)	江北1.2、扇2（江北バス通り南側）	0～5歳児	507	126	24.85%	556	132	23.74%	49	6	-1.11
		0～2歳児	279	58	20.79%	291	65	22.34%	12	7	1.55
		3～5歳児	228	68	29.82%	265	67	25.28%	37	-1	-4.54
2- (3)	新田1	0～5歳児	267	74	27.72%	251	68	27.09%	-16	-6	-0.62
		0～2歳児	120	33	27.50%	114	29	25.44%	-6	-4	-2.06
		3～5歳児	147	41	27.89%	137	39	28.47%	-10	-2	0.58
2- (4)	新田2	0～5歳児	93	109	117.20%	99	143	144.44%	6	34	27.24
		0～2歳児	41	56	136.59%	44	80	181.82%	3	24	45.23
		3～5歳児	52	53	101.92%	55	63	114.55%	3	10	12.62
2- (5)	新田3	0～5歳児	1,018	340	33.40%	927	328	35.38%	-91	-12	1.98
		0～2歳児	459	144	31.37%	410	134	32.68%	-49	-10	1.31
		3～5歳児	559	196	35.06%	517	194	37.52%	-42	-2	2.46

【各地区】		平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
2- (6)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
宮城1.2、小台1.2	0～5歳児	625	265	42.40%	613	242	39.48%	-12	-23	-2.92
	0～2歳児	320	103	32.19%	305	98	32.13%	-15	-5	-0.06
	3～5歳児	305	162	53.11%	308	144	46.75%	3	-18	-6.36

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】		平成27年4月1日現在								平成28年4月1日現在								待機児童数
ブロック	地域	施設数	待機児童数（年齢別）					合計	施設数	待機児童数（年齢別）					合計	前年比較		
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳			5歳	0歳	1歳	2歳	3歳			4歳	5歳
2 ブロック	江北地域	1	3		1										1	0		
		2	2	1	3										4	0		
	新田地域	3	1		1										1	-1		
		4	3												3	0		
		5	8												8	0		
	宮城地域	6	5								1				6	1		
小計		22	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0			

(1) 待機児童

平成28年4月1日現在の待機児童は、22名（21名が0～2歳児）で前年度に比べ5名減少しました。江北地域で1名の減、新田地域で7名の減、宮城地域では3名増加しました。申請事由別では、フルタイム就労世帯は前年度に引き続き6名でした。パート就労世帯が9名、求職中世帯が6名と依然としてこの2つの申請事由も多い状況です。

(2) 就学前人口

平成28年4月1日現在の就学前人口は、2,938名で前年度に比べて90名の減でした。前年度に比べて0～2歳児は78名の減、3～5歳児は12名の減となっています。しかし地域別に見ると、平成26年度に扇二丁目で大型マンションが完成したことから、江北地域の江北バス通り南側では人口が大きく増加しています。なお、平成27年に小台一丁目で169戸の大型マンションが完成しましたが、人口の伸びはまだ本格化しておらず、今後注視が必要です。新田一丁目では平成29年度中に319戸の大型マンションが完成する予定であり、就学前人口が急増する地域が出てくると見込まれます。

(3) 保育需要

平成28年4月1日現在の保育需要数は、1,155名で前年度に比べて6名の減となりました。保育需要率は、39.31%で前年度に比べて0.97ポイントの増となっています。認可保育所の新規整備に伴い新田二丁目で保育需要が大きく伸びています。また、江北地域の江北バス通り北側でも保育需要が高くなっています。新田地域は、今後、マンション建設により、0～2歳児の保育需要が増加すると見込まれます。

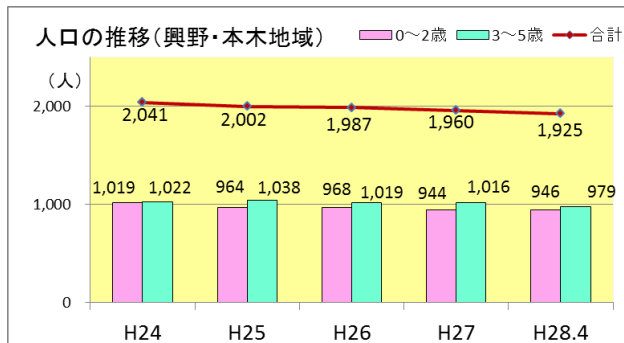
(4) ブロック内の保育施設数

種別	施設数	施設定員			種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計			0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	3	95	173	268	家庭的保育	8	28	0	28
認可保育所（公設民営）	2	68	99	167	区認定ママ	1	2	0	2
認可保育所（私立）	5	183	288	471	公設民営認可外	2	20	101	121
認定こども園（公立）	-	0	0	0	認証保育所（A型）	2	58	0	61
認定こども園（私立）	1	15	36	51	認証保育所（B型）	-	0	0	0
小規模保育	2	31	0	31	合計	26	500	700	1,200

3ブロック — 興野・本木地域

◆地域別待機児童数（年齢別）			平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数 前年比較	
			待機児童数（年齢別）							合計	待機児童数（年齢別）							合計
3 ブロック	興野・本木 地域	地域	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	
					1	7	1	5	1			1	8	7		6	2	2
		2	7		1		3			4	8		2					2
		3	5	3	4	1	1			9	5		3	1				4
		4	1	1	4	1				6	1	1	1	1				3
		小計	20	5	14	3	4	0	1	27	21	1	12	4	2	0	0	19

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計
※施設数は東京都認証保育所を除く



【申請事由別待機児童数】

申請事由	H27		H28	
就労中（フルタイム）	5人	19%	4人	21%
就労中（パート）	12人	44%	9人	47%
求職中	8人	30%	6人	32%
その他	2人	7%	0人	0%
合計	27人	100%	19人	100%

【保育需要】

3ブロック	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
興野・本木地域	0～5歳児	1,960	842	42.96%	1,925	834	43.32%	-35	-8	0.37
	0～2歳児	944	372	39.41%	946	379	40.06%	2	7	0.66
	3～5歳児	1,016	470	46.26%	979	455	46.48%	-37	-15	0.22

【各地区】

3- (1)	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比			
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	
西新井栄町3、 西新井本町1.3.4.5 (江北バス通り南側)	0～5歳児	531	304	57.25%	521	315	60.46%	-10	11	3.21	
	0～2歳児	267	102	38.20%	243	118	48.56%	-24	16	10.36	
	3～5歳児	264	202	76.52%	278	197	70.86%	14	-5	-5.65	
3- (2)	興野1、本木1.2、 本木東町、本木南町 (本木新道東側)	0～5歳児	478	244	51.05%	433	244	56.35%	-45	0	5.31
		0～2歳児	224	121	54.02%	222	126	56.76%	-2	5	2.74
		3～5歳児	254	123	48.43%	211	118	55.92%	-43	-5	7.50
3- (3)	扇1.3、興野2、 本木北町、本木西町 (本木新道西側)	0～5歳児	781	164	21.00%	780	149	19.10%	-1	-15	-1.90
		0～2歳児	372	91	24.46%	371	80	21.56%	-1	-11	-2.90
		3～5歳児	409	73	17.85%	409	69	16.87%	0	-4	-0.98
3- (4)	西新井本町2 (江北バス通り北側)	0～5歳児	170	130	76.47%	191	126	65.97%	21	-4	-10.50
		0～2歳児	81	58	71.60%	110	55	50.00%	29	-3	-21.60
		3～5歳児	89	72	80.90%	81	71	87.65%	-8	-1	6.76

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】			平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数				
3 ブロック	興野・本木 地域	地 域	待機児童数（年齢別）							合計	待機児童数（年齢別）							合計	前年 比較		
			施設数	0歳					1歳		施設数	0歳					1歳				
				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳				
		1	西新井栄町3、西新井本町1.3.4.5 (江北バス通り南側)	7		1						1						1	0		
		2	興野1、本木1.2、本木東町、 本木南町（本木新道東側）	7				1										0	-1		
		3	扇1.3、興野2、本木北町、 本木西町（本木新道西側）	5	2								1	1				2	0		
		4	西新井本町2 (江北バス通り北側)	1		1							1	1				1	0		
		小 計		20	2	2	0	1	0	0			21	1	2	1	0	0	0	-1	

(1) 待機児童

平成28年4月1日現在の待機児童は、地域内の認可保育所で定員を増加した結果19名（17名が0～2歳児）となり、前年度に比べて8名の減でした。申請事由別では、フルタイム就労世帯は4名（すべて0～2歳児）で1名の減となりました。パート就労世帯は12名から9名へと3名の減、求職中世帯は8名から6名へと2名減少しています。

(2) 就学前人口

平成28年4月1日現在の就学前人口は、1,925名で前年度に比べて35名の減でした。平成26年度末に江北バス通り北側で大規模マンションが完成した影響で、0～2歳児では2名の増、一方3～5歳児は37名の減となっています。平成29年1月には扇一丁目に161戸の大型マンションの建設計画があることから、しばらくの間、低年齢児の需要の増加が続くものと見込まれます。

(3) 保育需要

平成28年4月1日現在の保育需要数は、834名で前年度に比べて8名減少しました。保育需要率は43.32%で前年度に比べて0.37ポイントの増となっており、認定こども園の長時間利用児童の増加や、認証保育所の新設により大きな伸びが見られた前年度を更に上回っています。今後は年齢移行が進み、3～5歳児の保育需要が増加すると考えられますが、大型マンションからは0～2歳児の需要が多く発生する傾向もあり、地域全体では増加傾向で推移すると思われる。

(4) ブロック内の保育施設数

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	2	91	133	224
認可保育所（公設民営）	1	33	64	97
認可保育所（私立）	4	148	246	394
認定こども園（公立）	-	0	0	0
認定こども園（私立）	1	9	50	59
小規模保育	-	0	0	0

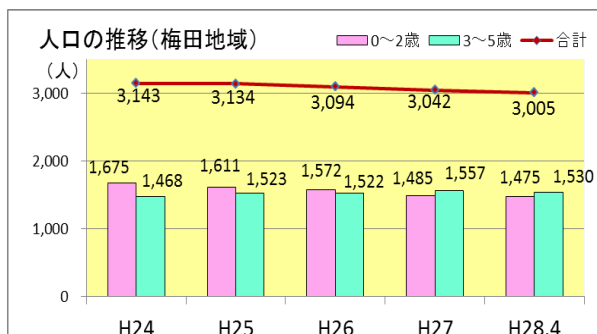
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
家庭的保育	12	39	0	39
区認定ママ	1	2	0	2
公設民営認可外	-	0	0	0
認証保育所（A型）	1	33	7	40
認証保育所（B型）	1	20	0	20
合 計	23	375	500	875

4ブロック — 梅田地域

◆地域別待機児童数（年齢別）

4 ブロック	地域	施設数	平成27年4月1日現在					合計	平成28年4月1日現在					待機 児童数	前年 比較			
			待機児童数（年齢別）						待機児童数（年齢別）									
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳		5歳	0歳	1歳	2歳	3歳			4歳	5歳	
梅田地域	1 梅島1.2.3 (東武伊勢崎線北側)	6	3	3				6	5	3	1				4	-2		
	2 梅田1.2.3.4.5.6.7	8	1	7	1	1		10	9	2	4	1	2		9	-1		
	3 梅田8、西新井栄町1.2	4		2	1			3	5	4	3				7	4		
	4 関原1.2.3	7	1	2	1			4	7	2	4		1		7	3		
小計		25	5	14	3	1	0	0	23	26	11	12	1	3	0	0	27	4

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計
※施設数は東京都認証保育所を除く



【申請事由別待機児童数】

申請事由	H27		H28	
就労中（フルタイム）	13人	57%	8人	30%
就労中（パート）	3人	13%	8人	30%
求職中	5人	22%	6人	22%
その他	2人	9%	5人	19%
合計	23人	100%	27人	100%

【保育需要】

4ブロック	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
梅田地域	0~5歳児	3,042	1,081	35.54%	3,005	1,117	37.17%	-37	36	1.64
	0~2歳児	1,485	535	36.03%	1,475	539	36.54%	-10	4	0.52
	3~5歳児	1,557	546	35.07%	1,530	578	37.78%	-27	32	2.71

【各地区】

4- (1)	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比			
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	
梅島1.2.3 (東武伊勢崎線北側)	0~5歳児	563	155	27.53%	576	209	36.28%	13	54	8.75	
	0~2歳児	313	70	22.36%	309	101	32.69%	-4	31	10.32	
	3~5歳児	250	85	34.00%	267	108	40.45%	17	23	6.45	
4- (2)	梅田1.2.3.4.5.6.7	0~5歳児	956	416	43.51%	928	402	43.32%	-28	-14	-0.20
		0~2歳児	447	209	46.76%	439	182	41.46%	-8	-27	-5.30
		3~5歳児	509	207	40.67%	489	220	44.99%	-20	13	4.32
4- (3)	梅田8、西新井栄町1.2	0~5歳児	1,049	284	27.07%	1,028	275	26.75%	-21	-9	-0.32
		0~2歳児	504	159	31.55%	488	153	31.35%	-16	-6	-0.20
		3~5歳児	545	125	22.94%	540	122	22.59%	-5	-3	-0.34
4- (4)	関原1.2.3	0~5歳児	474	226	47.68%	473	231	48.84%	-1	5	1.16
		0~2歳児	221	97	43.89%	239	103	43.10%	18	6	-0.80
		3~5歳児	253	129	50.99%	234	128	54.70%	-19	-1	3.71

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】				平成27年4月1日現在								平成28年4月1日現在								待機児童数										
地域				待機児童数（年齢別）							合計	待機児童数（年齢別）							合計	前年比較										
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳												
4 ブロック	梅田地域	1	梅島1.2.3 (東武伊勢崎線北側)	6	1	3											4	5	1	1							2	-2		
		2	梅田1.2.3.4.5.6.7	8		4													4	9	2								2	-2
		3	梅田8、西新井栄町1.2	4		2	1												3	5	2	1							3	0
		4	関原1.2.3	7		1	1												2	7		1							1	-1
	小計			25	1	10	2	0	0	0								13	26	5	3	0	0	0	0			8	-5	

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

(1) 待機児童

平成28年4月1日現在の待機児童は、27名（24名が0～2歳児）で前年度に比べて4名の増、特に0歳の待機児は6名増加しました。これは、平成28年4月に認可保育所を1所整備した結果、定員増を上回る0歳児の需要を掘り起こしたこと、保育需要の動きに変化が発生したことが原因と考えられます。申請事由別では、フルタイム就労世帯が8名（すべて0～1歳児）と、前年度比5人減少しました。一方、パート就労世帯は5名増、求職中世帯は1名増となりました。

(2) 就学前人口

平成28年4月1日現在の就学前人口は、3005名と前年度に比べて37名減少しました。0～2歳児の人口が10名減、3～5歳児の人口は27名減と、ともに減少しています。地域内で小・中規模の集合住宅建設の計画があるものの、同時に年齢移行が進むことから、全体では就学前人口は減少すると思われる。

(3) 保育需要

平成28年4月1日現在の保育需要数は、1,117名で前年度に比べて36名の増、保育需要率は37.17%で、前年度に比べて1.64ポイントの増となっています。0～2歳児の保育需要数は4名の増加であったのに対し、3～5歳児では32名増加していることから、年齢移行が進んでいることがわかります。今後数年で、3～5歳児の需要がピークを迎え、その後、減少に転じると見込まれます。

(4) ブロック内の保育施設数

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	1	38	69	107
認可保育所（公設民営）	-	0	0	0
認可保育所（私立）	11	317	509	826
認定こども園（公立）	-	0	0	0
認定こども園（私立）	-	0	0	0
小規模保育	1	17	0	17

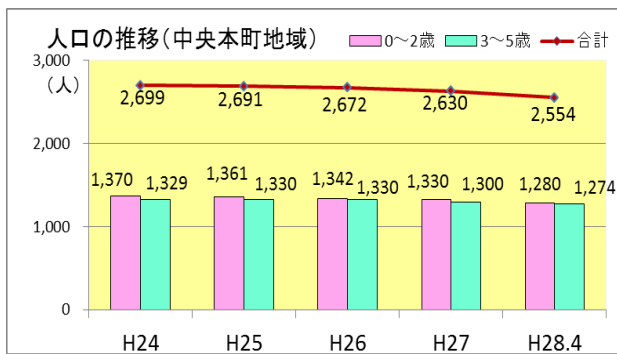
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
家庭的保育	12	39	0	39
区認定ママ	1	3	0	3
公設民営認可外	-	0	0	0
認証保育所（A型）	4	97	12	109
認証保育所（B型）	2	43	0	43
合計	32	554	590	1,144

5ブロック — 中央本町地域

◆地域別待機児童数（年齢別）

		地域	平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数		
			待機児童数（年齢別）							合計	待機児童数（年齢別）							合計	前年比較
			施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
5 ブロック	中央本町 地域	1 青井1.2.3.4.5.6	7	3	3	2			1	9	7	4	5	1	1			11	2
		2 弘道1.2、西綾瀬1.2.3.4	7		6		2			8	7	2	3		2			7	-1
		3 中央本町1.2.3.4.5	6		8	2				10	5	1	3	1				5	-5
		4 足立1.2.3.4	6	2	7	3				12	6	3	2					5	-7
	小計	26	5	24	7	2	0	1	39	25	10	13	2	3	0	0	28	-11	

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計
※施設数は東京都認証保育所を除く



【申請事由別待機児童数】

申請事由	H27		H28	
就労中（フルタイム）	6人	15%	8人	29%
就労中（パート）	10人	26%	9人	32%
求職中	20人	51%	10人	36%
その他	3人	8%	1人	4%
合計	39人	100%	28人	100%

【保育需要】

5ブロック	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
中央本町地域	0~5歳児	2,630	1,028	39.09%	2,554	1,045	40.92%	-76	17	1.83
	0~2歳児	1,330	500	37.59%	1,280	511	39.92%	-50	11	2.33
	3~5歳児	1,300	528	40.62%	1,274	534	41.92%	-26	6	1.30

【各地区】

5- (1)	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比			
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	
青井1.2.3.4.5.6	0~5歳児	776	156	20.10%	730	158	21.64%	-46	2	1.54	
	0~2歳児	380	95	25.00%	358	97	27.09%	-22	2	2.09	
	3~5歳児	396	61	15.40%	372	61	16.40%	-24	0	0.99	
5- (2)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	
	弘道1.2、西綾瀬1.2.3.4	0~5歳児	665	310	46.62%	645	312	48.37%	-20	2	1.76
		0~2歳児	359	148	41.23%	344	152	44.19%	-15	4	2.96
3~5歳児		306	162	52.94%	301	160	53.16%	-5	-2	0.21	
5- (3)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	
	中央本町1.2.3.4.5	0~5歳児	676	252	37.28%	666	258	38.74%	-10	6	1.46
		0~2歳児	340	117	34.41%	325	120	36.92%	-15	3	2.51
3~5歳児		336	135	40.18%	341	138	40.47%	5	3	0.29	
5- (4)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	
	足立1.2.3.4	0~5歳児	513	310	60.43%	513	317	61.79%	0	7	1.36
		0~2歳児	251	140	55.78%	253	142	56.13%	2	2	0.35
3~5歳児		262	170	64.89%	260	175	67.31%	-2	5	2.42	

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】			平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数		
5 ブロック	中央本町 地域	地 域	待機児童数（年齢別）							合計	待機児童数（年齢別）							合計	前年 比較
			施設数	0歳 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳					合計		施設数	0歳 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳					合計		
				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳				5歳	0歳	1歳	2歳	3歳			
		1 青井1.2.3.4.5.6	7	1	1					2	7	3	2					5	3
		2 弘道1.2、西綾瀬1.2.3.4	7		3					3	7		1					1	-2
		3 中央本町1.2.3.4.5	6		1					1	5		2					2	1
		4 足立1.2.3.4	6							0	6							0	0
		小 計	26	1	5	0	0	0	0	6	25	3	5	0	0	0	0	8	2

(1) 待機児童

平成28年4月1日現在の待機児童は、地域内の認可保育所の定員増及び、認可保育所を新規整備した4ブロック(梅田地域)への需要移動の増加が見られたことから、前年度に比べて11名減の28名(25名が0～2歳児)でした。青井地域で2名増加しましたが、そのほかの地域では減少しています。申請事由別では、フルタイム就労世帯が8名で、2名の増となりました。一方、求職中は10名減となりました。

(2) 就学前人口

平成28年4月1日現在の就学前人口は2,554名で、前年度に比べて76名減少しています。依然として0～2歳児の人口が3～5歳児の人口を上回っています。今年は、足立地域で増減なしとなったほかは、すべての地域で減少しています。今後は、中規模のマンション計画や、つくばエクスプレス沿線の開発で若干の増加は予想されるものの、急激な人口増加はない見込みです。

(3) 保育需要

平成28年4月1日現在の保育需要数は、認可保育所を新規整備した4ブロック(梅田地域)への需要移動が増加したものの、1,045名で前年度に比べて17名の増、保育需要率は40.92%で1.83ポイントの増となりました。すべての地域で増加しており、今後も高い需要率のまま推移するものと思われます。青井地域では、つくばエクスプレス沿線開発により今後も保育需要が増加する見込みです。

(4) ブロック内の保育施設数

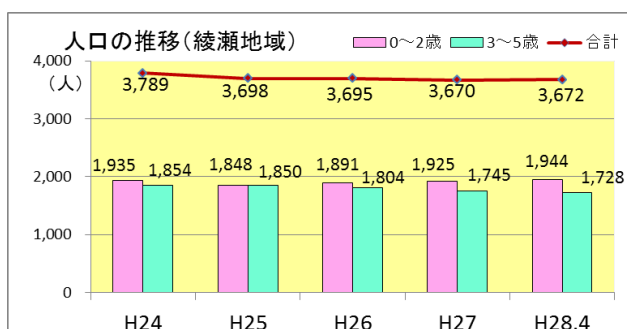
種別	施設数	施設定員			種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計			0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	3	147	246	393	家庭的保育	14	43	0	43
認可保育所（公設民営）	2	82	120	202	区認定ママ	-	0	0	0
認可保育所（私立）	3	109	163	272	公設民営認可外	1	28	0	28
認定こども園（公立）	-	0	0	0	認証保育所（A型）	1	30	0	30
認定こども園（私立）	-	0	0	0	認証保育所（B型）	2	23	0	23
小規模保育	2	34	0	34	合 計	28	496	529	1,025

6ブロック — 綾瀬地域

◆地域別待機児童数（年齢別）

6 ブロック	地域	地域	平成27年4月1日現在							合計	平成28年4月1日現在							待機 児童数	前年 比較		
			待機児童数（年齢別）								合計	待機児童数（年齢別）								合計	
			施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳			施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳				5歳
綾瀬地域	1	綾瀬1.2.3.4.5.6.7、加平1	9	1	1					2	10	1	1					2	0		
	2	東綾瀬1.2.3、谷中1.2	12	4	14	5			1	24	12	8	11	6				25	1		
	3	東和1.2.3.4.5、 中川4（環七西側）	9		1	1	1			3	9	2	2	3				7	4		
	4	中川1.2.3.4.5 （環七東側）	4	2			1			3	4	2	2	1				5	2		
小計			34	7	16	6	2	0	1	32	35	13	16	10	0	0	0	39	7		

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計
※施設数は東京都認証保育所を除く



【申請事由別待機児童数】

申請事由	H27		H28	
就労中（フルタイム）	5人	16%	11人	28%
就労中（パート）	11人	34%	9人	23%
求職中	15人	47%	15人	38%
その他	1人	3%	4人	10%
合計	32人	100%	39人	100%

【保育需要】

6ブロック	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
綾瀬地域	0～5歳児	3,670	1,625	44.28%	3,672	1,671	45.51%	2	46	1.23
	0～2歳児	1,925	787	40.88%	1,944	836	43.00%	19	49	2.12
	3～5歳児	1,745	838	48.02%	1,728	835	48.32%	-17	-3	0.30

【各地区】

6- (1)	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比			
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	
綾瀬1.2.3.4.5.6.7、 加平1	0～5歳児	1,186	187	15.77%	1,185	183	15.44%	-1	-4	-0.32	
	0～2歳児	655	135	20.61%	634	142	22.40%	-21	7	1.79	
	3～5歳児	531	52	9.79%	551	41	7.44%	20	-11	-2.35	
6- (2)	東綾瀬1.2.3、谷中1.2	0～5歳児	948	942	99.37%	981	980	99.90%	33	38	0.53
		0～2歳児	522	425	81.42%	552	446	80.80%	30	21	-0.62
		3～5歳児	426	517	121.36%	429	534	124.48%	3	17	3.11
6- (3)	東和1.2.3.4.5、 中川4（環七西側）	0～5歳児	964	342	35.48%	938	342	36.46%	-26	0	0.98
		0～2歳児	461	172	37.31%	466	181	38.84%	5	9	1.53
		3～5歳児	503	170	33.80%	472	161	34.11%	-31	-9	0.31
6- (4)	中川1.2.3.4.5 （環七東側）	0～5歳児	572	154	26.92%	568	166	29.23%	-4	12	2.30
		0～2歳児	287	55	19.16%	292	67	22.95%	5	12	3.78
		3～5歳児	285	99	34.74%	276	99	35.87%	-9	0	1.13

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】				平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数	
6 ブロック	綾瀬地域	地 域	施設数	待機児童数（年齢別）					合計	施設数	待機児童数（年齢別）					合計	前年 比較		
				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳			5歳	0歳	1歳	2歳	3歳			4歳	5歳
				1	綾瀬1.2.3.4.5.6.7、加平1	9									10			1	
2	東綾瀬1.2.3、谷中1.2	12		5					12	2	4					6	1		
3	東和1.2.3.4.5、 中川4（環七西側）	9							9	1						1	1		
4	中川1.2.3.4.5 （環七東側）	4							4	1	2					3	3		
小 計			34	0	5	0	0	0	0	35	5	6	0	0	0	11	6		

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（1） 待機児童

平成28年4月1日現在の待機児童は、39名（すべて0～2歳児）で前年度に比べて7名の増でした。待機児童の大半が東綾瀬・谷中一～二丁目の地域に集中しています。申請事由別では、フルタイム就労世帯が前年度比6名増の11名と大きく伸びましたが、パート就労世帯が9名、求職中世帯が15名と、引き続き多くをパート・求職中世帯が占めている状態です。

（2） 就学前人口

平成28年4月1日現在の就学前人口は、3,672名で前年度に比べて2名の増でした。0～2歳児の人口が3～5歳児の人口より多くなっています。東綾瀬・谷中一～二丁目の地域で就学前人口が増加しており、UR住宅や近年建設された大規模集合住宅の影響と考えられます。平成30年4月までに、北綾瀬駅周辺で計500戸以上の複数の中規模マンションの建設計画があります。また、中川四丁目では平成29年に191戸の大規模マンションが完成予定です。さらに、綾瀬駅周辺の大規模マンション開発や、エリアデザインの影響も見込まれることから、就学前人口の大幅な増加が予想されます。

（3） 保育需要

平成28年4月1日現在の保育需要数は、1,671名で前年度に比べて46名の増、保育需要率は45.51%で1.23ポイントの増でした。足立区外の認可保育所、認証保育所への入所も多く、引き続き保育需要が非常に高い地域となっています。今後のマンション建設により、更なる保育需要の増加が見込まれます。

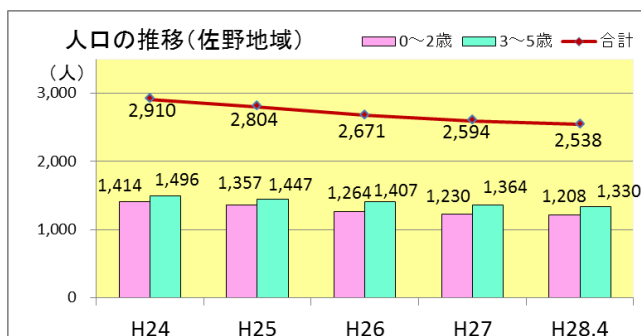
（4） ブロック内の保育施設数

種別	施設数	施設定員			種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計			0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	2	109	144	253	家庭的保育	17	58	0	58
認可保育所（公設民営）	-	0	0	0	区認定ママ	2	4	0	4
認可保育所（私立）	11	399	689	1,088	公設民営認可外	-	0	0	0
認定こども園（公立）	-	0	0	0	認証保育所（A型）	5	120	69	189
認定こども園（私立）	-	0	0	0	認証保育所（B型）	3	65	0	65
小規模保育	3	54	0	54	合 計	43	809	902	1,711

7ブロック — 佐野地域

◆地域別待機児童数（年齢別）		平成27年4月1日現在							待機児童数		
		待機児童数（年齢別）									
		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		合計	
7 ブロック	佐野地域	1 大谷田1.2.3.4.5、谷中3.4.5	8		2	2	3			7	前年 比較
		2 佐野1.2、辰沼1.2、六木1.2	4		1	1				2	
		3 神明1.2.3、六木3.4	3	1	1					2	
		4 加平2.3、北加平町、神明南1.2	-	-	-	-	-	-	-	0	
	小計	15	1	4	3	3	0	0	11	4	
		平成28年4月1日現在									
		待機児童数（年齢別）									
		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計		
		7	1	7	3				11	0	
		4		1	1				2	2	
		3	2	1	1				4	0	
		-	-	-	-	-	-	-	0	0	
		14	3	9	5	0	0	0	17	6	

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計
※施設数は東京都認証保育所を除く



【申請事由別待機児童数】

申請事由	H27		H28	
就労中（フルタイム）	1人	9%	2人	12%
就労中（パート）	3人	27%	3人	18%
求職中	5人	45%	12人	71%
その他	2人	18%	0人	0%
合計	11人	100%	17人	100%

【保育需要】

7ブロック	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
佐野地域	0~5歳児	2,594	705	27.18%	2,538	697	27.46%	-56	-8	0.28
	0~2歳児	1,230	294	23.90%	1,208	309	25.58%	-22	15	1.68
	3~5歳児	1,364	411	30.13%	1,330	388	29.17%	-34	-23	-0.96

【各地区】

7- (1)	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比			
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	
大谷田1.2.3.4.5、 谷中3.4.5	0~5歳児	997	366	36.71%	971	370	38.11%	-26	4	1.39	
	0~2歳児	485	151	31.13%	470	168	35.74%	-15	17	4.61	
	3~5歳児	512	215	41.99%	501	202	40.32%	-11	-13	-1.67	
7- (2)	佐野1.2、辰沼1.2、 六木1.2	0~5歳児	611	227	37.15%	608	219	36.02%	-3	-8	-1.13
		0~2歳児	263	95	36.12%	268	93	34.70%	5	-2	-1.42
		3~5歳児	348	132	37.93%	340	126	37.06%	-8	-6	-0.87
7- (3)	神明1.2.3、六木3.4	0~5歳児	543	107	19.71%	516	107	20.74%	-27	0	1.03
		0~2歳児	248	44	17.74%	241	48	19.92%	-7	4	2.18
		3~5歳児	295	63	21.36%	275	59	21.45%	-20	-4	0.10
7- (4)	加平2.3、北加平町、 神明南1.2	0~5歳児	443	5	1.13%	443	1	0.23%	0	-4	-0.90
		0~2歳児	234	4	1.71%	229		0.00%	-5	-4	-1.71
		3~5歳児	209	1	0.48%	214	1	0.47%	5	0	-0.01

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】			平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数
ブロック	地域	施設数	待機児童数（年齢別）					合計	施設数	待機児童数（年齢別）					合計	前年比較	
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳			5歳	0歳	1歳	2歳	3歳			4歳
7 ブロック	佐野地域	1	大谷田1.2.3.4.5、谷中3.4.5	8				1						1	0		
		2	佐野1.2、辰沼1.2、六木1.2	4										0	0		
		3	神明1.2.3、六木3.4	3						1				1	1		
		4	加平2.3、北加平町、神明南1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0		
	小計		15	0	0	0	1	0	0	14	0	2	0	0	0	2	1

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

(1) 待機児童

平成28年4月1日現在の待機児童は、17名（すべて0～2歳児）で前年度に比べて6名の増でした。申請事由別では、フルタイム就労世帯が2名、パート就労世帯が3名、求職中世帯が12名となっており、大半がパート・求職中世帯という状況です。

(2) 就学前人口

平成28年4月1日現在の就学前人口は、2,538名で前年度に比べて56名の減でした。すべての地域で就学前人口が減少又は横ばいとなっています。平成28年度末に加平二丁目目で113戸のマンションが完成する見込みであり、就学前人口が一時的に増加すると見込まれることから、今後注視が必要な地域です。

(3) 保育需要

平成28年4月1日現在の保育需要数は、697名で保育需要率は27.46%でした。保育需要数は8名減少しているのに対し、保育需要率は0.28ポイント増加しています。これは就学前人口の減少率が保育需要数の減少率を上回っていることが理由です。今後、マンションの建築に伴い、保育需要は一時的に増加する見込みです。

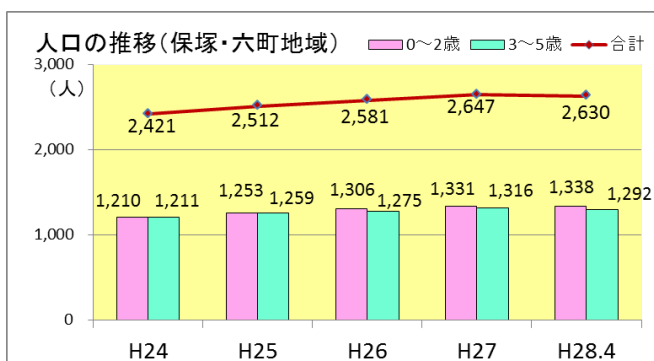
(4) ブロック内の保育施設数

種別	施設数	施設定員			種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計			0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	4	155	296	451	家庭的保育	7	22	0	22
認可保育所（公設民営）	-	0	0	0	区認定ママ	-	0	0	0
認可保育所（私立）	1	37	63	100	公設民営認可外	-	0	0	0
認定こども園（公立）	1	27	49	76	認証保育所（A型）	1	23	17	40
認定こども園（私立）	-	0	0	0	認証保育所（B型）	1	27	0	27
小規模保育	1	15	0	15	合計	16	306	425	731

8ブロック — 保塚・六町地域

◆地域別待機児童数（年齢別）			平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数		
8 ブロック	地域	施設数	待機児童数（年齢別）					合計	待機児童数（年齢別）					合計	前年比較				
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳		5歳	0歳	1歳	2歳	3歳			4歳	5歳		
8 ブロック	保塚・六町 地域	1	六町1.2.3.4、一ツ家4、 西加平1.2、南花畑1.2.3	9	3	4	6	2								15			
		2	一ツ家2.3、保塚町、東保木間1.2	10	5	4											9		-7
		3	平野1.2.3、一ツ家1、東六月町、 保木間1.2	7		1											1		6
	小計		26	8	9	6	2	0	0						25		-1		
																		-2	

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計
※施設数は東京都認証保育所を除く



申請事由	H27		H28	
就労中（フルタイム）	7人	28%	5人	22%
就労中（パート）	8人	32%	5人	22%
求職中	7人	28%	12人	52%
その他	3人	12%	1人	4%
合計	25人	100%	23人	100%

8ブロック	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
保塚・六町地域	0～5歳児	2,647	781	29.51%	2,630	795	30.23%	-17	14	0.72
	0～2歳児	1,331	395	29.68%	1,338	391	29.22%	7	-4	-0.45
	3～5歳児	1,316	386	29.33%	1,292	404	31.27%	-24	18	1.94

8- (1)	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比			
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	
六町1.2.3.4、一ツ家4、 西加平1.2、南花畑1.2.3	0～5歳児	976	315	32.27%	957	306	31.97%	-19	-9	-0.30	
	0～2歳児	525	196	37.33%	521	184	35.32%	-4	-12	-2.02	
	3～5歳児	451	119	26.39%	436	122	27.98%	-15	3	1.60	
8- (2)	一ツ家2.3、保塚町、 東保木間1.2	0～5歳児	811	358	44.14%	787	390	49.56%	-24	32	5.41
		0～2歳児	389	154	39.59%	375	164	43.73%	-14	10	4.14
		3～5歳児	422	204	48.34%	412	226	54.85%	-10	22	6.51
8- (3)	平野1.2.3、一ツ家1、 東六月町、保木間1.2	0～5歳児	860	108	12.56%	886	99	11.17%	26	-9	-1.38
		0～2歳児	417	45	10.79%	442	43	9.73%	25	-2	-1.06
		3～5歳児	443	63	14.22%	444	56	12.61%	1	-7	-1.61

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。
※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】			平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数									
ブロック	地域	施設数	待機児童数（年齢別）					合計	施設数	待機児童数（年齢別）					合計	前年比較										
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳			5歳	0歳	1歳	2歳	3歳			4歳	5歳								
8 ブロック	保塚・六町 地域	1	9	3		1								4	9	2	1							3	-1	
		2	10	3											3	10	1	1							2	-1
		3	7												0	8									0	0
	小計	26	6	0	1	0	0	0	7	27	3	2	0	0	0	0	0	5	-2							

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（1） 待機児童

平成28年4月1日現在の待機児童は、23名（すべてが0～2歳児）でした。前年に比べて、六町駅に近いエリアの待機児童が減少しています。申請事由別では、フルタイム就労世帯が前年度比2名減の5名、パート就労世帯が3名減の5名、求職中世帯が5名増の12名と、求職中の割合が大きくなっています。

（2） 就学前人口

平成28年4月1日現在の就学前人口は、2,630名で前年度に比べて17名の減でした。0～2歳児が3～5歳児より若干多い状況が続いています。前年度までの人口が増加していましたが、今年はわずかに減少に転じました。今後、六町駅周辺の再開発地区の活用が進むことから、人口は再び増加に転じることが予想されます。

（3） 保育需要

平成28年4月1日現在の保育需要数は、795名で前年度に比べて14名の増、保育需要率は30.23%で前年度に比べ0.72ポイントの増でした。つくばエクスプレス沿線開発により、ブロック全体で保育需要が伸びる傾向にあります。

（4） ブロック内の保育施設数

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	2	56	115	171
認可保育所（公設民営）	1	45	57	102
認可保育所（私立）	4	113	198	311
認定こども園（公立）	-	0	0	0
認定こども園（私立）	1	31	30	61
小規模保育	1	19	0	19

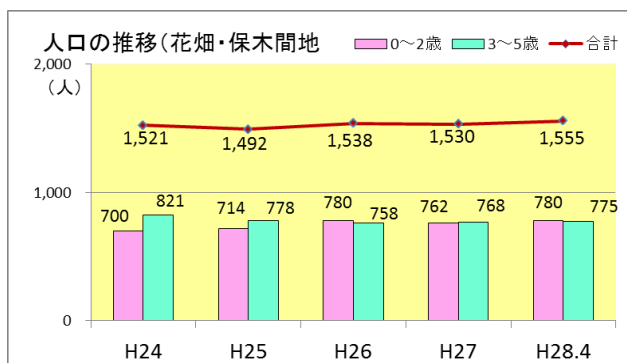
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
家庭的保育	14	44	0	44
区認定ママ	4	8	0	8
公設民営認可外	-	0	0	0
認証保育所（A型）	2	58	9	67
認証保育所（B型）	-	0	0	0
合計	29	374	409	783

9ブロック — 花畑・保木間地域

◆地域別待機児童数（年齢別）

9 ブロック	地域	平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機 児童数 前年 比較			
		待機児童数（年齢別）							待機児童数（年齢別）										
		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳		5歳	合計	
花畑・保木間 地域	1	南花畑4.5、花畑1	2		2	2				4	2		2	1		1		4	0
	2	花畑2.3.6.7	4							0	4							0	0
	3	花畑8（桑袋）	1			1				1	1							0	-1
	4	保木間3.4.5、花畑4.5	5	1	5	3	1			10	6	5	3		1			9	-1
小計			12	1	7	6	1	0	0	15	13	5	5	1	1	1	0	13	-2

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計
※施設数は東京都認証保育所を除く



【申請事由別待機児童数】

申請事由	H27		H28	
就労中（フルタイム）	0人	0%	1人	8%
就労中（パート）	3人	20%	5人	38%
求職中	9人	60%	7人	54%
その他	3人	20%	0人	0%
合計	15人	100%	13人	100%

【保育需要】

9ブロック	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
花畑・保木間地域	0～5歳児	1,530	598	39.08%	1,555	604	38.84%	25	6	-0.24
	0～2歳児	762	224	29.40%	780	232	29.74%	18	8	0.35
	3～5歳児	768	374	48.70%	775	372	48.00%	7	-2	-0.70

【各地区】

9- (1)	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比			
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	
南花畑4.5、花畑1	0～5歳児	370	159	42.97%	371	159	42.86%	1	0	-0.12	
	0～2歳児	191	54	28.27%	183	50	27.32%	-8	-4	-0.95	
	3～5歳児	179	105	58.66%	188	109	57.98%	9	4	-0.68	
9- (2)	花畑2.3.6.7	0～5歳児	553	12	2.17%	568	168	29.58%	15	156	27.41
		0～2歳児	290	12	4.14%	300	78	26.00%	10	66	21.86
		3～5歳児	263	0	0.00%	268	90	33.58%	5	90	33.58
9- (3)	花畑8（桑袋）	0～5歳児	60	62	103.33%	51	61	119.61%	-9	-1	16.27
		0～2歳児	20	21	105.00%	25	20	80.00%	5	-1	-25.00
		3～5歳児	40	41	102.50%	26	41	157.69%	-14	0	55.19
9- (4)	保木間3.4.5、花畑4.5	0～5歳児	547	365	66.73%	565	216	38.23%	18	-149	-28.50
		0～2歳児	261	137	52.49%	272	84	30.88%	11	-53	-21.61
		3～5歳児	286	228	79.72%	293	132	45.05%	7	-96	-34.67

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】			平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数
ブロック	地域	施設数	待機児童数（年齢別）					合計	施設数	待機児童数（年齢別）					合計	前年比較	
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳			5歳	0歳	1歳	2歳	3歳			4歳
9 ブロック	花畑・保木間 地域	1	南花畑4.5、花畑1	2										0	0		
		2	花畑2.3.6.7	4										0	0		
		3	花畑8（桑袋）	1										0	0		
		4	保木間3.4.5、花畑4.5	5										0	1		
	小計		12	0	0	0	0	0	0	13	1	0	0	0	1		

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（1） 待機児童

平成28年4月1日現在の待機児童は、認可保育所の定員増の影響などがあり13名（11名が0～2歳児）と、前年度に比べて2名の減でした。特に、国道4号線沿いの保木間三～五丁目及び花畑四～五丁目の地域の待機児童が9名と大部分を占めています。申請事由別では、フルタイム就労世帯が1名、パート就労世帯が5名、求職中世帯が7名となっています。

（2） 就学前人口

平成28年4月1日現在の就学前人口は、1,555名で前年度に比べて25名増加しています。花畑二・六丁目では土地区画整理事業の影響とみられる就学前人口の増加があるほか、花畑桑袋地域以外で未就学人口が増加しています。今後の就学前人口は、保木間地域でマンションの建設計画（完成時期は未定）があるほか、花畑エリアデザインによる影響も見据える必要がありますが、地域全体としては横ばい程度で推移するものと思われます。

（3） 保育需要

平成28年4月1日現在の保育需要数は、604名で前年度に比べて6名の増、保育需要率は38.84%で0.24ポイント減少しています。ブロック外の保育施設や幼稚園に通う児童が多い地域ではありますが、地域内での需要も増加気味となっています。マンションの建設等により、一時的に需要も増加すると思われるのですが、今後、隣接地域の施設整備が進み保育需要の流れ込みが減少することから、需要は減少に転じることが見込まれます。

（4） ブロック内の保育施設数

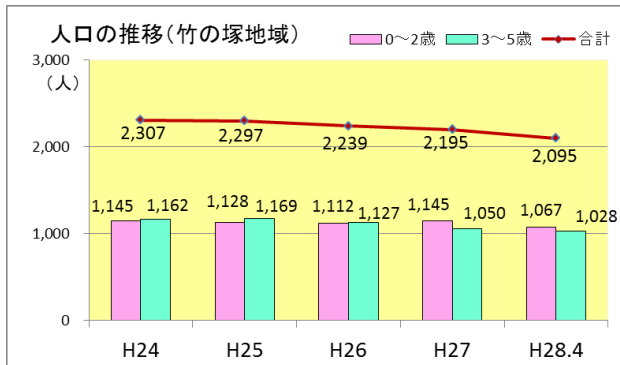
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	4	115	252	367
認可保育所（公設民営）	-	0	0	0
認可保育所（私立）	1	69	101	170
認定こども園（公立）	-	0	0	0
認定こども園（私立）	1	0	86	86
小規模保育	1	19	0	19
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
家庭的保育	5	18	0	18
区認定ママ	1	2	0	2
公設民営認可外	-	0	0	0
認証保育所（A型）	-	0	0	0
認証保育所（B型）	1	15	0	15
合計	14	238	439	677

10ブロック — 竹の塚地域

◆地域別待機児童数（年齢別）

			平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数 前年比較	
			待機児童数（年齢別）							待機児童数（年齢別）								
10 ブロック	地域	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
			1	西保木間1.2.3.4	3		1	1				2	3		2			
2	竹の塚1.2.3.4.5.6.7	12		1	1				2	12	2	2	1	1			6	4
3	六月1.2.3、島根1.2.3.4、栗原1.2	7	1	4	2	1			8	8	1	3	3				7	-1
小計		22	1	6	4	1	0	0	12	23	3	7	4	1	0	0	15	3

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計
 ※施設数は東京都認証保育所を除く



【申請事由別待機児童数】

申請事由	H27	H28
就労中（フルタイム）	1人 8%	3人 20%
就労中（パート）	4人 33%	6人 40%
求職中	7人 58%	6人 40%
その他	0人 0%	0人 0%
合計	12人 100%	15人 100%

【保育需要】

10ブロック	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
竹の塚地域	0～5歳児	2,195	994	45.28%	2,095	1,013	48.35%	-100	19	3.07
	0～2歳児	1,145	444	38.78%	1,067	467	43.77%	-78	23	4.99
	3～5歳児	1,050	550	52.38%	1,028	546	53.11%	-22	-4	0.73

【各地区】

10- (1)	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比			
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	
西保木間1.2.3.4	0～5歳児	415	187	45.06%	399	184	46.12%	-16	-3	1.06	
	0～2歳児	210	73	34.76%	186	72	38.71%	-24	-1	3.95	
	3～5歳児	205	114	55.61%	213	112	52.58%	8	-2	-3.03	
10- (2)	竹の塚1.2.3.4.5.6.7	0～5歳児	642	375	58.41%	605	409	67.60%	-37	34	9.19
		0～2歳児	340	179	52.65%	320	209	65.31%	-20	30	12.67
		3～5歳児	302	196	64.90%	285	200	70.18%	-17	4	5.27
10- (3)	六月1.2.3、 島根1.2.3.4、栗原1.2	0～5歳児	1,138	432	37.96%	1,091	420	38.50%	-47	-12	0.54
		0～2歳児	595	192	32.27%	561	186	33.16%	-34	-6	0.89
		3～5歳児	543	240	44.20%	530	234	44.15%	-13	-6	-0.05

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。
 ※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】			平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数									
ブロック	地域	施設数	待機児童数（年齢別）					合計	施設数	待機児童数（年齢別）					合計	前年比較										
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳			5歳	0歳	1歳	2歳	3歳			4歳	5歳								
10 ブロック	竹の塚地域	1	西保木間1.2.3.4	3											0	3		1						1	1	
		2	竹の塚1.2.3.4.5.6.7	12												0	12	1			1				2	2
		3	六月1.2.3、島根1.2.3.4、栗原1.2	7		1										1	8								0	-1
	小計			22	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	23	1	1	0	1	0	0	0	3	2	

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

(1) 待機児童

平成28年4月1日現在の待機児童は、15名（14名が0～2歳児）で前年比3名の増でした。六月・島根・栗原一～二丁目の待機児童が前年度比1名減ですが7名と多く、次いで竹の塚一～七丁目で4名増の6名、西保木間一～四丁目が増減なしの2名となっています。申請事由別では、フルタイム就労世帯が3名に対し、パート就労世帯6名、求職中世帯6名とそれぞれが大きな割合を占めています。

(2) 就学前人口

平成28年4月1日現在の就学前人口は、2,095名で昨年度に比べて100名減少しています。0～2歳児では78名の減、3～5歳児では22名の減でした。平成28年6月に西保木間二丁目138戸のマンションが完成しており、今後の就学前人口の動向に注視が必要な地域です。

(3) 保育需要

平成28年4月1日現在の保育需要数は1,013名で、前年度比19名の増です。特に竹の塚一～七丁目0～2歳児の保育需要が30名増となっています。これは、六月・島根・栗原地域の戸建開発の影響に加え、平成28年4月に同地域で初となる、認可保育所における0歳児保育が開始されたことにより、需要を掘り起こしたことが原因と考えられます。今後も大規模マンションの保育需要の伸びが見込まれることから、需要の動向に注視が必要です。

(4) ブロック内の保育施設数

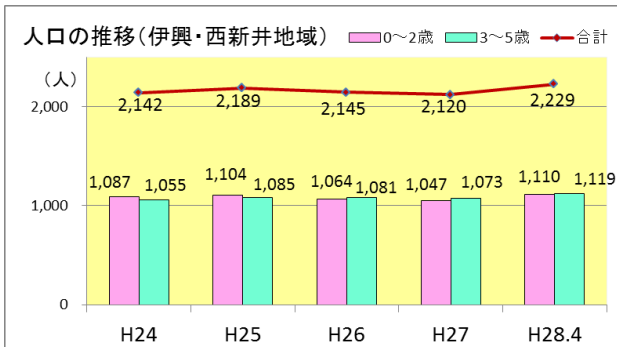
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	2	83	142	225
認可保育所（公設民営）	3	118	222	340
認可保育所（私立）	3	103	186	289
認定こども園（公立）	-	0	0	0
認定こども園（私立）	-	0	0	0
小規模保育	2	38	0	38
合計	27	491	573	1,064

11ブロック — 伊興・西新井地域

◆地域別待機児童数（年齢別）

11 ブロック	地域	平成27年4月1日現在							合計	平成28年4月1日現在							待機 児童数 前年 比較	
		待機児童数（年齢別）								待機児童数（年齢別）								
		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
伊興・西新井 地域	1 伊興1.2.3、西新井2.3、栗原4、西竹の塚1	7	2	3	2				7	6	1	4		2			7	0
	2 西新井1、栗原3	5		1	1				2	5		1					1	-1
	3 西伊興1.2、西新井4.5、谷在家1	7	1		1				2	6	2	3					5	3
	4 西新井6.7	2							0	2							0	0
小計		21	3	4	4	0	0	0	11	19	3	8	0	2	0	0	13	2

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計
 ※施設数は東京都認証保育所を除く



【申請事由別待機児童数】

申請事由	H27		H28	
就労中（フルタイム）	1人	9%	4人	31%
就労中（パート）	5人	45%	4人	31%
求職中	4人	36%	4人	31%
その他	1人	9%	1人	8%
合計	11人	100%	13人	100%

【保育需要】

11ブロック	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
伊興・西新井地域	0～5歳児	2,120	689	32.50%	2,229	713	31.99%	109	24	-0.51
	0～2歳児	1,047	365	34.86%	1,110	360	32.43%	63	-5	-2.43
	3～5歳児	1,073	324	30.20%	1,119	353	31.55%	46	29	1.35

【各地区】

11- (1)	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比			
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	
伊興1.2.3、西新井2.3、栗原4	0～5歳児	975	407	41.74%	1,087	428	39.37%	112	21	-2.37	
	0～2歳児	489	214	43.76%	564	203	35.99%	75	-11	-7.77	
	3～5歳児	486	193	39.71%	523	225	43.02%	37	32	3.31	
11- (2)	西新井1、栗原3	0～5歳児	304	52	17.11%	299	42	14.05%	-5	-10	-3.06
		0～2歳児	151	51	33.77%	144	41	28.47%	-7	-10	-5.30
		3～5歳児	153	1	0.65%	155	1	0.65%	2	0	-0.01
11- (3)	西伊興1.2、西新井4.5、谷在家1	0～5歳児	653	185	28.33%	664	200	30.12%	11	15	1.79
		0～2歳児	318	76	23.90%	313	92	29.39%	-5	16	5.49
		3～5歳児	335	109	32.54%	351	108	30.77%	16	-1	-1.77
11- (4)	西新井6.7	0～5歳児	188	45	23.94%	179	43	24.02%	-9	-2	0.09
		0～2歳児	89	24	26.97%	89	24	26.97%	0	0	0.00
		3～5歳児	99	21	21.21%	90	19	21.11%	-9	-2	-0.10

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

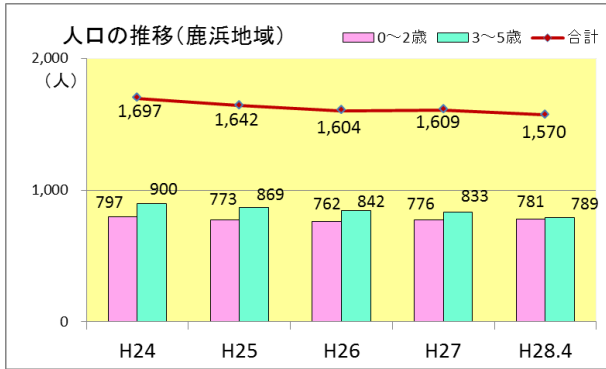
※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

12ブロック — 鹿浜地域

◆地域別待機児童数（年齢別）

12 ブロック	地域	施設数	平成27年4月1日現在					合計	平成28年4月1日現在							待機 児童数	前年 比較
			待機児童数（年齢別）						待機児童数（年齢別）								
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳		5歳	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳		
鹿浜地域	1 皿沼1.2.3、谷在家2.3、鹿浜7.8	5		1	1				5		4					4	2
	2 江北6.7	3		1				4	1	1					2	1	
	3 加賀1.2、鹿浜5.6	5	1	1			1	5	2	4	3				9	6	
	4 鹿浜2.3.4、椿2	4						4		1					1	1	
小計		17	1	3	1	0	1	0	18	3	10	3	0	0	0	16	10

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計
※施設数は東京都認証保育所を除く



【申請事由別待機児童数】

申請事由	H27		H28	
就労中（フルタイム）	0人	0%	0人	0%
就労中（パート）	1人	17%	8人	50%
求職中	5人	83%	8人	50%
その他	0人	0%	0人	0%
合計	6人	100%	16人	100%

【保育需要】

12ブロック	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
鹿浜地域	0～5歳児	1,609	631	39.22%	1,570	651	41.46%	-39	20	2.25
	0～2歳児	776	251	32.35%	781	269	34.44%	5	18	2.10
	3～5歳児	833	380	45.62%	789	382	48.42%	-44	2	2.80

【各地区】

12- (1)	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比			
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	
皿沼1.2.3、谷在家2.3、鹿浜7.8	0～5歳児	598	107	17.89%	564	111	19.68%	-34	4	1.79	
	0～2歳児	288	35	12.15%	273	41	15.02%	-15	6	2.87	
	3～5歳児	310	72	23.23%	291	70	24.05%	-19	-2	0.83	
12- (2)	江北6.7	0～5歳児	166	217	130.72%	152	218	143.42%	-14	1	12.70
		0～2歳児	73	77	105.48%	87	77	88.51%	14	0	-16.97
		3～5歳児	93	140	150.54%	65	141	216.92%	-28	1	66.39
12- (3)	加賀1.2、鹿浜5.6	0～5歳児	431	276	64.04%	429	284	66.20%	-2	8	2.16
		0～2歳児	210	108	51.43%	210	114	54.29%	0	6	2.86
		3～5歳児	221	168	76.02%	219	170	77.63%	-2	2	1.61
12- (4)	鹿浜2.3.4、椿2	0～5歳児	414	31	7.49%	425	38	8.94%	11	7	1.45
		0～2歳児	205	31	15.12%	211	37	17.54%	6	6	2.41
		3～5歳児	209	0	0.00%	214	1	0.47%	5	1	0.47

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】			平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数
ブロック	地域	施設名	待機児童数（年齢別）					合計	待機児童数（年齢別）					合計	前年比較		
			施設数	0歳	1歳	2歳	3歳		4歳	5歳	施設数	0歳	1歳			2歳	3歳
12 ブロック	鹿浜地域	1 皿沼1.2.3、谷在家2.3、鹿浜7.8	5												0	0	
		2 江北6.7	3												0	0	
		3 加賀1.2、鹿浜5.6	5												0	0	
		4 鹿浜2.3.4、椿2	4												0	0	
	小計		17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

(1) 待機児童

平成28年4月1日現在の待機児童は16名（すべて0～2歳児）で、前年度に比べて10名の増でした。申請事由別では、パート就労世帯、求職中世帯がそれぞれ8名となっています。フルタイム就労世帯の待機児童は2年連続でゼロになっています。

(2) 就学前人口

平成28年4月1日現在の就学前人口は1,570名で、前年度比39名減となっています。3～5歳児の人口は、平成21年から0～2歳児の人口を上回っている地域となっています。マンション等の大きな開発計画も無く、今後も引き続き、人口は減少していく見込みです。

(3) 保育需要

平成28年4月1日現在の保育需要数は651名で前年度に比べ20名増加しています。保育需要率は41.46%で2.25ポイント増加しています。11ブロック（伊興・西新井地域）からの保育需要の流入が増加したことが原因と思われます。今後、隣接地域の保育施設整備が進むことで保育需要は減少すると見込まれます。

(4) ブロック内の保育施設数

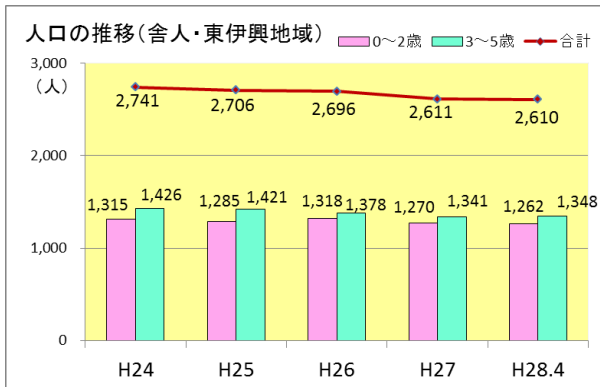
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	3	115	209	324
認可保育所（公設民営）	1	24	71	95
認可保育所（私立）	1	39	48	87
認定こども園（公立）	1	24	72	96
認定こども園（私立）	-	0	0	0
小規模保育	1	19	0	19
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
家庭的保育	8	26	0	26
区認定ママ	3	6	0	6
公設民営認可外	-	0	0	0
認証保育所（A型）	-	0	0	0
認証保育所（B型）	1	18	0	18
合計	19	271	400	671

13ブロック — 舎人・東伊興地域

◆地域別待機児童数（年齢別）

13 ブロック	舎人・東伊興 地域	地域	平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機 児童数 前年 比較		
			施設数	待機児童数（年齢別）					合計	施設数	待機児童数（年齢別）					合計			
				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳			5歳	0歳	1歳	2歳	3歳			4歳	5歳
	1	伊興本町1.2、伊興4.5、東伊興1.2.3.4、西伊興4、西竹の塚2	5	1	3	1	1			6	5	1	2	1	2			6	0
	2	古千谷本町1.2.3.4、舎人1.2.3、西伊興3	14		3					3	14	1	2	2				5	2
	3	舎人4.5.6、入谷1.2.3.4.5.6.7.8.9	6		2	1				3	6		2	1				3	0
	小計		25	1	8	2	1	0	0	12	25	2	6	4	2	0	0	14	2

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計
※施設数は東京都認証保育所を除く



【申請事由別待機児童数】

申請事由	H27		H28	
就労中（フルタイム）	4人	33%	2人	14%
就労中（パート）	5人	42%	3人	21%
求職中	1人	8%	8人	57%
その他	2人	17%	1人	7%
合計	12人	100%	14人	100%

【保育需要】

13ブロック	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比		
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
舎人・東伊興地域	0～5歳児	2,611	720	27.58%	2,610	725	27.78%	-1	5	0.20
	0～2歳児	1,270	331	26.06%	1,262	342	27.10%	-8	11	1.04
	3～5歳児	1,341	389	29.01%	1,348	383	28.41%	7	-6	-0.60

【各地区】

13- (1)	年齢区分	平成27年4月1日現在			平成28年4月1日現在			前年比												
		就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率										
伊興本町1.2、伊興4.5、東伊興1.2.3.4、西伊興4	0～5歳児	827	291	35.19%	861	297	34.49%	34	6	-0.69										
	0～2歳児	423	141	33.33%	424	143	33.73%	1	2	0.39										
	3～5歳児	404	150	37.13%	437	154	35.24%	33	4	-1.89										
13- (2)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率										
											0～5歳児	937	257	27.43%	931	264	28.36%	-6	7	0.93
											0～2歳児	443	128	28.89%	445	140	31.46%	2	12	2.57
3～5歳児	494	129	26.11%	486	124	25.51%	-8	-5	-0.60											
13- (3)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率										
											0～5歳児	847	172	20.31%	818	164	20.05%	-29	-8	-0.26
											0～2歳児	404	62	15.35%	393	59	15.01%	-11	-3	-0.33
3～5歳児	443	110	24.83%	425	105	24.71%	-18	-5	-0.12											

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】			平成27年4月1日現在							平成28年4月1日現在							待機児童数 前年比較								
ブロック	地域	施設数	待機児童数（年齢別）					合計	待機児童数（年齢別）					合計											
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳		5歳	0歳	1歳	2歳	3歳		4歳	5歳									
13 ブロック	舎人・東伊興 地域	1	伊興本町1.2、伊興4.5、東伊興1.2.3.4、西伊興4、西竹の塚2	5	1	1							2	5		1						1	-1		
		2	古千谷本町1.2.3.4、舎人1.2.3、西伊興3	14		2									2	14	1							1	-1
		3	舎人4.5.6、入谷1.2.3.4.5.6.7.8.9	6											0	6								0	0
	小計			25	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4	25	1	1	0	0	0	0	0	2	-2	

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

(1) 待機児童

平成28年4月1日現在の待機児童は14名（12名が0～2歳児）で、前年度に比べ2名増加しました。申請事由別では、フルタイム就労世帯が前年度比2名減の2名、パート就労世帯が2名減の3名、求職中の世帯が7名増の8名と、求職中世帯の割合が大きく増えています。

(2) 就学前人口

平成28年4月1日現在の就学前人口は2,610名で、前年度に比べて1名の減でした。0～2歳児は8名減、3～5歳児は7名増となっています。日暮里・舎人ライナー沿線の開発で住宅開発が進んでおり、大規模な建設はありませんが、今後の就学前人口の動向について注視していく必要のある地域と考えています。

(3) 保育需要

平成28年4月1日現在の保育需要数は725名で、前年度に比べて5名の増となっています。また、保育需要率は27.78%で、0.20ポイントの増でした。舎人四～六丁目・入谷の保育需要が減り、他の地域では保育需要が増加しています。今後の保育需要は、就学前人口同様、注視が必要であると考えています。

(4) ブロック内の保育施設数

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	3	81	187	268
認可保育所（公設民営）	-	0	0	0
認可保育所（私立）	2	106	138	244
認定こども園（公立）	-	0	0	0
認定こども園（私立）	1	39	69	108
小規模保育	2	38	0	38
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
家庭的保育	17	54	0	54
区認定ママ	-	0	0	0
公設民営認可外	-	0	0	0
認証保育所（A型）	1	30	0	30
認証保育所（B型）	-	0	0	0
合計	26	348	394	742

資料 2 保育需要の動向に関する分析

【分析定義】

◆分析に用いる保育需要の定義

分析に用いる「保育需要」は、以下①と②を足したものとします。

あだち子育て応援隊の利用児童は、動向の分析においては対象外とします。

- ① 在園児…平成 28 年 4 月 1 日時点で、認可保育所、認定こども園（保育認定児童に限る）、小規模保育、家庭的保育、公設民営認可外保育施設、東京都認証保育所を利用している区民。（区外の保育施設を利用している児童を含む。）
- ② 待機児童…平成 28 年 4 月 1 日時点の厚生労働省基準に基づく待機児童。

在園児 12,360 名 + 待機児童 306 名 = 保育需要 12,666 名

地域別の保育需要

上記の定義に基づき、保育需要を居住地域別で集計した結果は下表のとおりです。千住地域や綾瀬地域など、主要駅を中心としたエリアに保育需要が多く発生している状況にあります。

ブロック	細分化	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	ブロック合計
1	1	千住東側	57	92	111	113	117	102	592	1,667
	2	千住西側	105	252	212	191	168	147	1,075	
2	1	江北2(26番以上).3.4、椿1、堀之内1.2、鹿浜1	13	33	34	28	38	30	176	401
	2	江北1.2(25番まで)、扇2	20	46	41	37	40	41	225	
	3	新田1	10	15	26	21	18	25	115	522
	4	新田2	6	6	6	7	10	8	43	
	5	新田3	22	64	76	58	74	70	364	
	6	宮城・小台	18	48	44	47	48	51	256	
3	1	西新井栄町3、西新井本町1.3.4.5	12	31	39	50	36	34	202	781
	2	興野1、本木1.2、本木東町、本木南町	17	28	37	31	30	32	175	
	3	扇1.3、興野2、本木北町、本木西町	29	49	58	64	61	68	329	
	4	西新井本町2	3	17	22	10	9	14	75	
4	1	梅島1.2.3	22	37	36	33	36	19	183	1,161
	2	梅田1.2.3.4.5.6.7	37	65	72	61	63	70	368	
	3	梅田8、西新井栄町1.2	43	76	87	69	72	73	420	
	4	関原1.2.3	21	41	37	31	28	32	190	
5	1	青井1.2.3.4.5.6	35	57	55	48	58	42	295	1,008
	2	弘道1.2、西綾瀬1.2.3.4	24	50	52	47	39	42	254	
	3	中央本町1.2.3.4.5	19	45	48	41	46	43	242	
	4	足立1.2.3.4	21	42	36	43	35	40	217	
6	1	綾瀬1.2.3.4.5.6.7、加平1	59	90	94	89	79	71	482	1,495
	2	東綾瀬1.2.3、谷中1.2	49	88	84	57	58	53	389	
	3	東和1.2.3.4.5、中川4(30番まで)	35	76	76	78	73	73	411	
	4	中川1.2.3.4(30番以上).5	20	33	48	34	43	35	213	
7	1	大谷田1.2.3.4.5、谷中3.4.5	27	63	75	72	67	66	370	890
	2	佐野1.2、辰沼1.2、六木1.2	13	34	39	38	47	36	207	
	3	神明1.2.3、六木3.4	14	29	38	30	28	32	171	
	4	加平2.3、北加平町、神明南1.2	16	29	21	28	24	24	142	

8	1	六町1.2.3.4、一ツ家4、西加平1.2、南花畑1.2.3	43	92	58	59	56	64	372	937
	2	一ツ家2.3、保塚町、東保木間1.2	18	58	43	55	50	46	270	
	3	平野1.2.3、一ツ家1、東六月町、保木間1.2	19	51	66	46	58	55	295	
9	1	南花畑4.5、花畑1	18	27	25	24	30	32	156	574
	2	花畑2.3.6.7	9	23	37	37	29	33	168	
	3	花畑8(桑袋)		4	5	3	5	11	28	
	4	保木間3.4.5、花畑4.5	17	26	32	48	42	57	222	
10	1	西保木間1.2.3.4	13	27	39	38	26	37	180	797
	2	竹の塚1.2.3.4.5.6.7	21	31	40	28	30	34	184	
	3	六月1.2.3、島根1.2.3.4、栗原1.2	35	89	83	91	66	69	433	
11	1	伊興1.2.3、西新井2.3、栗原4	24	66	78	52	61	52	333	755
	2	西新井1、栗原3	5	17	13	20	17	27	99	
	3	西伊興1.2、西新井4.5、谷在家1	25	42	53	51	39	52	262	
	4	西新井6.7	6	13	6	6	15	15	61	
12	1	皿沼1.2.3、谷在家2.3、鹿浜7.8	12	34	50	28	36	43	203	597
	2	江北6.7	12	10	13	12	9	10	66	
	3	加賀1.2、鹿浜5.6	13	35	24	37	33	40	182	
	4	鹿浜2.3.4、椿2	17	20	31	20	27	31	146	
13	1	伊興本町1.2、伊興4.5、東伊興1.2.3.4、西伊興4	25	51	66	62	51	47	302	825
	2	古千谷本町1.2.3.4、舎人1.2.3、西伊興3	25	53	48	54	54	38	272	
	3	舎人4.5.6、入谷1.2.3.4.5.6.7.8.9	16	47	56	41	40	51	251	
合 計			1,140	2,352	2,470	2,268	2,219	2,217	12,666	12,666

ブロック別の保育需要の動向

児童が保育施設を利用するにあたり、各地域(ブロック)において以下のような「動き」が発生しています。また、大規模開発や沿線開発等が進んでいる地域では、保育需要の拡大により、多くの世帯が居住地地域外の保育施設を利用する現象がみられます。このような保育需要の広域化が、待機児童の地域遍在につながる一つの要因と考えます。

1 ブロック — 千住地域

在園児世帯の居住地		在園する保育園の所在地										
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
1	千住地域	→	1	千住地域	145	283	304	291	271	240	1534	95.4%
			2-3.4.5	新田地域		4	2		1	1	8	0.5%
			3	興野・本木地域		1		1	2	1	5	0.3%
			4	梅田地域		1	3	1	3		8	0.5%
			5	中央本町地域	1	3	1	2	1		8	0.5%
			6	綾瀬地域	1	1	2	2	2	3	11	0.7%
			8	保塚・六町地域			1		1		2	0.1%
			10	竹の塚地域	1		1			1	3	0.2%
			11	伊興・西新井地域		2	1				3	0.2%
			13	西伊興・舎人地域	1			1			2	0.1%
				管外	管外	2	8	3	4	4	3	24

① 151 303 318 302 285 249 1,608 100.0%

待機児童世帯の居住地		希望する保育園所在地							年齢別内訳		
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
1	千住地域	→	1	千住地域	11	40	5	2		58	98.3%
			4	梅田地域		1					1

② 11 41 5 2 0 0 59 100.0%

1ブロック合計 1,667

①+②

【地域の特徴等】
 ・保育需要の合計が前年度(1,522人)から急激に増加している(145人増)。
 ・保育施設を利用している世帯の多くが居住地地域の保育施設を利用している(95.4%)。また、区外の保育施設の利用者は前年(37人)から13人減となっており、地域内の認可保育所整備(27年度3件)の影響が確認できる。
 ・待機児童となった世帯のほとんどが居住地地域の保育施設を希望している(98.3%)。

2ブロック — 江北・新田地域

在園児世帯の居住地		在園する保育園の所在地		年齢別内訳							合計	割合	
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳				
2-1 2-2	江北 扇地域	→	1	千住地域					1		1	0.3%	
			2-1.2	江北・扇地域	16	36	40	38	39	43	212	55.5%	
			2-3.4.5	新田地域		2			2	1	5	10	2.6%
			2-6	宮城・小台地域	1	1	1	1	3		7	1.8%	
			3	興野・本木地域	8	20	21	8	17	12	86	22.5%	
			4	梅田地域	1			1			2	0.5%	
			10	竹の塚地域		1					1	0.3%	
			11	伊興・西新井地域		6	2	2	1	5	16	4.2%	
			12	鹿浜地域	1	5	7	9	14	6	42	11.0%	
			管外	管外				1	2	2	5	1.3%	

① 27 71 72 63 78 71 **382** 100.0%

待機児童世帯の居住地		希望する保育園所在地		年齢別内訳							合計	割合
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳			
2-1 2-2	江北 扇地区	→	2-1.2	江北・扇地区	6	4	2	1			13	68.4%
			2-6	宮城・小台地域		1					1	5.3%
			3	興野・本木地域		2	1	1			4	21.1%
			12	鹿浜地域		1					1	5.3%

② 6 8 3 2 0 0 **19** 100.0%

2-1.2ブロック合計

401

①+②

【地域の特徴等】

- ・居住地域の保育施設を利用している世帯は55.5%で、居住地域外の保育施設を利用する世帯も多い。
- ・居住地域外の保育施設を利用する世帯の多くが隣接する「3ブロック」、「12ブロック」の保育施設を利用している。
- ・待機児童となった世帯の1/3近くが居住地域外の保育施設を希望している。

在園児世帯の居住地		在園する保育園の所在地		年齢別内訳							合計	割合
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳			
2-3 2-4 2-5	新田地域	→	2-1.2	江北・扇地域						1	1	0.2%
			2-3.4.5	新田地域	36	81	102	86	89	95	489	94.2%
			2-6	宮城・小台地域		2	1			1	12	2.3%
			10	竹の塚地域					1		1	0.2%
			12	鹿浜地域					1	1	2	0.4%
			管外	管外			1	5		3	5	14

① 36 84 108 86 102 103 **519** 100.0%

待機児童世帯の居住地		希望する保育園所在地		年齢別内訳							合計	割合
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳			
2-3.4.5	新田地域	→	2-3.4.5	新田地域	2						2	66.7%
			11	伊興・西新井地域		1					1	33.3%

② 2 1 0 0 0 0 **3** 100.0%

2-3.4.5ブロック合計

522

①+②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯の割合が前年度(88.5%)から5.7ポイント上昇している。また、区外の保育施設を利用している世帯は前年度(20人)から6人減少しており、地域内の認可保育所整備(27年度1件)の影響が確認できる。
- ・区外の保育施設を利用している世帯は14人と、前年度から減少したものの比較的多い。
- ・待機児童3人のうち1人が居住地域外の「11ブロック」を希望している。

在園児世帯の居住地		在園する保育園の所在地											
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合		
2-6	宮城 小台地域	→	1	千住地域		1			2	1	4	1.6%	
			2-1.2	江北・扇地域	2	5	2		2	1	12	4.7%	
			2-3.4.5	新田地域	3	2					4	9	3.5%
			2-6	宮城・小台地域	10	33	37	41	37	40	198	78.0%	
			3	興野・本木地域	2	5	3	3	4	1	18	7.1%	
			11	伊興・西新井地域				1	2		3	1.2%	
			12	鹿浜地域			1				1	0.4%	
			13	新伊興・舎人地域					1		1	0.4%	
	管外	管外		1	1	2		4	8	3.1%			

① 17 47 44 47 48 51 **254** 100.0%

待機児童世帯の居住地		希望する保育園所在地							合計	割合		
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳			5歳	
2-6	宮城・小台地域	→	2-6	宮城・小台地域	1	1					2	100.0%

② 1 1 0 0 0 0 0 **2** 100.0%

2-6ブロック合計	256
-----------	------------

①+②

【地域の特徴等】
 ・保育施設を利用している世帯のうち、78.0%が居住地域の保育施設を利用している。
 ・隣接している「2-1.2ブロック」、「2-3.4.5ブロック」、「3ブロック」のほか、区外の保育施設を利用する世帯も多い。
 ・待機児童となったすべての世帯が居住地域の保育施設を希望している。

3ブロック — 興野・本木地域

在園児世帯の居住地		在園する保育園の所在地										
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
3	興野 本木地域	→	1	千住地域		1		1		1	3	0.4%
			2-1.2	江北・扇地域	9	7	11	11	11	12	61	8.0%
			2-3.4.5	新田地域		1					1	0.1%
			2-6	宮城・小台地域		1	2	4		1	8	1.0%
			3	興野・本木地域	38	83	109	113	100	102	545	71.2%
			4	梅田地域	8	14	19	16	18	13	88	11.5%
			5	中央本町地域	1						1	0.1%
			7	佐野地域	1						1	0.1%
			9	花畑・保木間地域			1		1		2	0.3%
			10	竹の塚地域					2		2	0.3%
			11	伊興・西新井地域	2	5	3	6	2	11	29	3.8%
			12	鹿浜地域		2	6	2	2	4	16	2.1%
			13	新伊興・舎人地域	1		1	1		2	5	0.7%
	管外	管外			1			2	3	0.4%		

① 60 114 153 154 136 148 **765** 100.0%

待機児童世帯の居住地		希望する保育園所在地							合計	割合		
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳			5歳	
3	興野 本木地域	→	2-1.2	江北・扇地区		1					1	6.3%
			3	興野・本木地域		8	3	1			12	75.0%
			4	梅田地域		2					2	12.5%
			12	鹿浜地域	1						1	6.3%

② 1 11 3 1 0 0 **16** 100.0%

3ブロック合計	781
---------	------------

①+②

【地域の特徴等】
 ・保育施設を利用している世帯のうち、71.2%が居住地域の保育施設を利用している。
 ・隣接している「2-1.2ブロック」、「4ブロック」、「11ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。
 ・待機児童となった世帯の1/4が居住地域外の保育施設を希望している。

4ブロック — 梅田地域

在園児世帯の居住地		在園する保育園の所在地											
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合		
4	梅田地域	→	1	千住地域	2		1			4	7	0.6%	
			2-1.2	江北・扇地域		2	1		1		4	4	0.4%
			3	興野・本木地域	5	14	14	11	10	13	67	67	5.9%
			4	梅田地域	85	152	173	154	147	141	852	852	74.8%
			5	中央本町地域	13	21	22	19	23	24	122	122	10.7%
			6	綾瀬地域	1	3					1	5	0.4%
			8	保塚・六町地域			1		2		2	5	0.4%
			10	竹の塚地域	4	9	12	5	11	8	49	49	4.3%
			11	伊興・西新井地域	2	6	7	2	5	1	23	23	2.0%
			12	鹿浜地域	1			2				3	0.3%
			13	新伊興・舎人地域	1							1	0.1%
			管外	管外			1					1	0.1%

① 114 208 231 193 199 194 **1,139** 100.0%

待機児童世帯の居住地		希望する保育園所在地						年齢別内訳		合計	割合	
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳			
4	梅田地域	→	3	興野・本木地域		1					1	4.5%
			4	梅田地域	9	8	1	1			19	86.4%
			5	中央本町地域		2					2	9.1%

② 9 11 1 1 0 0 **22** 100.0%

4ブロック合計 **1,161** ①+②

【地域の特徴等】
 ・保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯が前年度(806人)から46人増加し74.8%となっており、地域内の認可保育所整備(27年度整備1件)による影響が確認できる。
 ・隣接している「3ブロック」、「5ブロック」のほか、環七を挟んだ「10ブロック」や「11ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。
 ・「1ブロック」や「13ブロック」など、比較的遠い地域の保育施設を利用する世帯もいる。
 ・待機児童となった世帯は居住地域の他、「3ブロック」、「5ブロック」の保育施設を希望している。

5ブロック — 中央本町地域

在園児世帯の居住地		在園する保育園の所在地										
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
5	中央本町地域	→	1	千住地域		1	2	2		2	7	0.7%
			3	興野・本木地域	1						1	0.1%
			4	梅田地域	1	17	6	15	10	11	60	6.1%
			5	中央本町地域	73	136	159	132	140	136	776	79.4%
			6	綾瀬地域	7	14	8	7	9	4	49	5.0%
			7	佐野地域		1	1	1			3	0.3%
			8	保塚・六町地域	4	4	9	13	13	8	51	5.2%
			9	花畑・保木園地域		1			1	2	4	0.4%
			10	竹の塚地域	2	4	3	4	3	3	19	1.9%
			管外	管外		2	1	1	2	1	7	0.7%

① 88 180 189 175 178 167 **977** 100.0%

待機児童世帯の居住地		希望する保育園所在地						年齢別内訳		合計	割合	
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳			
5	中央本町地域	→	4	梅田地域		1		1			2	6.5%
			5	中央本町地域	9	11	2	3			25	80.6%
			6	綾瀬地域	1	1					2	6.5%
			8	保塚・六町地域	1	1					2	6.5%

② 11 14 2 4 0 0 **31** 100.0%

5ブロック合計 **1,008** ①+②

【地域の特徴等】
 ・保育施設を利用している世帯のうち、79.4%が居住地域の保育施設を利用している。
 ・認可保育所を整備した「4ブロック」の保育施設を利用している世帯が前年度(45人)から15人増加した。また、今年度、保育需要が急増した「6ブロック」の保育施設を利用している世帯は前年度(59人)から10人減少した。
 ・待機児童となった世帯は居住地域の他、「4ブロック」、「6ブロック」、「8ブロック」の保育施設を希望している。

6ブロック — 綾瀬地域

在園児世帯の居住地		在園する保育園の所在地										
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
6	綾瀬地域	→	1	千住地域	1					1	2	0.1%
			2-3.4.5	新田地域	1		1				2	0.1%
			4	梅田地域			1				1	0.1%
			5	中央本町地域	4	10	11	6	13	6	50	3.4%
			6	綾瀬地域	138	237	258	236	216	201	1286	88.0%
			7	佐野地域	7	13	17	9	17	12	75	5.1%
			8	保塚・六町地域		1	1				2	0.1%
			9	花畑・保木間地域					1		1	0.1%
			10	竹の塚地域					1	2	3	0.2%
			11	伊興・西新井地域						1	1	0.1%
			12	鹿浜地域	1	1					2	0.1%
				管外	管外	4	7	5	6	5	9	36

①	156	269	294	257	253	232	1,461	100.0%
---	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--------------	--------

待機児童世帯の居住地		希望する保育園所在地		年齢別内訳					合計	割合		
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳			
6	綾瀬地域	→	4	梅田地域				1			1	2.9%
			6	綾瀬地域	7	15	7				29	85.3%
			7	佐野地域		1	1				2	5.9%
			10	竹の塚地域		1					1	2.9%
			管外	管外		1					1	2.9%

②	7	18	8	1	0	0	34	100.0%
---	---	----	---	---	---	---	-----------	--------

6ブロック合計	1,495	①+②
---------	--------------	-----

【地域の特徴等】

- ・保育需要の合計が前年度(1,408人)から大幅に増加している(87人増)。
- ・保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯が多い(88%)が、他ブロックの保育施設を利用している世帯も一定数存在する(「5ブロック」50人、「7ブロック」75人)。また、区外の保育施設を利用している世帯も多い(36人)。
- ・待機児童となった世帯の多くが居住地域内の保育施設を希望しているが、「4ブロック」、「7ブロック」、「10ブロック」、「管外」を希望する世帯も存在する。

7ブロック — 佐野地域

在園児世帯の居住地		在園する保育園の所在地											
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合		
7	佐野地域	→	4	梅田地域		1		1			2	0.2%	
			5	中央本町地域	2	1				1	4	0.5%	
			6	綾瀬地域	17	40	45	49	43	38	232	26.9%	
			7	佐野地域	34	97	112	108	115	115	581	67.4%	
			8	保塚・六町地域	3	3	7	4	4	2	23	2.7%	
			9	花畑・保木間地域	1	1	1	2	1	2	8	0.9%	
			10	竹の塚地域	1	1		1			3	0.3%	
			12	鹿浜地域	1				1		2	0.2%	
				管外	管外	1	1		3	2		7	0.8%

①	60	145	165	168	166	158	862	100.0%
---	----	-----	-----	-----	-----	-----	------------	--------

待機児童世帯の居住地		希望する保育園所在地		年齢別内訳					合計	割合		
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳			
7	佐野地域	→	5	中央本町地域	1						1	3.6%
			6	綾瀬地域	4		2				6	21.4%
			7	佐野地域	3	8	4				15	53.6%
			8	保塚・六町地域	1	2					3	10.7%
			10	竹の塚地域			2				2	7.1%
	管外	管外	1						1	3.6%		

②	10	10	8	0	0	0	28	100.0%
---	----	----	---	---	---	---	-----------	--------

7ブロック合計	890	①+②
---------	------------	-----

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は67.4%である。
- ・隣接している「6ブロック」の保育施設を利用している世帯が26.9%と非常に多い。また、区外の保育施設を利用している世帯も多い。
- ・待機児童となった世帯は前年度(9人)から19人増加しており、半数近くが居住地域外の「5ブロック」、「6ブロック」、「8ブロック」、「10ブロック」、「管外」の保育施設を希望している。特に「6ブロック」を希望する世帯は6人と多く、同地域に保育需要が集中した影響と思われる。

8ブロック — 保塚・六町地域

在園児世帯の居住地		在園する保育園の所在地										
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
8	保塚 六町地域	→	1	千住地域		1				1	2	0.2%
			2-1.2	江北・扇地域		1			1		2	0.2%
			3	興野・本木地域						1	1	0.1%
			4	梅田地域		2	1	5	3	2	13	1.4%
			5	中央本町地域	2	6	7	9	1	4	29	3.2%
			6	綾瀬地域		2	4		2	1	9	1.0%
			7	佐野地域	3	3		2	1	2	11	1.2%
			8	保塚・六町地域	51	130	107	108	103	102	601	65.8%
			9	花畑・保木間地域	6	22	18	25	23	25	119	13.0%
			10	竹の塚地域	10	20	23	11	27	24	115	12.6%
			11	伊興・西新井地域	1	1	2		1		5	0.5%
			13	藤伊興・各人地域		2				2	4	0.4%
				管外					1	1	2	0.2%

① 73 190 162 160 163 165 913 100.0%

待機児童世帯の居住地		希望する保育園所在地		年齢別内訳					合計	割合		
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳			
8	保塚 六町地域	→	8	保塚・六町地域	6	8	4				18	75.0%
			9	花畑・保木間地域	1	2	1		1		5	20.8%
			10	竹の塚地域		1					1	4.2%

② 7 11 5 0 1 0 24 100.0%

1ブロック合計	937
---------	-----

①+②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は65.8%である。
- ・隣接している「9ブロック」、「10ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。
- ・待機児童となった世帯の3/4が居住地域の保育施設を希望しているが、「9ブロック」、「10ブロック」を希望している世帯もある。特に「9ブロック」の保育施設を希望している世帯が多く、同地域の待機児童数(15人)の1/3を占めている。

9ブロック — 花畑・保木間地域

在園児世帯の居住地		在園する保育園の所在地										
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
9	花畑 保木間 地域	→	5	中央本町地域	1			1	1		3	0.5%
			6	綾瀬地域		1		1	1		3	0.5%
			7	佐野地域				1			1	0.2%
			8	保塚・六町地域	7	10	19	5	7	14	62	10.9%
			9	花畑・保木間地域	25	57	71	86	79	100	418	73.6%
			10	竹の塚地域	7	8	5	16	17	15	68	12.0%
			11	伊興・西新井地域		1	1	1	1	2	6	1.1%
			12	鹿浜地域		1					1	0.2%
			13	藤伊興・各人地域		1	2			1	4	0.7%
				管外				1			1	2

① 40 79 99 111 106 133 568 100.0%

待機児童世帯の居住地		希望する保育園所在地		年齢別内訳					合計	割合	
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
9	花畑保木間地域	→	9	花畑・保木間地域	4	1		1		6	100.0%

② 4 1 0 1 0 0 6 100.0%

9ブロック合計	574
---------	-----

①+②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は73.6%である。
- ・隣接している「8ブロック」、「10ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。
- ・待機児童となったすべての世帯が居住地域の保育施設を希望している。

10ブロック — 竹の塚地域

在園児世帯の居住地		在園する保育園の所在地										
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
10	竹の塚地域	→	1	千住地域			1		1		2	0.3%
			2-1.2	江北・扇地域					1		1	0.1%
			2-3.4.5	新田地域			1				1	0.3%
			4	梅田地域	4	8	10	9	5	7	43	5.5%
			5	中央本町地域	2	4	1	3		4	14	1.8%
			8	保塚・六町地域	2	2	3	6	4	2	19	2.4%
			9	花畑・保木間地域	2	7	5	5	2	8	29	3.7%
			10	竹の塚地域	42	108	123	119	101	107	600	76.5%
			11	伊興・西新井地域	8	8	10	10	4	7	47	6.0%
			12	鹿浜地域				1			1	0.1%
13	東伊興・舎人地域	4	4	5	3	4	4	24	3.1%			
	管外	管外			1	1			2	0.3%		

① 64 141 160 157 122 140 **784** 100.0%

待機児童世帯の居住地		希望する保育園所在地		年齢別内訳					合計	割合		
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳			
10	竹の塚地域	→	4	梅田地域	2						2	15.4%
			9	花畑・保木間地域		1					1	7.7%
			10	竹の塚地域	3	4	2				9	69.2%
			11	伊興・西新井地域		1					1	7.7%

② 5 6 2 0 0 0 **13** 100.0%

10ブロック合計 **797**

①+②

【地域の特徴等】
 ・保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は76.5%である。
 ・隣接している「9ブロック」、「11ブロック」のほか、環七を挟んだ「4ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。
 ・待機児童となった世帯の多くが居住地域の保育施設を希望しているが、「4ブロック」、「9ブロック」、「11ブロック」の保育施設を希望している世帯も存在する。

11ブロック — 伊興・西新井地域

在園児世帯の居住地		在園する保育園の所在地										
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
11	伊興・西新井地域	→	2-1.2	江北・扇地域	3	2		5	4	3	17	2.3%
			2-6	宮城・小台地域					1		1	0.1%
			3	興野・本木地域	4	12	9	8	15	14	62	8.4%
			4	梅田地域		1	2	2	5	4	14	1.9%
			5	中央本町地域	1	1					2	0.3%
			8	保塚・六町地域							1	0.1%
			9	花畑・保木間地域		1		2	1	1	5	0.7%
			10	竹の塚地域	3	13	16	7	9	9	57	7.7%
			11	伊興・西新井地域	33	75	97	75	69	72	421	57.1%
			12	鹿浜地域	5	9	14	17	13	20	78	10.6%
			13	東伊興・舎人地域	6	15	10	10	14	19	74	10.0%
				管外	管外			1		1	3	5

① 55 129 149 126 132 146 **737** 100.0%

待機児童世帯の居住地		希望する保育園所在地		年齢別内訳					合計	割合		
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳			
11	伊興・西新井地域	→	3	興野・本木地域	1	1					2	11.1%
			6	綾瀬地域	1		1				2	11.1%
			9	花畑・保木間地域		1					1	5.6%
			10	竹の塚地域		1					1	5.6%
			11	伊興・西新井地域	3	6		2			11	61.1%
13	東伊興・舎人地域				1				1	5.6%		

② 5 9 1 3 0 0 **18** 100.0%

11ブロック合計 **755**

①+②

【地域の特徴等】
 ・保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は57.1%である。
 ・居住地域外の保育施設を利用している世帯は、「1ブロック」及び「7ブロック」以外のすべての地域に分散しており、「3ブロック」、「10ブロック」、「12ブロック」、「13ブロック」を利用している世帯が多い。特に「12ブロック」は前年度(62人)から16人増加している。
 ・待機児童となった世帯は、保育施設利用世帯と同様、多くの地域に分散している状況である。

12ブロック — 鹿浜地域

在園児世帯の居住地		在園する保育園の所在地										
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
12	鹿浜地域	→	2-1.2	江北・扇地域	7	3	7	8	7	3	35	6.0%
			2-3.4.5	新田地域		1		1		1	3	0.5%
			2-6	宮城・小台地域						1	1	0.2%
			3	興野・本木地域	1	3	6	4	2	6	22	3.8%
			4	梅田地域		2	1			2	5	0.9%
			8	保塚・六町地域		1			1		2	0.3%
			10	竹の塚地域				1			1	0.2%
			11	伊興・西新井地域	6	8	13	4	6	5	42	7.2%
			12	鹿浜地域	35	67	83	77	88	103	453	78.0%
			13	東伊興・舎人地域	2	3	6	1		3	15	2.6%
	管外	管外				1	1		2	0.3%		

① 51 88 116 97 105 124 **581** 100.0%

待機児童世帯の居住地		希望する保育園所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
12	鹿浜地域	→	2-1.2	江北・扇地区	1	2					3	18.8%
			12	鹿浜地域	2	9	2				13	81.3%

② 3 11 2 0 0 0 **16** 100.0%

12ブロック合計 **597**

①+②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は78%である。
- ・隣接している「2-1.2ブロック」、「11ブロック」、「12ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。
- ・待機児童となった世帯は、居住地域のほか、「2-1.2ブロック」の保育施設を希望している。

13ブロック — 舎人・東伊興地域

在園児世帯の居住地		在園する保育園の所在地										
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
13	東伊興 舎人地域	→	1	千住地域					1		1	0.1%
			2-1.2	江北・扇地域	1	2	1	2		1	7	0.9%
			2-3.4.5	新田地域	1	1	1	1			3	0.4%
			3	興野・本木地域		1	1	2		1	5	0.6%
			4	梅田地域			1				1	0.1%
			5	中央本町地域						1	1	0.1%
			8	保塚・六町地域	1		1				2	0.2%
			9	花畑・保木間地域			1		2		3	0.4%
			10	竹の塚地域	4	12	19	16	10	13	74	9.1%
			11	伊興・西新井地域	7	23	18	17	23	11	99	12.2%
			12	鹿浜地域		6	7	8	6	6	33	4.1%
			13	東伊興・舎人地域	50	101	115	109	103	102	580	71.6%
				管外	管外						1	1

① 64 145 165 155 145 136 **810** 100.0%

待機児童世帯の居住地		希望する保育園所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
13	東伊興 舎人地域	→	10	竹の塚地域				1			1	6.7%
			11	伊興・西新井地域			1				1	6.7%
			13	東伊興・舎人地域	2	6	4	1			13	86.7%

② 2 6 5 2 0 0 **15** 100.0%

13ブロック合計 **810**

①+②

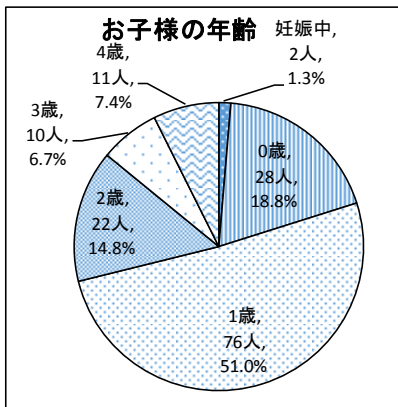
【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は71.6%である。
- ・隣接している「10ブロック」、「11ブロック」、「12ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。
- ・待機児童となった世帯の多くは居住地域の保育施設を希望しているが、「10ブロック」、「11ブロック」の保育施設を希望している世帯も存在する。

資料3 待機児童実態調査結果

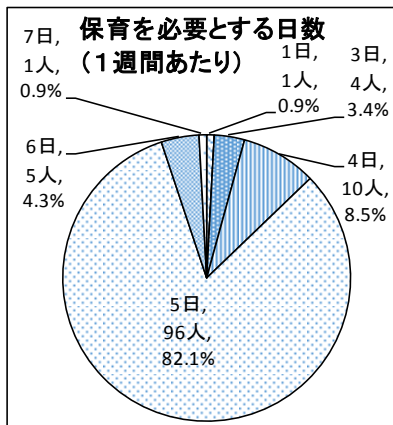
待機児童の保護者に対して、認可保育施設に入れなかった後の動向を把握するため、次のとおりアンケート調査を実施しました。

- ・調査実施日 平成28年6月17日～6月30日
- ・調査方法 待機児童の保護者への郵送によるアンケート
- ・調査対象 待機児童306人のうち、複数の待機児童がいる世帯は1世帯として扱い、288世帯に郵送した。
- ・回収率 42.7%(123世帯)



妊娠中	2
0歳	28
1歳	76
2歳	22
3歳	10
4歳	11
5歳	6

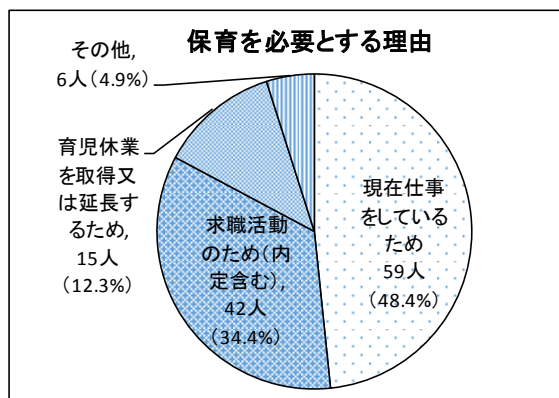
調査対象のうち、1歳児をもつ保護者からの回答が最多であった。



1日	1
2日	0
3日	4
4日	10
5日	96
6日	5
7日	1

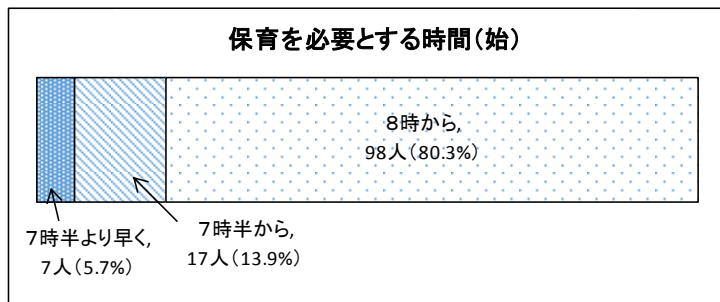
1週間あたりの保育を必要とする日数は「5日」が最多である。

待機児をもつ保護者が保育を必要とする最も多い理由は、「現在仕事をしているため」

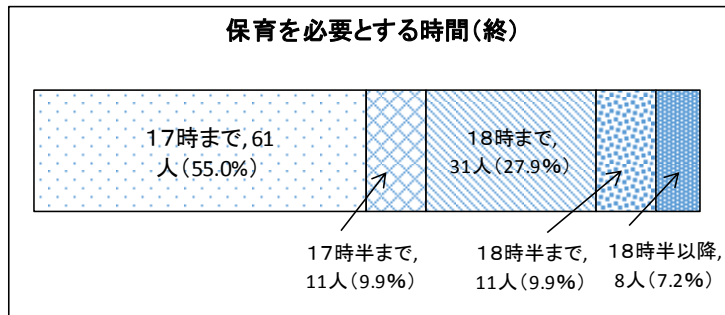


現在仕事をしているため	59
求職活動のため (内定を含む)	42
育児休業を取得又は 延長するため	15
その他	6

保育を必要とする時間は「7時半から18時半まで」が9割



必要時間(始)	人数
7時半より早く	7
7時半から	17
8時から	98



必要時間(終)	人数
17時まで	61
17時半まで	11
18時まで	31
18時半まで	11
18時半以降	8

必要時間	人数 (%)	【参考】各時間帯の対応施設・事業者数 (H28.4.1現在)			
		認可保育所 100所	認証保育所 42所	小規模保 育 21施設	家庭的保育 (区認定事業含む) 172事業者
7時半から18時半まで	110人 (90.2%)	全100施設	全42施設	全21施設	9事業者
(うち、8時から17時まで)	58人 (47.5%)	全100施設	全42施設	全21施設	111事業者
7時半より早くから※	7人 (5.7%)	29施設	22施設	×	×
18時半より遅くまで※	8人 (6.6%)	68施設	全42施設	×	×

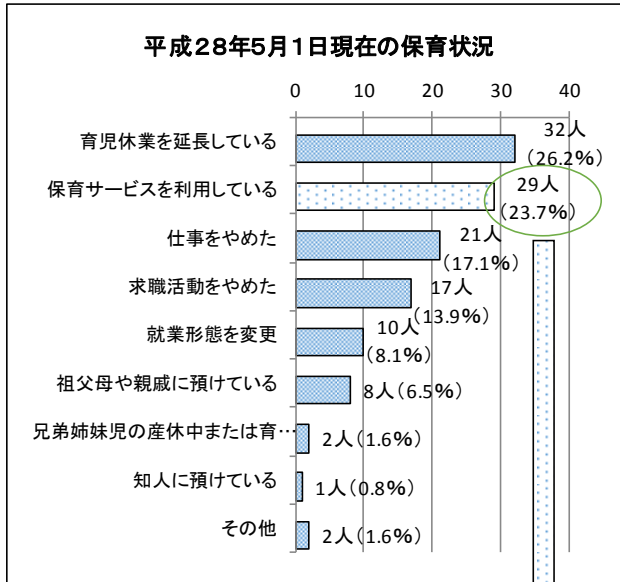
※7時半より早くからかつ、18時半より遅くまで必要な方2名を重複で計上している。

必要な時間帯と対応施設等を比較してみると、

- ・ 約9割が小規模保育で対応可能な「7時半から18時半」の利用を必要としている。
- ・ 半数近くが家庭的保育で対応可能な「8時から17時まで」の利用を必要としている。
- ・ 小規模保育・家庭的保育で対応できない早朝・夜間の保育を必要とするのは約1割(重複2名を除いた比率)である。

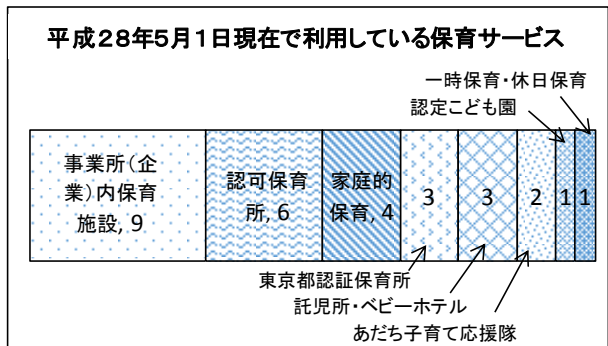
(1) 平成28年5月1日時点での保育状況について

平成28年5月1日現在の主な保育状況は「育児休業を延長」と「保育サービスを利用して」が約4分の1ずつ



育児休業を延長している	32
保育サービスを利用して	29
仕事をやめた	21
求職活動をやめた	17
就業形態を変更	10
祖父母や親戚に預けている	8
兄弟姉妹児の産休中または育休中	2
知人に預けている	1
その他	2

- ・「育児休業を延長している」が32人で最多である。次いで、「保育サービスを利用して」が29人と多い。
- ・「仕事をやめた」が21人である。

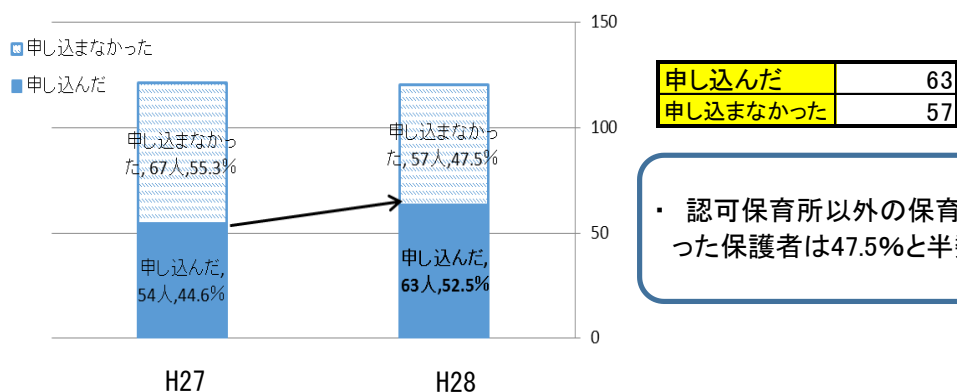


事業所(企業)内保育施設	9
認可保育所	6
家庭的保育	4
東京認証保育所	3
託児所・ベビーホテル	3
あだち子育て応援隊	2
認定こども園	1
一時保育・休日保育	1

- ・待機児童世帯が利用している保育サービスは、事業所(企業)内保育が9人で最多であった。

(2) 保育サービスの検討について

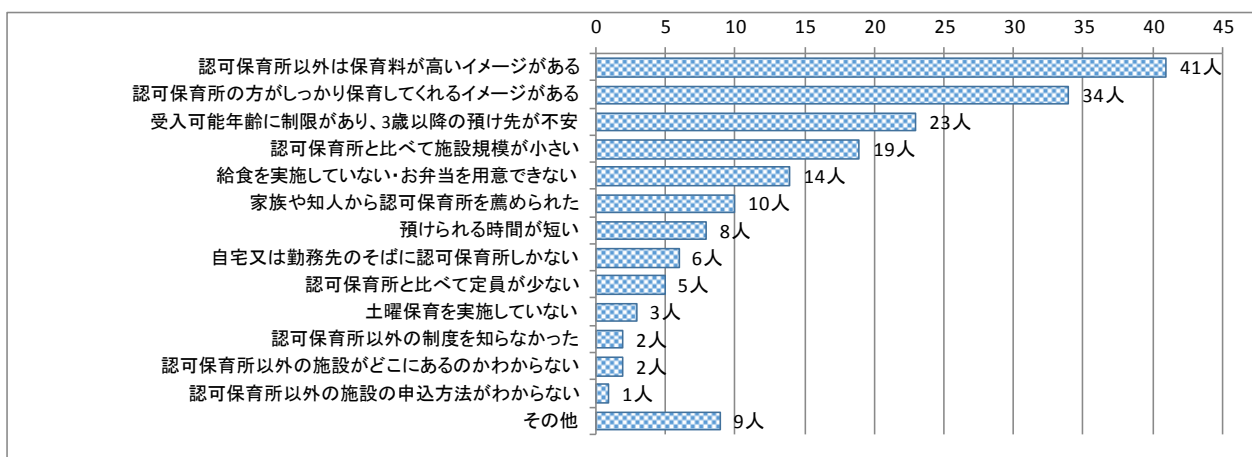
- ・ 認可保育所以外を申し込まなかった保護者はわずかに減った
- ・ 認可保育所以外は「保育料が高い」イメージがいまだに残る



申し込んだ	63
申し込まなかった	57

- ・ 認可保育所以外の保育施設を申し込まなかった保護者は47.5%と半数近くを占めている。

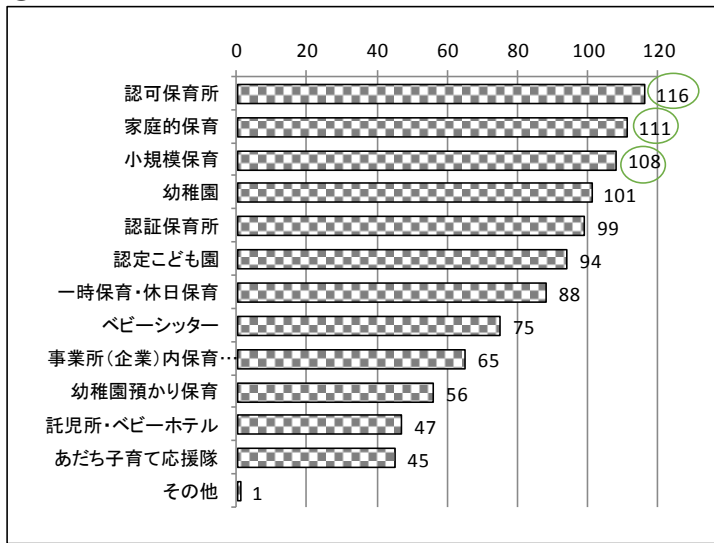
認可保育所以外の保育施設を申し込まなかった理由



- ・ 認可保育所以外の保育施設を申し込まなかった理由としては「保育料が高いイメージがある」が最も多い(41人)。平成27年4月から小規模保育や家庭的保育の保育料が認可保育所と同程度以下になったことが理解されていない可能性がある。
- ・ 「認可保育所の方がしっかり保育してくれるイメージがある」が2番目に多い(34人)。

(3) 各保育サービスの認知度及び情報収集方法等について

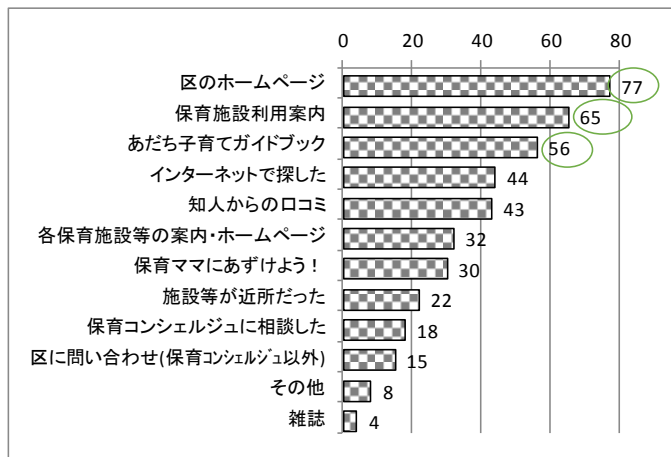
①知っている保育サービス(複数回答)



認可保育所	116
家庭的保育	111
小規模保育	108
幼稚園	101
認証保育所	99
認定こども園	94
一時保育・休日保育	88
ベビーシッター	75
事業所(企業)内保育施設	65
幼稚園預かり保育	56
託児所・ベビーホテル	47
あだち子育て応援隊	45
その他	1

- ・ 認可保育所、家庭的保育、小規模保育、幼稚園、認証保育所の認知度は80%を超えている。
- ・ 今年度は子育て応援隊の認知度(36.6%)が前年度(86.7%)から大幅に下がった。

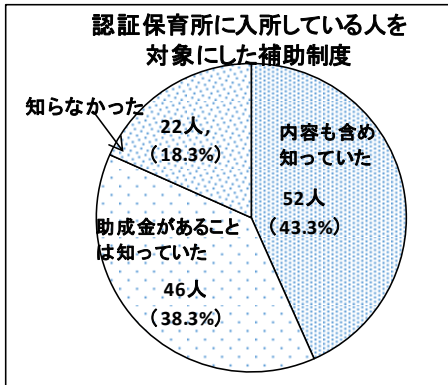
②保育サービス・保育施設の情報源(複数回答)



区のホームページ	77
保育施設利用案内	65
あだち子育てガイドブック	56
インターネットで探した	44
知人からの口コミ	43
各保育施設等の案内・ホームページ	32
保育ママにあずけよう!	30
施設等が近所だった	22
保育コンシェルジュに相談した	18
区に問い合わせ(保育コンシェルジュ以外)	15
その他	8
雑誌	4

- ・ 保育サービス・保育施設の情報源は、「区のホームページ」、「保育施設利用案内」、「あだち子育てガイドブック」の順で利用されている。

・ 待機児童世帯における認証保育所の利用者助成の認知度は、前年から大きな変化なし



内容も含め知っていた	52
内容はわからないが、助成金があることは知っていた	46
知らなかった	22

- ・ 平成27年度から従来の年齢別の利用者助成金に加え、低所得者への助成を開始した。
- ・ 「内容も含め知っていた」と回答したのは43.3%であり、前年度(37.7%)から4.4ポイント上昇したが、「知らなかった」も2.8ポイント上昇して18.3%となっており、待機児童世帯においては制度の認知度が二極化している可能性がある。

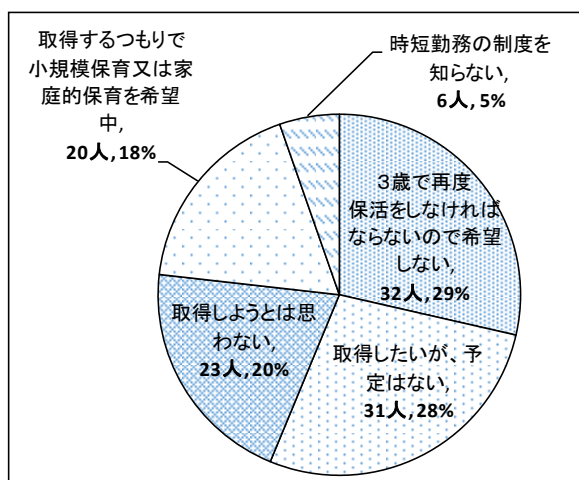
(3) 時短勤務の活用による短時間向け施設・サービスの活用について

①「子どもが小さいうちは時短勤務を取得して小規模保育や保育ママに預ける」という働き方について

・ 4分の3が「希望しない」又は「取得したいが予定はない」と回答

(質問)

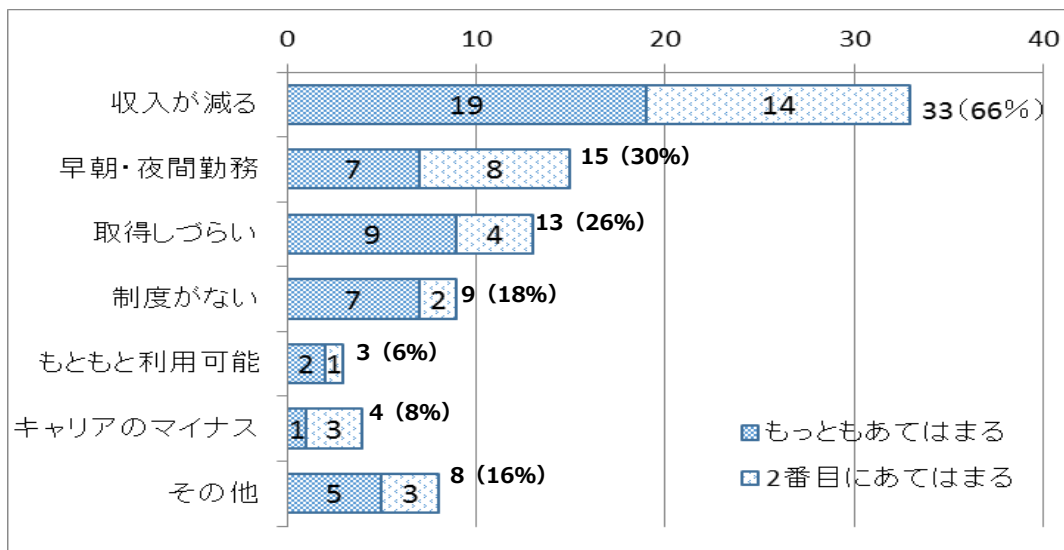
「子どもが小さいうちは時短勤務を取得して短時間向けの施設（小規模保育や保育ママ）に預ける」という働き方について、あなたの考えに一番近いものをお聞かせください。



3歳で再度保活をしなければならないので希望しない	32
取得したいが、予定はない	31
取得しようとは思わない	23
取得するつもりで小規模保育又は家庭的保育を希望中	20
時短勤務の制度を知らない	6

②「取得したいが予定はない」又は「取得しようとは思わない」と回答した理由(有効回答50人中)

理由	最もあてはまる	2番目にあてはまる
時短勤務を取得すると収入が減ってしまうから	20	15
職業上、早朝又は夜間の勤務が避けられないから	9	9
勤務先では時短勤務制度はあるが、取得しづらいから(前例がない等)	9	5
勤務先では時短勤務の制度がないから	9	3
日中の短時間勤務(又は勤務希望)なので、もともと短時間向け施設が利用可能	6	1
時短勤務を取得するとキャリアのマイナスになるから	1	3
その他	6	4

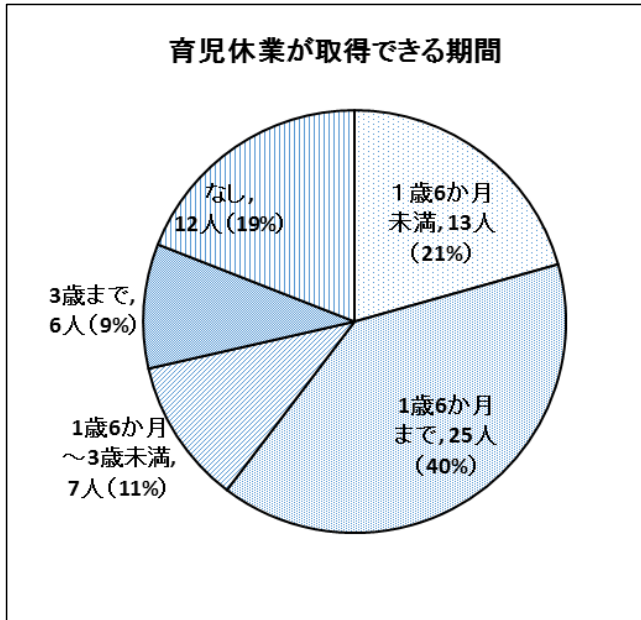


- ・ 3割近くの保護者が3歳で再度保活をしなければならないことを理由に、小規模保育・家庭的保育の利用を希望していない。
- ・ 「取得したいが予定はない」又は「取得しようとは思わない」と回答した保護者の3分の2が、「時短勤務を取得すると収入が減ってしまう」ことを2番目の理由までに挙げている。
- ・ 3割の保護者が「早朝・夜間勤務が避けられず時間が合わない」ことを2番目の理由までに挙げている。
- ・ 勤務先で「取得しづらい」又は「制度がない」を2番目の理由までに挙げている保護者は全体の4割強であった。

(4) 理想の預け時期と実際の預け時期

① 育児休業が取得できる期間

- ・ 6割が1歳6か月まで取得できるが、2割近くは自営業などで取得できないと回答

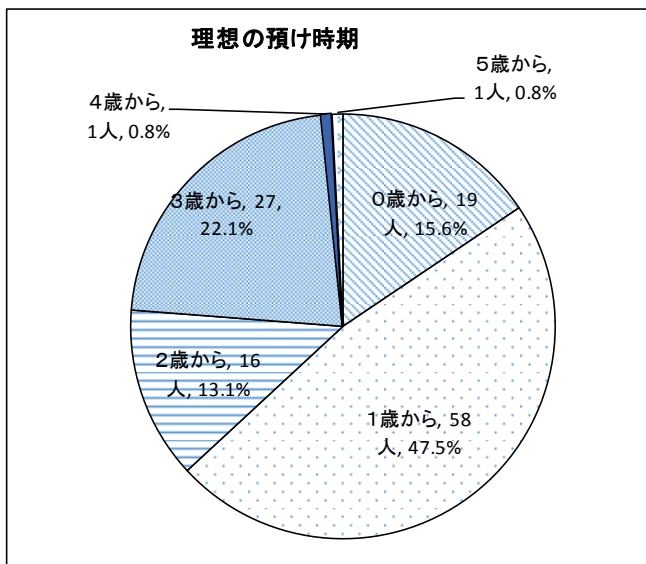


1歳6か月未満	13
1歳6か月まで	25
1歳6か月～3歳未満	7
3歳まで	6
なし ※	12

※自営業、パート勤務、フリーランスのため制度がない等

② 理想の預け時期

- ・ 「0歳から」が理想と考えている方は122人中19人（15.6%）

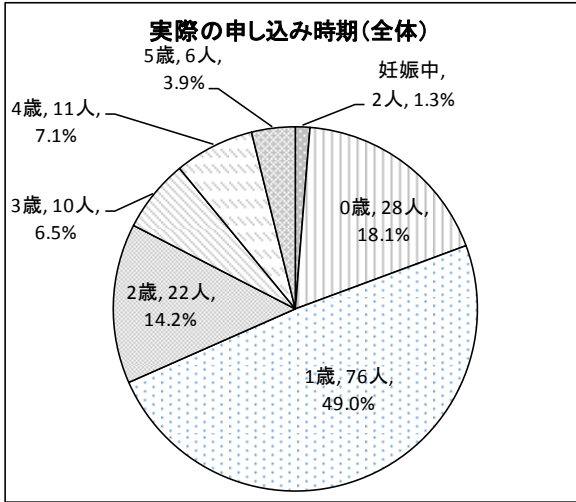


0歳から	19
1歳から	58
2歳から	16
3歳から	27
4歳から	1
5歳から	1

- ・ 約5割が1歳から預けたいと考えている。

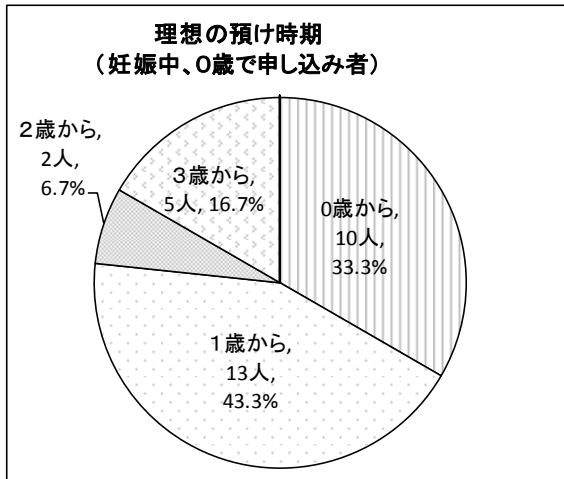
③実際の預け時期

・実際に0歳までに申し込むのは155人中30人（19.3%）



妊娠中	2
0歳	28
1歳	76
2歳	22
3歳	10
4歳	11
5歳	6

・0歳までに申し込んだ人の3分の2が、理想の預け時期は1歳以降と回答

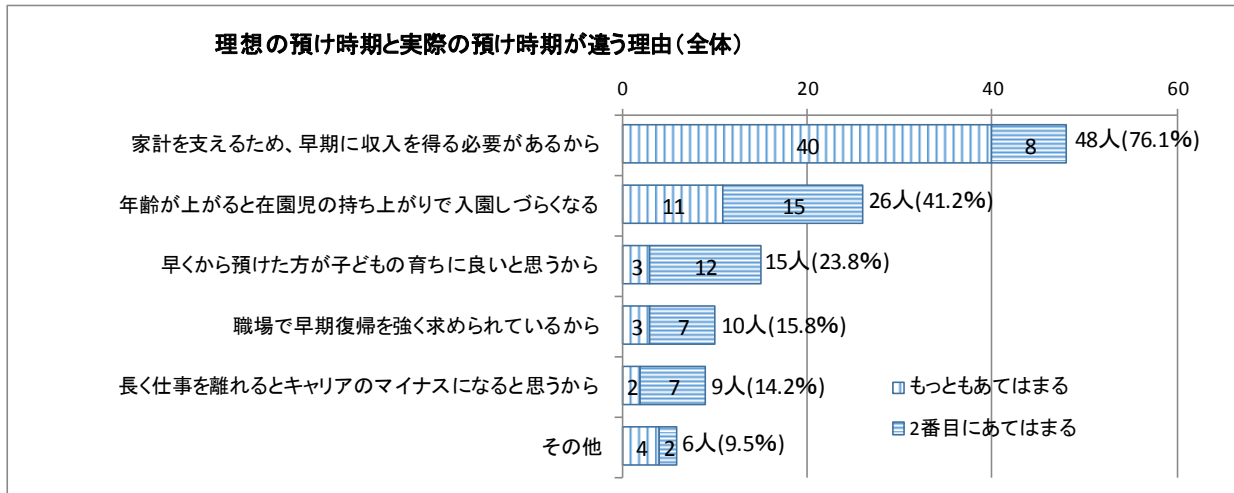


0歳から	10
1歳から	13
2歳から	2
3歳から	5
4歳から	0
5歳から	0

・妊娠中または0歳で申し込みした人の3分の2は理想の預け時期を1歳以降からと回答している。

④理想のあずけ時期と実際の時期が異なる原因

- 理想のあずけ時期と実際の時期が異なる主な原因は「収入のため」



- 4分の3が「家計を支えるため、早期に収入を得る必要があるから」を、「もっともあてはまる」または「2番目に当てはまる」と回答した。
- 4割以上の保護者が「年齢が上がると在園児の持ち上がりで入園しづらくなるから」と回答した。

(5) 主な自由意見

- フルタイムで働く家庭は小規模保育や保育ママが利用できず不便。たくさん選択肢があるように見えても結局保育園しか預け先がないのが現状。
- (複数意見) 待機児童対策で保育士が必要な時代に、復帰したい保育士が復帰できない現状に疑問を感じる。保育士資格を持っている人を優先してほしい。
- 保育ママは預け時間が短く、送迎にかかる時間や通勤時間を考えると、かなりの時短勤務になってしまう。
- 保育ママの開園時間がもう少し早くなれば希望したい。8時や8時30分開園では(遅く、利用するのは)難しい。
- 小規模保育の受け入れ時間が8時からになると保育園の選択肢が増える。ほとんどが8時30分からで残念。
- 民間のベビーシッター利用時にも助成が出ると助かる。子育てホームサポートは安価だが、サポーターが勤務できる時間に左右され確実ではなく、使い勝手の面で劣る。
- 1歳児で入園しやすいよう、自宅の近くに1歳児からの保育園ができればうれしい。
- (複数意見) 保育園を作るよりも、育児休業延長(1歳6か月以降)に対する手当を支給したほうが良いのではないか。
- 足立区内にも託児付きの職場を増やすなど保育園以外の形でも仕事に復帰できる環境づくりをしてほしい。
- 待機児童の家庭には、保育コンシェルジュが積極的にいろいろ案内してほしい。

資料4 3歳以降の保育等利用に関するアンケート調査結果

小規模保育、家庭的保育、認証保育所等の保育施設を利用している2歳児の保護者に対して、3歳以降の受け入れ施設等の利用意向を把握するため、次のとおりアンケート調査を実施しました。

- ・調査実施日 平成27年10月16日～10月30日
- ・調査方法 利用施設を通じて保護者へアンケート用紙を配布・回収。回答方法は、回答用紙と足立区ホームページの入力フォームを併用した。
- ・調査対象 調査開始日現在、小規模保育、家庭的保育事業者(保育ママ)、東京都認証保育所及び、受け入れ定員が2歳児までの公設民営認可外保育所(青井おひさま保育園)に在籍する2歳児クラスの児童594人の保護者
- ・回収率 86.4%(513人)

※ 認証保育所、公設民営認可外保育所は、卒園後の受け入れ施設を設置することを義務付けられていないが、主に0歳から2歳児を受け入れ対象とする施設なので、区内の施設利用児の3歳以降の動態を広く把握するため調査対象に加えた。

調査・回収の状況

	施設種別	調査施設	回収数	回収率	調査対象児童数	回収児童数	回収率
1	認証保育所A	28	28	100.0%	251	209	83.3%
2	認証保育所B	12	12	100.0%	71	67	94.4%
3	小規模保育	21	21	100.0%	128	115	89.8%
	小計	61	61	100.0%	450	391	86.9%

	施設種別	調査事業者	回収数	回収率	調査対象児童数	回収児童数	回収率
4	家庭的保育	85	73	85.9%	132	113	85.6%

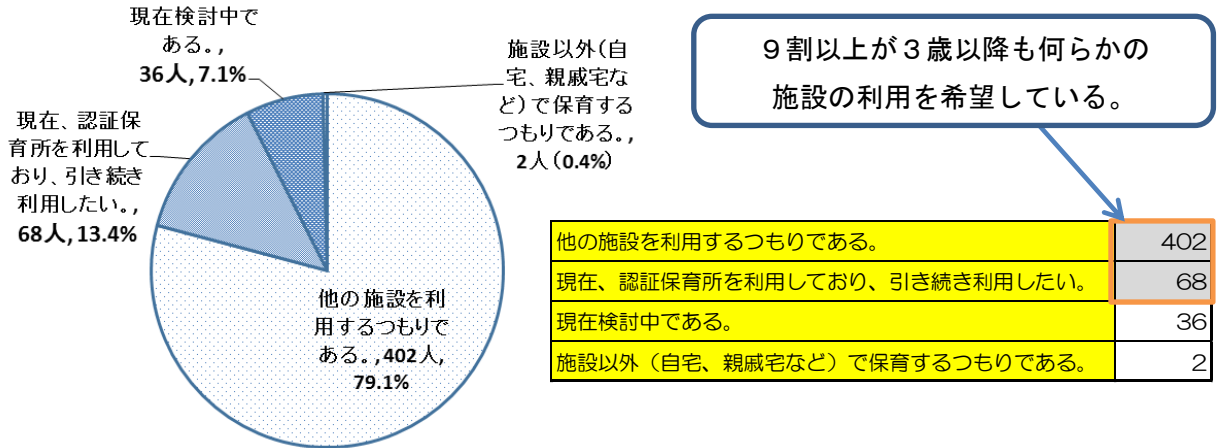
	施設種別	調査施設	回収数	回収率	調査対象児童数	回収児童数	回収率
5	公設民営認可外	1	1	100.0%	12	9	75.0%

全体	調査対象児童数	回収児童数	回収率
合計	594	513	86.4%

調査対象の保育を必要とする日数・時間(施設別・平均値)

施設種別	保育を必要とする日数/週	保育を必要とする時間/日
認証保育所A	4.95日	9.03時間
認証保育所B	4.97日	8.75時間
小規模保育	4.62日	7.77時間
家庭的保育	4.79日	7.83時間
公設民営認可外	5.11日	8.88時間

(1) 平成 28 年 4 月以降の保育施設の利用等の意向

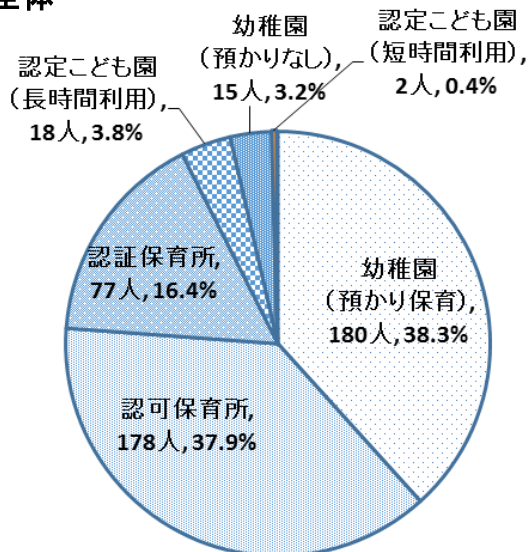


(2) 利用施設を選ぶにあたって判断材料となった理由（複数回答）

自宅から近い	273
保育の内容(保育方針、保育士の質、行事など)	187
預かり時間が長い	171
保育の環境(設備・備品、保育用品、周辺環境など)	138
月々の利用料が安い	130
充実した幼児教育	116
本当は認可保育所を利用したいが入所できそうにない	115
兄弟姉妹が入園していた、または入園中である	85
園バスが利用できる	47
就労しなくても預けることができる	33
2歳児クラスまで預けており慣れている(認証保育所の利用者のみ)	27

(3) 3歳以降利用を希望している施設・サービス

① 全体



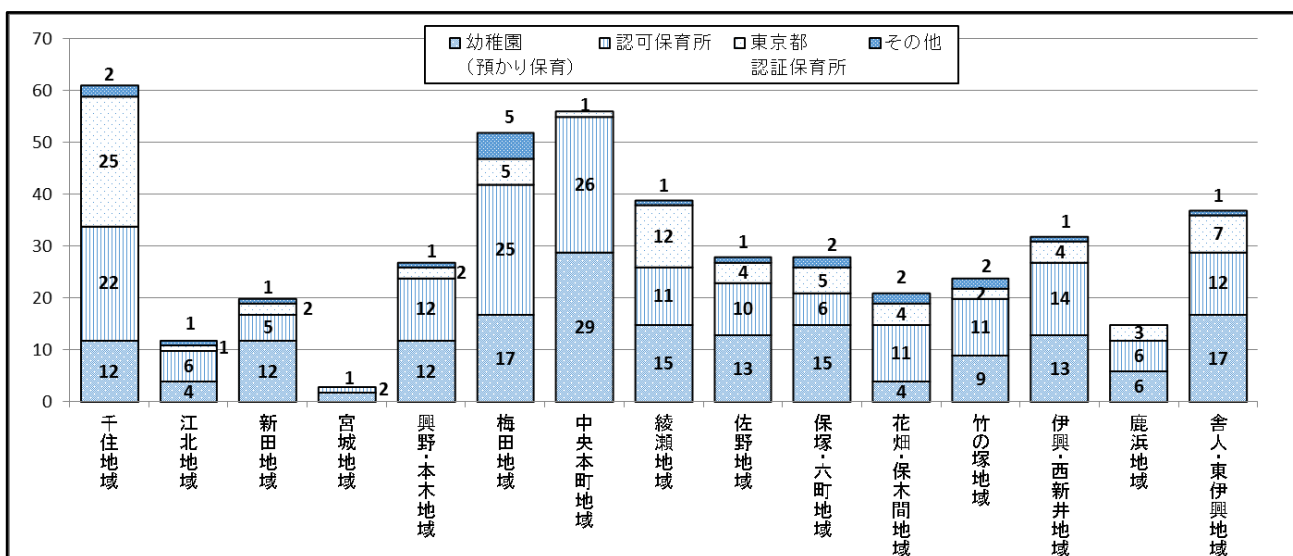
- 全体では「幼稚園(預かり保育)」の希望が最も多く、「幼稚園(預かりなし)」と合計で4割が幼稚園希望
- 「認可保育所」は「幼稚園(預かり保育)」よりもやや少ない

② 3歳以降の希望施設（現在の利用施設別）

現在の利用施設	3歳からの利用希望施設											
	（預かり保育） 幼稚園	%	（預かりなし） 幼稚園	%	認可保育所	%	認証保育所	%	認定こども園 （長時間利用）	%	認定こども園 （短時間利用）	%
認証保育所A	53	29.4%	3	1.7%	51	28.3%	68	37.8%	5	2.8%		
認証保育所B	25	38.5%	3	4.6%	29	44.6%	3	4.6%	5	7.7%		
小規模保育	48	44.0%	3	2.8%	52	47.7%	3	2.8%	2	1.8%	1	0.9%
家庭的保育	51	47.7%	6	5.6%	40	37.4%	3	2.8%	6	5.6%	1	0.9%
公設民営認可外	3	33.3%			6	66.7%						

- 現在の利用施設が「認証保育所A型」の68人（37.8%）が、3歳以降も引き続き「認証保育所」を利用することを希望している。
- 現在の利用施設が「認証保育所B型」、「小規模保育」、「公設民営認可外」の保護者は、「認可保育所」への希望が最も多い。
- 現在の利用施設が「家庭的保育」の保護者では、「幼稚園（預かり保育）」への希望が最も多い。

③ 3歳以降の希望施設（居住地域別）



- 利用者の居住地域別に見ると、「幼稚園（預かり保育）」の希望者数が「認可保育所」を上回っているのは7地域（新田、宮城、中央本町、綾瀬、佐野、保塚・六町、舎人・東伊興）であった。特に、「新田」「保塚・六町」「舎人・東伊興」は「認可保育所」の希望者数を大きく上回る。
- 「認可保育所」の希望者数が「幼稚園（預かり保育）」を上回っているのは6地域（千住、江北、梅田、花畑・保木間、竹の塚、伊興・西新井）であった。特に、「千住地域」「梅田地域」「花畑・保木間地域」は「幼稚園（預かり保育）」の希望者数を大きく上回る。
- 2地域（興野・本木、鹿浜）では「幼稚園（預かり保育）」と「認可保育所」の希望者数は同数である。



平成 28 年 8 月発行

発行元：足立区教育委員会



子ども家庭部 待機児ゼロ対策担当課

〒120-8510 足立区中央本町 1-17-1

TEL 03-3880-5759 FAX 03-3880-5641

メール taiki-zero@city.adachi.tokyo.jp

Copyright © 2016 Adachi City. All Right Reserved.